

# マニュアルの使い方

本製品には次のマニュアルが用意されています。

● **安心してお使いいただくために**  
パソコンをお使いになるときに守っていただきたいこと

① **基本編**...パソコンがはじめての人も、そうでない人も  
パソコンを使えるようにするまで (Windowsのセットアップ)  
パソコン操作の基本  
文字の入力  
インターネットへの接続  
電子メールを使う  
パソコン本体の機能

② **活用編**...もっといろいろなことができる  
すぐに使えるソフトウェアの紹介  
周辺機器を使うとき  
システム構成の変更やパスワード

③ **困ったときは**...わからなくなったら  
よくある質問とその解決方法  
パソコンを購入時の状態に戻す (再セットアップ)

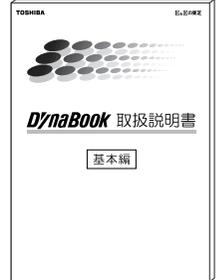
● **インターネットに接続しよう!**...外の世界へ出てみよう  
インターネットに接続する方法

● **オンラインマニュアル**  
すぐに使えるソフトウェアの紹介  
こんなことがしたい  
困ったときは  
パソコン用語集      \*本製品の電源を入れたときに見ることができます。

マニュアルは、本製品の使い方についてできるだけわかりやすく説明しています。すでにパソコンを使ったことのある方も、必ずお読みください。  
お読みになった後も、いつでも取り出してご覧になれるよう、保管しておいてください。

## リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。  
本製品の電源を入れた状態で、[スタート]メニュー-[はじめに]-[リリース情報]をクリックするとご覧になります。



《 本書 》

# もくじ

マニュアルの使い方 .....	1
もくじ .....	2
はじめに .....	8
表記について .....	15
パソコンの準備 .....	17
1. パソコンの置き場所 .....	17
2. 電源につなぐ .....	19
初めてパソコンを使うときには .....	21
1. 電源を入れる .....	21
2. Windows のセットアップ .....	21
3. ユーザ登録をする .....	30
4. マウスを取り付ける .....	31
5. マウスの使い方 .....	32
6. 電源を切る .....	33

## 1 章 電源を入れる / 切る

1 電源を入れる .....	36
2 電源を切る .....	38
3 作業を中断する .....	39
4 簡単に電源を切る / 作業を中断するとき .....	42

## 2章 パソコンをさわってみよう

1	デスクトップとは .....	44
2	基本操作を覚える .....	45
3	ウィンドウを開く .....	46
4	ファイルやフォルダを作る .....	47
5	ファイルやフォルダをコピーする .....	53
6	ファイルやフォルダを削除する .....	55

## 3章 文字を入力してみよう

1	メモ帳を開く .....	62
2	キーボードについて .....	63
3	文字を入力する .....	64
	1. 日本語入力システムとは .....	64
	2. 入力モードを決める .....	65
	3. ひらがなを入力する .....	68
	4. ひらがなを漢字に変換する .....	70
	5. カタカナを入力する .....	71
	6. 記号を入力する .....	71
	7. 英数字を入力する .....	74
4	文書を保存する .....	76

1章

2章

3章

4章

5章

6章

7章

8章

## 4章 インターネットを楽しもう！

1	インターネットとは？ - 始める前に -	80
	1. インターネットとは？	80
	2. インターネットのできる事	80
	3. インターネットに必要なもの	81
	4. プロバイダを選ぶ	81
	5. インターネットにかかる費用	82
2	インターネットに接続する	83
	1. 電話回線のタイプを設定する	84
	2. パソコンと電話回線を接続する	85
	3. プロバイダと契約する	87
	4. プロバイダと契約終了後、必要な設定を行う	89
	5. インターネットに接続する（2回目以降）	92
	6. インターネット接続を終了する	93
3	Internet Explorer の使い方	94
	1. Internet Explorer 画面	94
	2. ホームページを検索する	95
	3. よく見るページを登録する（お気に入り）	96
4	知っている便利なこと	100
	1. 最初に表示されるページを変更する	100
	2. ホームページの画像を保存する	101
	3. ホームページの画像を壁紙に設定する	102
	4. ホームページをダウンロードする	104
	5. ファイルをダウンロードする	109
	6. 以前に表示したホームページを表示する	111

1章

2章

3章

4章

5章

6章

7章

8章

## 5章 電子メールを使おう

- 1 電子メールとは? ..... 114
  - 1. 電子メールとは ..... 114
  - 2. メールのしくみ ..... 114
- 2 必要な設定を行う ..... 115
- 3 Outlook Express の使い方 ..... 121
  - 1. 起動する ..... 121
  - 2. Outlook Express 画面 ..... 122
  - 3. メールを作成する ..... 123
  - 4. メールを送信する / 受信する ..... 126
  - 5. メールを返信する / 転送する ..... 128
  - 6. メールを削除する ..... 130
  - 7. メールを整理する ..... 132
  - 8. アドレス帳を使う ..... 134
  - 9. 知っておくと便利なこと ..... 139
  - 10. Outlook Express を終了する ..... 146
- 4 新着メールをランプで確認する ..... 147
  - 1. 新着メールチェック機能を使う準備をする ..... 148
  - 2. 新着メールを確認する ..... 156
  - 3. 新着メールチェック機能を停止する ..... 158

## 6章 パソコンのしくみ

- 1 ハードウェアとは ..... 160
  - 1. 記憶装置 ..... 160
  - 2. 表示装置 ..... 161
  - 3. 入力装置 ..... 162
- 2 ソフトウェアとは ..... 163
  - 1. OS (オペレーティングシステム) ..... 163
  - 2. アプリケーション ..... 163

## 7章 本体の機能を知ろう

1	各部の名前 .....	166
2	インジケータ .....	169
3	キーボード .....	172
4	ディスプレイ .....	178
5	ハードディスク装置 .....	179
6	サウンド機能 .....	180
	1. スピーカの音量を調整する .....	180
	2. 音楽 / 音声の録音レベルを調整する .....	182
	3. システムスピーカについて .....	182
7	バッテリー .....	183
	1. バッテリー充電量を確認する .....	185
	2. バッテリーを充電する .....	187
	3. バッテリーパックを交換する .....	189
8	フロッピーディスク .....	191
	1. フロッピーディスク .....	191
	2. フロッピーディスクのセットと取り出し .....	192
	3. フロッピーディスクを使う前に .....	193
9	CD / DVD .....	195
	1. CD / DVD .....	196
	2. CD / DVD のセットと取り出し .....	197
	3. CD-RW / CD-R に書き込む .....	200
10	ワンタッチボタン .....	202
	1. インターネットボタン .....	202
	2. メールボタン .....	203
	3. アプリケーションボタン .....	204
11	メディア切替スイッチ / オーディオプレイボタン .....	205
	1. 音楽を聴く .....	205
	2. DVD-Video を再生する .....	207
	3. 重低音を強調する .....	208
12	日常の取り扱いとお手入れ .....	209

**8章 ローマ字入力一覧表**

1 ローマ字入力一覧表..... 216

さくいん..... 218

**1**  
章

**2**  
章

**3**  
章

**4**  
章

**5**  
章

**6**  
章

**7**  
章

**8**  
章

# はじめに

このたびは、<sup>ダイナブック</sup>DynaBookをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。本書は本製品の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

## 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

## 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 高調波対策について

本装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

## 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



 省電力設定について  『活用編 1章 2- 東芝省電力ユーティリティ』

## モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。



本製品をご使用になるには、本製品の直流回路の抵抗値（324 Ω）と、電話回線線路の直流抵抗値の合計が、1700 Ω 以下であることが必要です。

### 使用できない地域

内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、香港

（2000年9月現在）

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承願います。

### 自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

\* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。

## 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。



- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- 内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる地域にあわせて設定が必要です。



詳細について

- 『活用編 1章 2-内蔵モデム用地域選択ユーティリティ』

## FCC information

Product name : DynaBook Satellite 2801  
Model number : PS280\*

### FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

**WARNING:** *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Toshiba is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or external monitor port, parallel port, USB port, IEEE1394 port and microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Toshiba or parties authorized by Toshiba could void the user's authority to operate the equipment.*

### FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

### Contact

**Address :** Toshiba America Information Systems, Inc.  
9740 Irvine Boulevard  
Irvine, California 92618-1697  
**Telephone :** (949) 583-3000

**TOSHIBA**

EU Declaration of Conformity  
 EU Übereinstimmungserklärung  
 Déclaration de conformité UE  
 Declaración de conformidad de la UE  
 Dichiarazione di conformità UE  
 EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PS280\* conforms to the following Standards:

Toshiba erklärt, daß das Produkt: PS280\* folgenden Normen entspricht:

Toshiba déclare que le produit cité ci-dessous: PS280\* est conforme aux normes suivantes:

Toshiba declaran que el producto: PS280\* cumple los siguientes estándares:

Toshiba dichiara, che il prodotto: PS280\*, é conforme alle seguenti norme:

Toshiba intygar att produkten: PS280\* överensstämmer med följande normer:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC.”

Weitere Informationen: “Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.”

Informations complémentaires: “Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.”

Información complementaria: “El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.”

Ulteriori informazioni: “Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.”

Ytterligare information: “Produkten uppfyller kraven enligt lägspanningsdirektiv 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

## 東芝 CD-RW / DVD-ROM ドライブ SD-R2002 安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。  
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

### ⚠ 注意

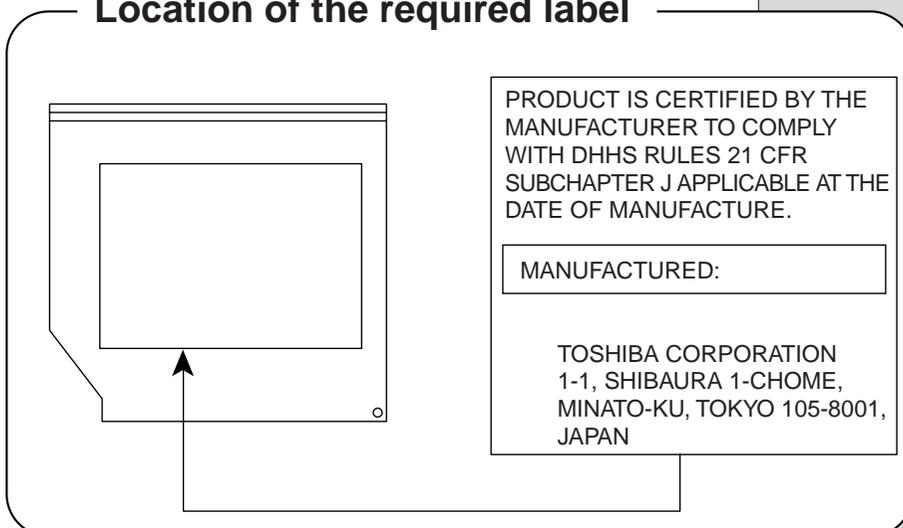
1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。  
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。  
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で  
“クラス1レーザ機器” に分類されています。  
レーザ光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT  
APPAREIL À LASER DE CLASSE 1  
LASER KLASSE 1 PRODUKT  
TO EN 60825-1  
クラス1レーザ製品

DANGER  
VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.  
AVOID EXPOSURE TO BEAM.  
ATTENTION  
RAYONNEMENT VISIBLE ET INVISIBLE LASER EN CAS  
D'OUVERTURE EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.  
VORSICHT  
SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN  
ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.  
**注 意**  
ここを開くと可視レーザー光及び不可視レーザー光が出ます。ビームを直接見たり触れたりしないこと。

ADVARSEL  
SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING.  
UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING  
ADVARSEL  
SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES.  
UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.  
VARO!  
NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA  
LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.  
VARNING  
SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR  
ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.

### Location of the required label



## 松下 CD-R/RW ドライブ UJDA330 安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。  
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

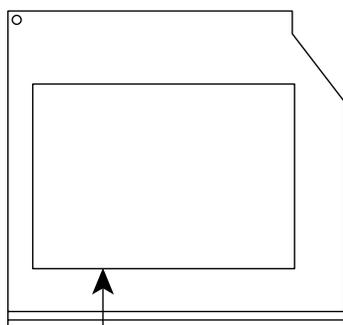
### ⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。  
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。  
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で  
“クラス1レーザー機器” に分類されています。  
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT  
LASER KLASSE 1

CAUTION	INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM. JDGS0150ZA
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

### Location of the required label



MANUFACTURED:  
SERIAL NO.

-----  
COMPLIES WITH FDA RADIATION  
PERFORMANCE STANDARDS, 21 CFR  
SUBCHAPTER J. 130KMT  
Manufactured by Kyusyu Matsushita  
Electric Co., Ltd.  
1-62, 4-Chome Minoshima Hakata-Ku  
Fukuoka, Japan

## Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ SmartMedia、スマートメディアは（株）東芝の商標です。
- ・ SoundBlaster は、合衆国やその他の国々における Creative の登録商標です。
- ・ K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
- ・ Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- ・ infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

# 表記について

本製品のマニュアルは、次のきまりに従って書かれています。

## 記号の意味



警告

・ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

・ 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。



・ データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



・ 知っておくと便利なことを説明しています。



・ 覚えておくと役に立つ用語を説明しています。



この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照先》

(注) 補足説明をしています。

## 画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。

### 【例】

Total = x x x x KB

—このように画面または本文中の文字を x で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

## 入力するキー

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを で囲んで書いています。

(Y)キーを押す  を押してください。

(1)キーを押す  を押してください。

(Space)キーを押す  (スペースキー)を押してください。

## 操作の表現

操作や作業は、次のように示します。

### 【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

(Y)キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

(Fn) + (F2)キーを押す

この場合は、(Fn)キーを押したまま(F2)キーを押します。

## 用語について

本書では、次のように定義します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me ..... Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME ..... Microsoft® IME2000 を示します。

CD-RW / DVD-ROM モデル

..... CD-RW / DVD-ROM 装置が内蔵されているモデルを示します。

CD-RW モデル .. CD-RW 装置が内蔵されているモデルを示します。

# パソコンの準備

## 1. パソコンの置き場所

### 警告

- ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。  
ショート、発煙のおそれがあります。

### 注意

- ・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。  
パソコンが落ちたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

パソコンを置く環境をととのえることによって、お使いになる人の疲れを少なくすることができます。また、本製品をより長い間お使いいただけます。ここでは、安全に、より快適に本製品をお使いいただく環境について説明します。



### お願い

- ・ステレオスピーカーなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。  
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

## 設置する環境

温度は 5 ~ 35 、湿度は 20 ~ 80% の環境にする  
急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける  
暖房器具などの熱いものの近くには置かない  
腐食性の薬品のそばに置かない  
適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く  
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。  
パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する  
ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく  
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。  
換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する  
インターネットに接続するなら、電話線接続口の近くに置く

## 使うときの姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する  
おしりよりも膝が少し高くなるように座る  
背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する  
膝と肘はほぼ 90 度になるように、まっすぐ座る  
前に屈んだり、背もたれによりかかたりしないで使用してください。

## 健康のために気をつけたいこと

リラックスした姿勢で座る  
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。  
適度に姿勢を変える  
時々立ち上がってストレッチする  
1 日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。  
長時間画面を見続けられないようにする  
15 分ごとに 30 秒ぐらいの割合で遠くを見てください。  
一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる  
30 分に 2 ~ 3 分とるのが理想的です。

## 2. 電源につなぐ

### 警告

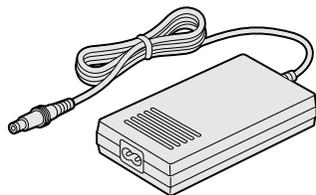
- ・ 付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・ 海外で使用する場合は、別途電源コードをお買い求めください。
- ・ 傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・ 必ず本体付属の AC アダプタを使用してください。  
本体付属以外の AC アダプタをご使用になりますと、電圧や (+) (-) の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。
- ・ 電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。

### 注意

- ・ 電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。電源プラグを持って抜いてください。

### AC アダプタ

パソコン本体に電源を供給する機器です。電源コネクタに接続します。



仕様は次のとおりです。

入力	AC100V ~ 240V、0.75 ~ 0.35A、50/60Hz
出力	15V、4A

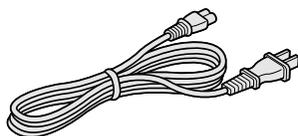


お願い

- ・ AC アダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

## 電源コード

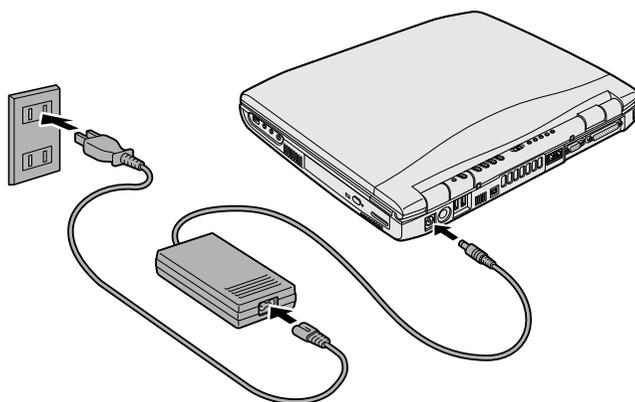
電源コンセントから、ACアダプタに電源を供給するケーブルです。



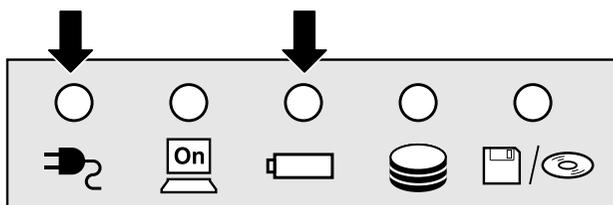
ACアダプタに接続します。

国内向け(100V)の仕様ですので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。ACアダプタ、電源コードの接続は、次の図の順に行います。はずすときは逆の順で行います。

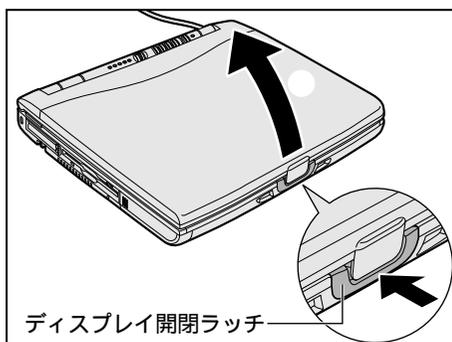


電源コードを接続したら、DC IN LED が緑点灯、Battery LED がオレンジ点灯するのを確認してください。



電源コードが接続できたら、ディスプレイを開きます。

ディスプレイ開閉ラッチを押します。  
両手を使って、ディスプレイをゆっくり起こしてください。



・LED とアイコンの位置はディスプレイを開いているときと閉じているときで位置が異なります。



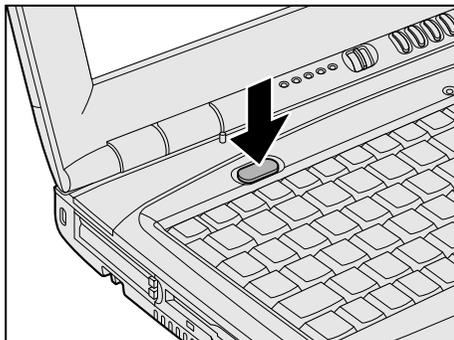
・LED  
電流を流すと発光する、発光ダイオード (Light Emitting Diode) のこと。  
本製品では、装置の動作状況を表すインジケータを指す。

# 初めてパソコンを使うときには

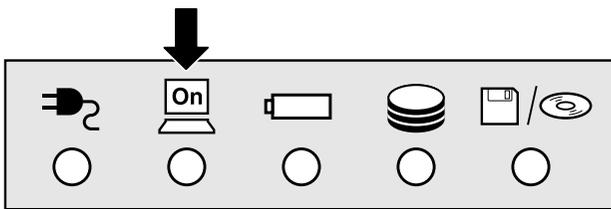
## 1. 電源を入れる

初めて電源を入れるときには、次の手順で行なってください。

### 1 電源スイッチを押す



次のLEDが緑点灯するのを確認してください。



## 2. Windows のセットアップ

パソコンの電源を初めて入れたときには、<sup>ウィンドウズ</sup>Windowsが使えるようにするために「Windows セットアップ」という操作が必要です。

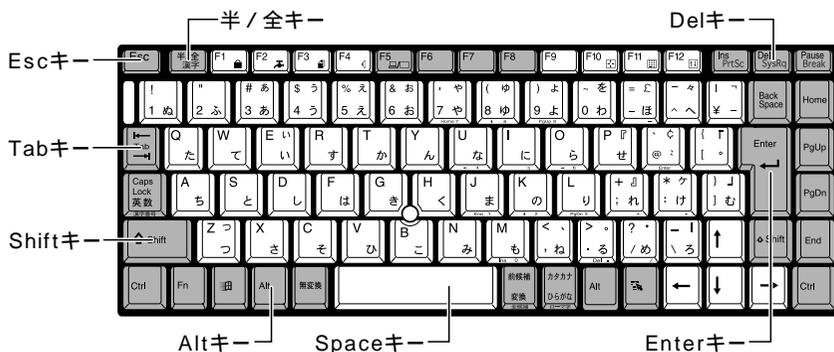
1度Windowsのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにパソコンを使うことができます。また、カスタム・リカバリCDでシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

「Windows セットアップ」は、周辺機器は取りはずし、ACアダプタと電源コードのみを接続した状態で行なってください。

 **参照** カスタム・リカバリCDについて ▶ 『困ったときは 2章 再セットアップ』  
セットアップには、キーボード、アキュポイント、コントロールボタンの操作が必要です。



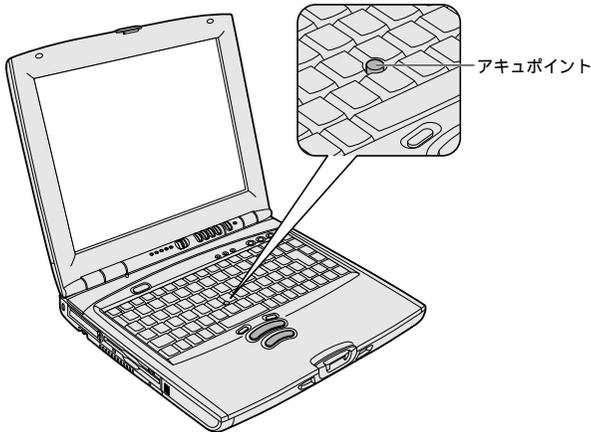
・お使いになるWindowsの管理番号を、「Product Key」といいます。Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft社からの保守が受けられなくなります。



### アキュポイント の使い方

画面上にある矢印マーク  をマウスポインタといいます。

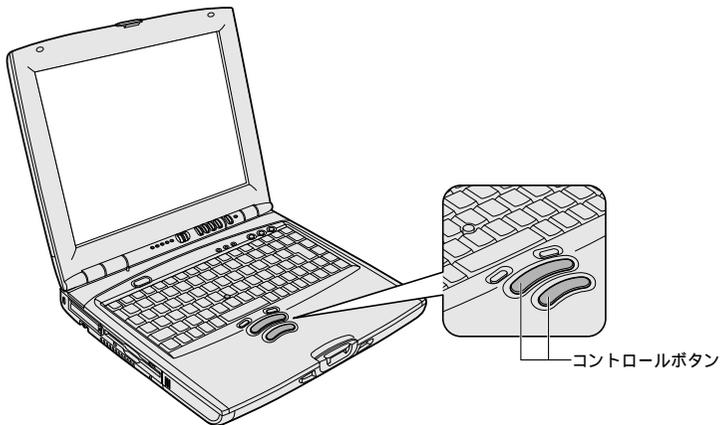
マウスポインタは、アキュポイント で動かします。アキュポイント に指を置き、押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。



 アキュポイント の詳しい使い方 ▶「2章 2 基本操作を覚える」

### クリック

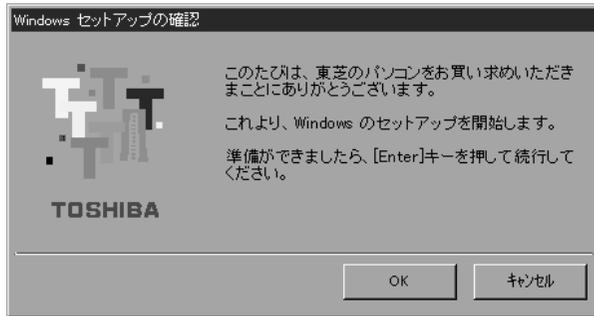
マウスポインタを、画面上の選択したい項目にあわせ、コントロールボタンの上ボタンを1回押すことをクリックといいます。よく使う操作なので、覚えてください。



 コントロールボタンの詳しい使い方 ▶「2章 2 基本操作を覚える」

次の手順に従って、セットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、[ Windowsセットアップの確認 ]画面が表示されます。



## 1 (Enter)キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

## 2 ユーザー名を入力する

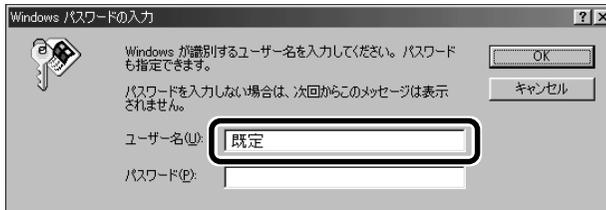
(Shift) + (Tab) キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

(Del) キーを押して「既定」を削除してください。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。

(Alt) キーを押したまま、(半/全) キーを押してください。



ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

 [ローマ字入力について](#) ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」

【例】“ なかた ” または “ 中田 ” と入力する場合

### 1 (N)(A)(K)(A)(T)(A) とキーを押す

“ なかた ” と表示されます。入力ミスをした場合は、(BackSpace) キーを押して入力ミスした文字を削除します。

### 2 ひらがなのままでよい場合は、(Enter)キーを押す

“ なかた ” で確定されます。

漢字に変換する場合は (Space) キーを押し、目的の漢字が表示されたら、(Enter) キーを押す

(Space) キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。(Enter) キーを押すと、選択した漢字で確定します。



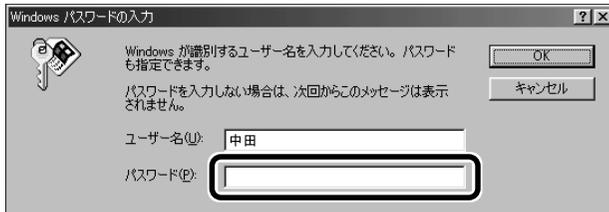
・「Windowsセットアップ」中は、電源を切らないでください。



・「Windowsセットアップ」を行う前に、30分以上アキュポイント やキーを動かさなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。再度表示するには、(Shift) キーを押すか、アキュポイント を動かしてください。

### 3 パスワードを入力する

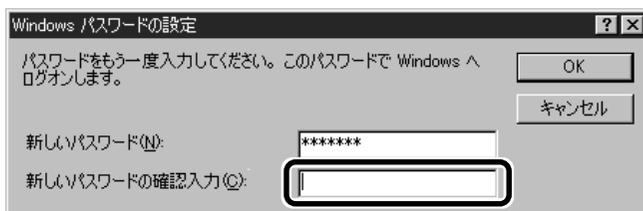
ユーザー名の入力が終わった後、**(Tab)**キーを押します。  
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。



使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [ ] ; : , . / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全角文字（2バイト文字）</li> <li>・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など</li> <li>・単独のキーで入力できない（入力するときに<b>(Shift)</b>キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&amp;（アンド）、（チルダ）など</li> <li>・¥（エン）   キーや  キーを押すと¥が入力されます。</li> </ul>	

入力したパスワードは「\*\*\*\*」で表示されます。  
パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスした場合は、**(BackSpace)**キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、**[OK]**ボタンをクリックします。  
[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。

### 4 登録したパスワードをもう一度入力し、**[OK]**ボタンをクリックする



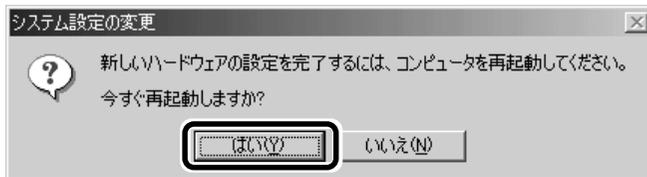
入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、**[OK]**ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。

登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 (Del)キーで [ 新しいパスワードの確認入力 ] のパスワードをすべて削除する
- 2 (Shift)キーと (Tab)キーを同時に押す  
カーソルが [ 新しいパスワード ] に戻ります。
- 3 (Del)キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 (Tab)キーを押す
- 6 [ 新しいパスワードの確認入力 ] に同じパスワードを入力する
- 7 [ OK ] ボタンをクリックする

[ システム設定の変更 ] 画面が表示されます。

## 5 [ はい ] ボタンをクリックする



メッセージが表示されたら、すぐに [ はい ] ボタンをクリックして、再起動してください。

このメッセージが表示された状態でしばらく操作を行わないと、再起動できなくなる場合があります。操作できなくなった場合は、(Ctrl) + (Alt) + (Del) キーを押して再起動してください。

[ Windows へようこそ ] 画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力して [ OK ] ボタンをクリックしてください。

[ Microsoft Windows へようこそ ] 画面が表示されます。

マーリンの自己紹介が始まります。マーリンは、操作が途中でわからなくなったときに助けてくれるキャラクターです。

操作が途中でわからなくなったときは、マーリンをクリックするか、(F1) キーを押してください。メニューが表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると説明が始まります。

## 6 [次へ] ボタンをクリックする



[日本語の入力を練習しましょう] 画面が表示されます。

## 7 [省略] ボタンをクリックする



日本語入力の練習を行う場合は [次へ] ボタンをクリックして次の画面に進んでください。

[省略] ボタンをクリックした場合は、[タイムゾーンを選択する] 画面が表示されます。

ここでは、日本語入力の練習は省略します。

- 8 [タイムゾーン]で[(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌]が選択されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックする



[(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌]が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

[使用許諾契約書に同意]画面が表示されます。

- 9 画面の[同意します]をチェック(左側の印をクリック)して、[次へ]ボタンをクリックする



契約内容を必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか、(PgUp)キー、(PgDn)キーを使って画面を動かしてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

[登録先: Microsoft]画面が表示されます。

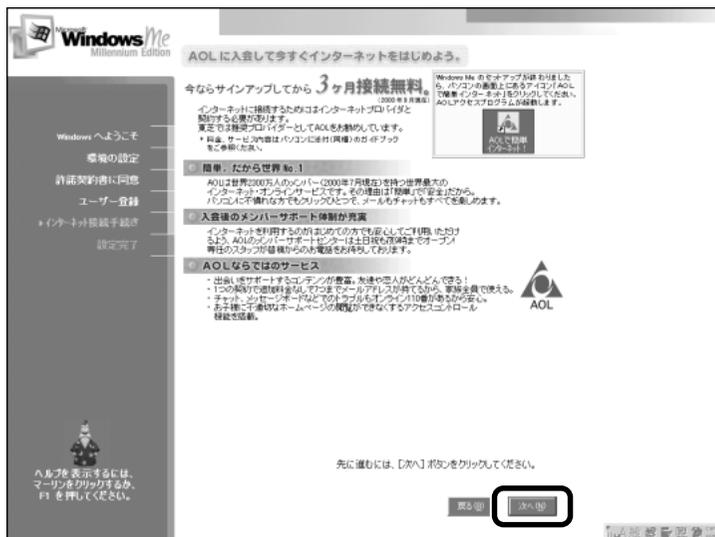
## 10 画面の [いいえ、今は登録しません] をチェック (左側の印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする



オンライン登録には、インターネット (モデム) への接続が必要です。ここではインターネットへの接続は行いません。インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ後に行えます。

[ AOL に入会して今すぐインターネットをはじめよう。 ] 画面が表示されます。

## 11 [次へ] ボタンをクリックする



[ 設定が完了しました ] 画面が表示されます。

## 12 [完了] ボタンをクリックする



Windows のセットアップが終了し、デスクトップ画面が表示されます。



(表示例)

 デスクトップについて ▶ 「2 章 1 デスクトップとは」

### Windows の使い方

Windows の使い方については、「2 章 パソコンをさわってみよう」、または同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。

### 3. ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝と Microsoft 社のユーザ登録を行なってください。今後のサービス・サポートが受けられます。

#### 東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 「4章 2 インターネットに接続する」、『インターネットに接続しよう!』

インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

#### インターネットで登録する

インターネットでユーザ登録をするための「東芝PCお客様登録」を使用できます。  
[スタート]-[プログラム]-[東芝PCお客様登録]-[東芝PCお客様登録]をクリックする

[インターネットプロバイダと未契約の方]を選択した場合は、インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくはLAN経由でインターネット接続されている方]を選択した場合は、インターネットに接続してユーザ登録できます。

[インターネット経由での登録を希望しない方]を選択した場合は、はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

#### すでに他のプロバイダに入会している場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

## Microsoft社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 「4章 2 インターネットに接続する」、『インターネットに接続しよう!』

- [スタート]-[ヘルプ]をクリックする
- [ヘルプとサポート]画面が表示されます。
- [Windows Millennium Editionを使う]をクリックする
- [アプリケーションの登録]をクリックする
- [Windows オンラインに登録する]をクリックする
- 右画面の[ここをクリック]をクリックする
- ウィザードが起動します。
- 表示される画面に従って登録を行う

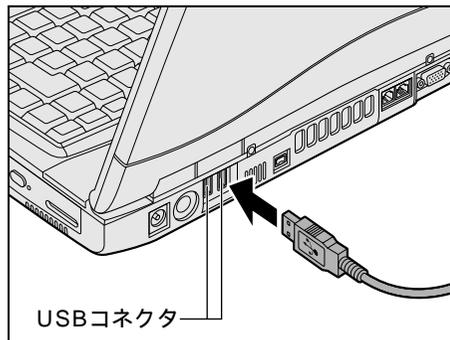
## 4. マウスを取り付ける

本製品に同梱されている USB マウスを、パソコン本体の USB コネクタに接続して使用することができます。

どちらの USB コネクタに差し込んで構いません。

### 取り付け

- 1** USB コネクタに、USB マウスのプラグを差し込む  
接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



### 取りはずし

- 1** パソコン本体に差し込んである USB マウスのプラグを持って抜く



- ・ USBマウスの接続は、Windowsのセットアップが終了した後に行なってください。

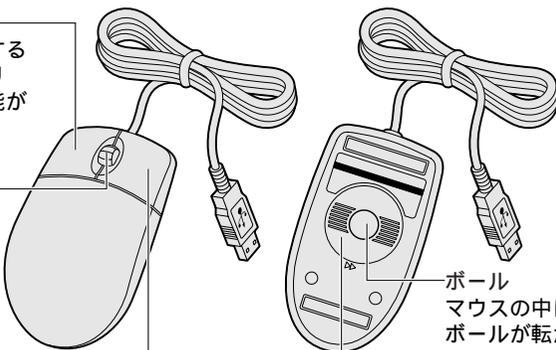
## 5. マウスの使い方

本製品に同梱されているマウスは、アキュポイント とコントロールボタンの組み合わせと同じ働きをします。

左ボタン  
文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

ホイール  
画面のスクロールなどができます（ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます）。

右ボタン  
操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーなどを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。



ボール  
マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

ボール固定用フタ  
ボールがとび出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。

### 動かし方

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向にあわせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてください。マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。

クリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを1回押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ダブルクリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを、すばやく2回続けて押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ドラッグアンドドロップ	マウスのボタンを押したまま、マウスポインタを移動します（ドラッグ）。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。ホイールを回すと画面がスクロールします。

### お願い

- マウスは平らな机の上などで使用してください。ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。



- マウスボタンやホイールの機能の割り当て、左利きの方がお使いになるときに、左右のボタンの役割を替える場合などは、Windowsの[マウスのプロパティ]で変更することができます。  
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリック-[マウス](表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリック)をダブルクリック。

## 6. 電源を切る

Windowsのセットアップが終わったら、すぐにパソコンをお使いになれますが、ひとまずWindowsを終了して電源を切ってみましょう。

画面左下の[スタート]ボタンから行います。

### 1 画面左下にある[スタート]ボタンをクリックする



(表示例)

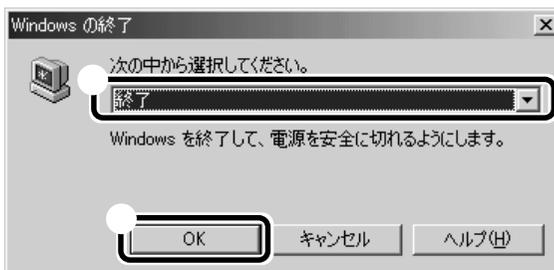
### 2 [Windowsの終了]をクリックする



(表示例)

[Windowsの終了]画面が表示されます。

### 3 [終了]が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックする

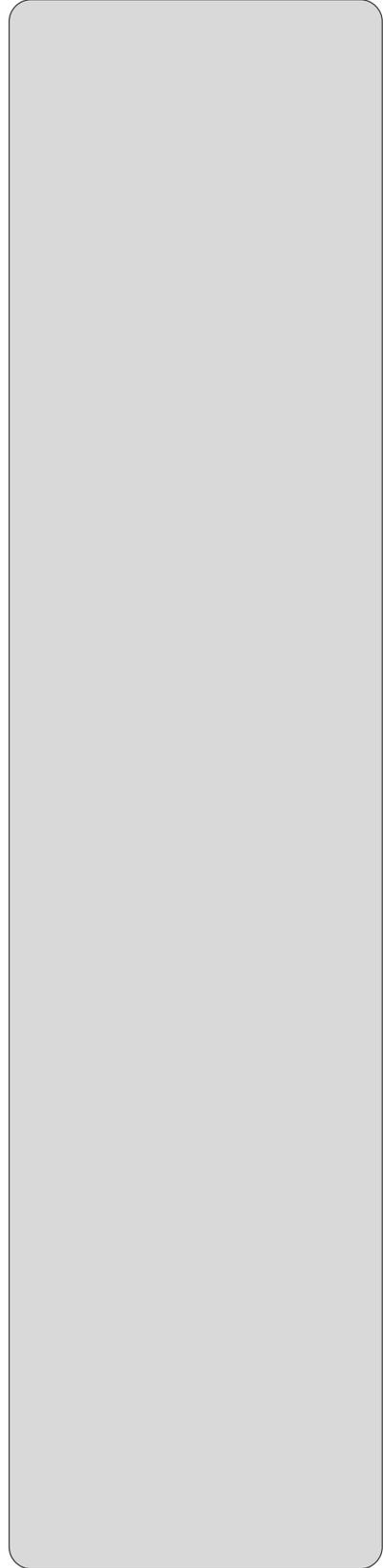


画面が暗くなり、パソコン本体のPower  LEDが消えます。

Power  LEDが消えると、電源が切れたこととなります。

次に電源を入れるときには、Windowsセットアップは必要ありません。

 電源を入れる ▶ 「1章 1 電源を入れる」



# 1 章

## 電源を入れる / 切る

パソコンの電源を入れる / 切る  
いろいろな方法について説明します。

- 1** 電源を入れる ..... 36
- 2** 電源を切る ..... 38
- 3** 作業を中断する ..... 39
- 4** 簡単に電源を切る  
/ 作業を中断するとき ..... 42

# 1

## 電源を入れる

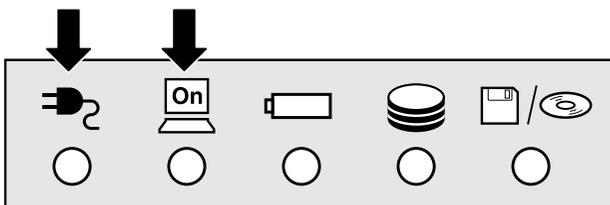
### ⚠ 注意

・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。

ここでは、Windowsのセットアップを終えた後、電源を入れる方法について説明します。

### 電源に関する表示

次の図で矢印の付いているものが、電源に関する表示です。

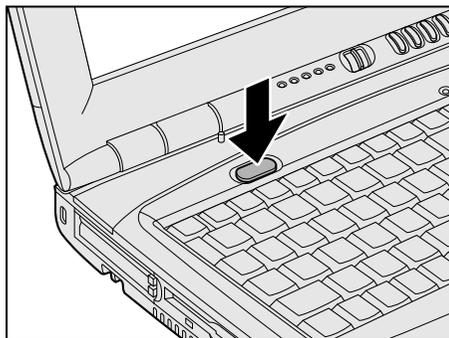


それぞれの意味は次のとおりです。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリー、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点灯	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

### 操作手順

- 1 フロッピーディスク装置に何もセットされていないことを確認する
- 2 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
- 3 Power LED が点灯するまで、電源スイッチを押す  
Power LED が緑色に点灯します。



その後、Windowsの起動画面が表示されます。

スタンバイ機能を実行していた場合、または休止状態にしていた場合は、実行する直前の状態が再現されます。

 **参照** スタンバイ機能、休止状態について

● 「本章 3 作業を中断する」

パネルスイッチ機能を設定していた場合、ディスプレイを開けると、自動的に電源が入ります。

 **参照** パネルスイッチ機能について

● 「本章 4 簡単に電源を切る / 作業を中断するとき」

パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。

### パスワードを設定している場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。

 **参照** パスワードについて ● 『活用編 1 章 2-東芝 HW セットアップ』  
『活用編 4 章 3 パスワードについて』

### メッセージが表示される場合

 **参照** 不明なメッセージについて

● 『困ったときは 1 章 2-10 不明なメッセージが出た!』



・パスワードの入力ミスを3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。

### ⚠ 注意

- Disk LED または FDD/CD-ROM LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置のイジェクトボタンや CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置のイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスク装置、CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置が壊れるおそれがあります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。故障の原因になります。
- ディスプレイを閉じる場合は、静かに閉じてください。ディスプレイを強く閉じると、衝撃でパソコン本体が故障するおそれがあります。

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切ることを「シャットダウン」といいます。必ず手順に従って電源を切ってください。

周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。

作業を中断したときの状態をいったん保存して、またすぐに使う場合は、スタンバイ機能を実行、または休止状態にすることができます。

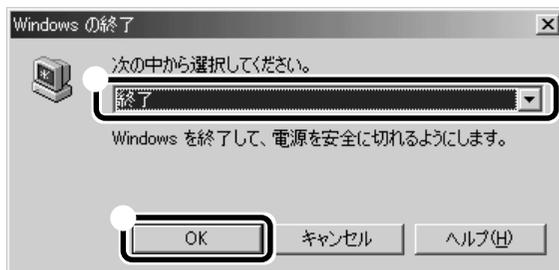
☞ スタンバイ機能、休止状態について ▶ 「本章 3 作業を中断する」

## 1 データを保存し、アプリケーションを終了する

## 2 [スタート] - [Windows の終了] をクリックする



## 3 [終了] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする



## ⚠ 注意

- ・本製品の「スタンバイ中」とは、電源がオンの状態で表示画面をオフにし、CPUおよび他のデバイスが休止している状態です。この状態のとき、バッテリーや増設メモリの取り付け / 取りはずしは行わないでください。データの消失や感電、故障のおそれがあります。
- ・休止状態にするときは、メモリの内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。メモリ内容の書き込み中は、Disk LED が点灯します。Disk LED、および Power LED 点灯中は、パソコン本体の持ち運びをしないでください。ハードディスク装置が壊れるおそれがあります。

スタンバイ機能を実行したり、休止状態にすると、作業を中断したときの状態から、すぐに使うことができます。

## スタンバイ機能

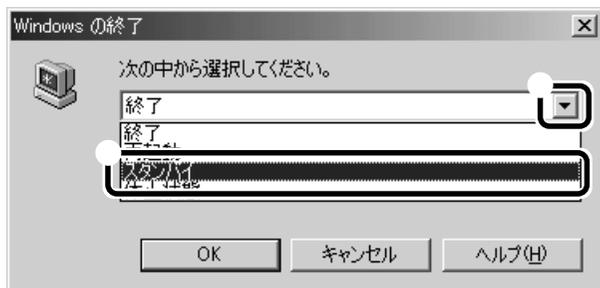
作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源を入れると、状態を再現することができます。

スタンバイ機能を実行するとすばやく状態が再現されますが、休止状態にしたときよりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうとデータは消失しますので、スタンバイ機能を実行する場合は、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

## 1 [スタート] - [Windows の終了] をクリックする



## 2 ▼ ボタンをクリックし、[スタンバイ]を選択する



## 3 [OK] ボタンをクリックする

メモリへの保存が終わると、画面がまっ暗になります。

## 4 Power LED がオレンジ点灯しているか確認する



- ・スタンバイ機能または休止状態に設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

## 休止状態

作業を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、状態を再現することができます。パソコンをバッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

### 1 休止状態を有効に設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

[東芝省電力]アイコンをダブルクリックする

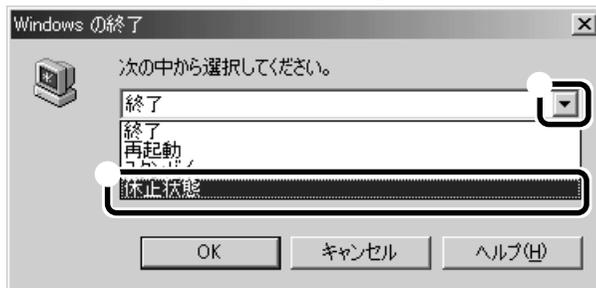
[休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェック(☑)する

休止状態が有効になります。

### 2 [スタート] - [Windowsの終了] をクリックする



### 3 ▼ ボタンをクリックし、[休止状態]を選択する



### 4 [OK] ボタンをクリックする

[スタート]メニューから以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときにもスタンバイ機能を実行したり、休止状態にすることができます。その場合は、設定が必要です。

設定について ▶ 「本章 4 簡単に電源を切る / 作業を中断するとき」



・休止状態にするときは、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk LEDが点灯しますのでLEDの点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。



・[コントロールパネル]画面に[東芝省電力]アイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

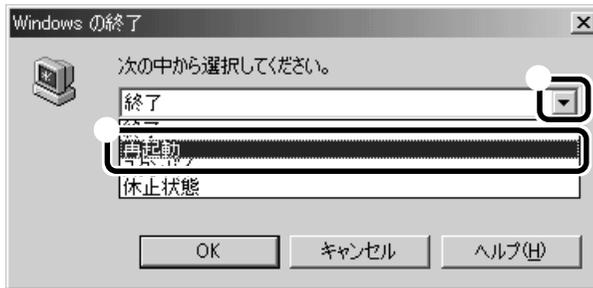
## 再起動

いったんWindowsを終了した後、すぐにもう一度起動することを再起動といいます。パソコンの設定を変えたときや、パソコンがスムーズに動かなくなってしまうときなどに行います。

**1** [スタート] - [Windowsの終了] をクリックする



**2** ▼ ボタンをクリックし、[再起動] を選択する



**3** [OK] ボタンをクリックする

[スタート]メニューから電源を切る、または作業を中断する以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときに、シャットダウン、スタンバイ機能の実行、または休止状態にすることができます。

## 電源スイッチを押す

休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- [東芝省電力]アイコンをダブルクリックする
- [休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェック(☑)する

休止状態が有効になります。

### 1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- [東芝省電力]アイコンをダブルクリックする
- [電源設定]タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする
- [動作]タブの[電源ボタンを押したとき]で[スタンバイ][休止状態][電源オフ]のいずれかを選択する

### 2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

## ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると電源を切る、または作業を中断することを、パネルスイッチ機能といいます。スタンバイ機能、または休止状態に設定できます。休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
  - [東芝省電力]アイコンをダブルクリックする
  - [休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェック(☑)する
- 休止状態が有効になります。

### 1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- [東芝省電力]アイコンをダブルクリックする
- [電源設定]タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする
- [動作]タブの[コンピュータを閉じたとき]で[何もしない][スタンバイ][休止状態][電源オフ]のいずれかを選択する

### 2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。  
次にディスプレイを開くと、自動的に電源が入ります。



・[コントロールパネル]画面に[東芝省電力]アイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。



・Fn + F3 キーを使用して電源スイッチを押したときの動作を切り換えることもできます。



詳細について

▶「7章 3-Fn)キーを使った特殊機能キー」



・[コントロールパネル]画面に[東芝省電力]アイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

・手順1の [何もしない]を選択すると、パネルスイッチ機能は働きません。

# 2 章

## パソコンをさわってみよう

Windows の基本操作について説明します。  
はじめて Windows をお使いになる方はお読みください。

- 1** デスクトップとは ..... 44
- 2** 基本操作を覚える ..... 45
- 3** ウィンドウを開く ..... 46
- 4** ファイルやフォルダを作る ..... 47
- 5** ファイルやフォルダをコピーする ..... 53
- 6** ファイルやフォルダを削除する ..... 55

# 1 デスクトップとは

パソコンに表示される画面全体をデスクトップといいます。

デスクトップとは「机の上」のことで、画面全体を机、パソコンを使って動かすものを文房具などの道具にたとえた言い方です。パソコンでも机の上のように、いろいろな道具を使って作業することができます。

ここでは、デスクトップに表示されているものの役割を確認しましょう。

\*本章で使用している画面は表示例です。



・Windowsの使い方については、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』、または[スタート]-[ヘルプ]をクリックして、『ヘルプとサポート』もご覧ください。

# 2

## 基本操作を覚える

ここでは、画面上での操作について説明します。



### アキュポイント とコントロールボタン

画面上にあるマウスポインタ (  ) は、アキュポイント で動かします。アキュポイント に指を置き、押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

マウスポインタは、同梱されているマウスを接続して動かすこともできます。

 **マウスについて** ▶「初めてパソコンを使うときには 5 マウスの使い方」マウスポインタを画面上の項目にあわせ、コントロールボタンで選択します。コントロールボタンでは、次の操作ができます。

クリック	コントロールボタンの上ボタンを1回押します。
ダブルクリック	コントロールボタンの上ボタンを2回続けて、「カチカチッ」とすばやく押します。アプリケーションの起動などができます。
ドラッグアンドドロップ	コントロールボタンの上ボタンを押したまま、アキュポイント でマウスポインタを動かします。画面上のアイコンなどがマウスポインタと一緒に移動します (ドラッグ)。目的の場所でボタンから指を離すと、移動中の項目がそこに配置されます (ドロップ)。
右クリック	コントロールボタンの下ボタンを1回押します。メニューが表示されます。ここでは、マウスを使うときの呼び方と同じ「右クリック」とします。

### スクロールボタン

画面上では表示しきれない部分を、スクロールして見ることができます。

画面上で見えない部分があったとき、左右のボタンを押すと、画面の表示が上下に移動して隠れていた部分が表示されます。



・何かが起動してしまった場合は、「本章 3 ウィンドウを開く」をご覧ください。



・次の場合、アキュポイント を操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。

- ・電源を入れたとき
- ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき

この場合は、マウスポインタが動かなくなるまで待つてから、アキュポイント を使用してください。

## 2章

パソコンをさわってみよう

# 3 ウィンドウを開く

Windows では、一つ一つのデータや道具を窓のかたち（ウィンドウ）で開き、操作します。

「マイドキュメント」のウィンドウを開いてみましょう。

- 1 デスクトップにある [マイドキュメント] アイコン (  ) にマウスポインタをあわせ、ダブルクリックする  
[マイドキュメント] のウィンドウが開きます。

閉じるボタン——  
ウィンドウを閉じます。

最大化ボタン（元のサイズに戻すボタン）——  
ウィンドウを画面いっぱいに表示します。  
最大化された状態のとき、同じ位置に出る元のサイズに戻すボタン (  ) をクリックすると、ウィンドウが元の大きさに戻ります

最小化ボタン——  
ウィンドウをタスクバーにおさめます。  
タスクバーのウィンドウ名をクリックすると、元に戻ります。

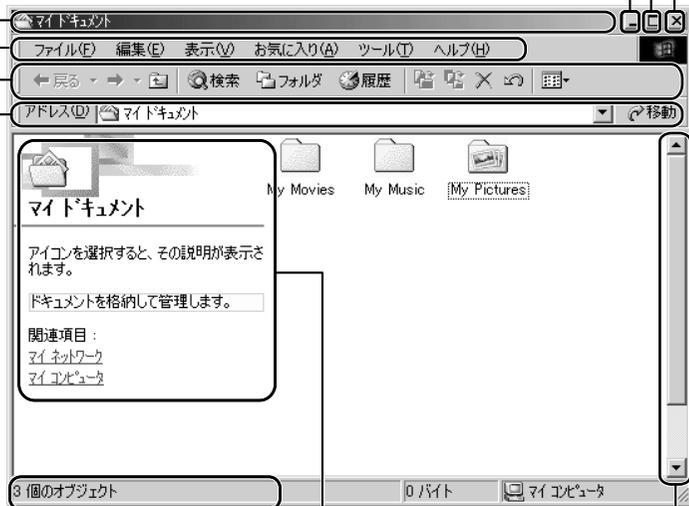
タイトルバー——  
ウィンドウの名前が表示されます。  
この部分にマウスポインタをあわせてドラッグすると、ウィンドウを移動することができます。

メニューバー——  
それぞれのボタンをクリックすると、メニューが表示されます。項目をクリックして、いろいろな指示を出すことができます。

ツールバー——  
メニューバーのメニューの中で、よく使う指示がボタンで表示されます。

アドレスバー——  
開いているウィンドウが、パソコンのどこにあるのかを表示します。

ステータスバー——  
ウィンドウの状態などが表示されます。



ウィンドウ説明——  
ウィンドウの名前やアイコンの内容説明が表示されます。

スクロールバー——  
ウィンドウの大きさでは画面に表示しきれない部分があるときに表示されます。  
バーをドラッグするか、矢印ボタン (  ) をクリックしてスクロールすることができます。

ウィンドウの境界線にマウスポインタをあわせると、矢印が (  ) の形に変わります。その状態でドラッグすると、ウィンドウの大きさを変えることができます。

ここからは、表示される画面全体のことを「デスクトップ」、開いたウィンドウのことを「画面」と呼びます。

パソコンのデータは、「ファイル」の単位で保存・整理します。

また、ファイルをまとめておく入れものを「フォルダ」といいます。フォルダの中にはさらにフォルダを入れて、細かく分類することができます。

先ほど開いた「マイドキュメント」もフォルダです。

Windowsは、たくさんのファイルやフォルダで構成されています。

ここでは、フォルダとファイルを自分で新しく作成し、管理する方法について説明します。

## フォルダを作る

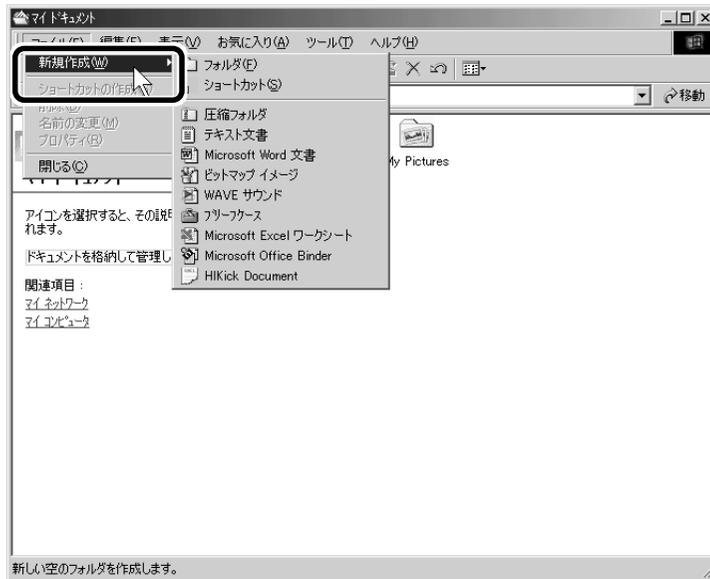
[マイドキュメント]の中に、フォルダを作ってみましょう。

- 1 [マイドキュメント]画面で、メニューバーの[ファイル]をクリックする



メニューが表示されます。

## 2 マウスポインタを [ 新規作成 ] にあわせる

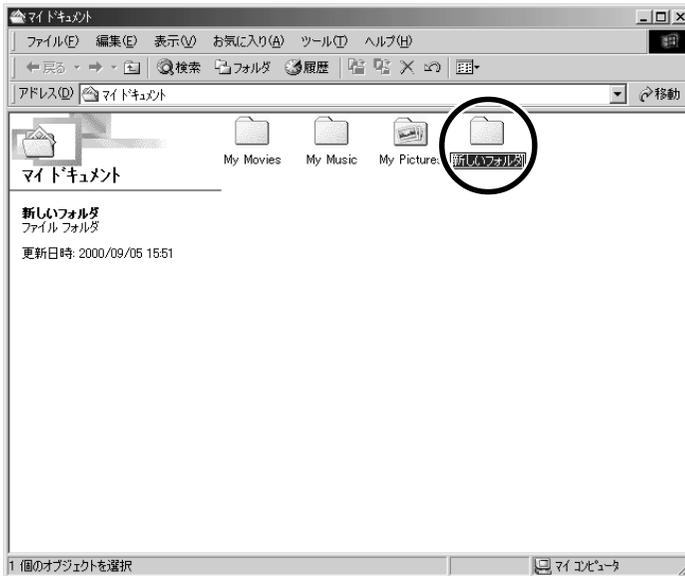


右端の  の右にメニューが表示されます。

## 3 [ フォルダ ] にマウスポインタをあわせ、クリックする



[マイドキュメント]の中に、[新しいフォルダ]が作成されます。



フォルダ名が反転表示されて確定していない場合は、[マイドキュメント]の中の何も無いところにマウスポインタを移動してクリックすると、フォルダ名がそのまま[新しいフォルダ]で確定されます。



これで、[マイドキュメント]の中に、[新しいフォルダ]を作ることができました。



用語

・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、一度削除して入力し直す。

## ファイルを作る

フォルダを作ったら、その中にファイルを作ってみましょう。  
ここでは、「テキスト文書」ファイルの作り方について説明します。

### 1 [新しいフォルダ] をダブルクリックする

[マイドキュメント]画面が消えて、[新しいフォルダ]画面が開きます。  
中にあるフォルダを開くと、上の階層のフォルダに重なり、上の階層のフォルダ画面は自動的に閉じます。上の階層のフォルダ画面をもう一度表示させる場合は、ツールバーの[上へ]ボタン(  )をクリックしてください。

### 2 [新しいフォルダ]画面で、メニューバーの[ファイル]をクリックする



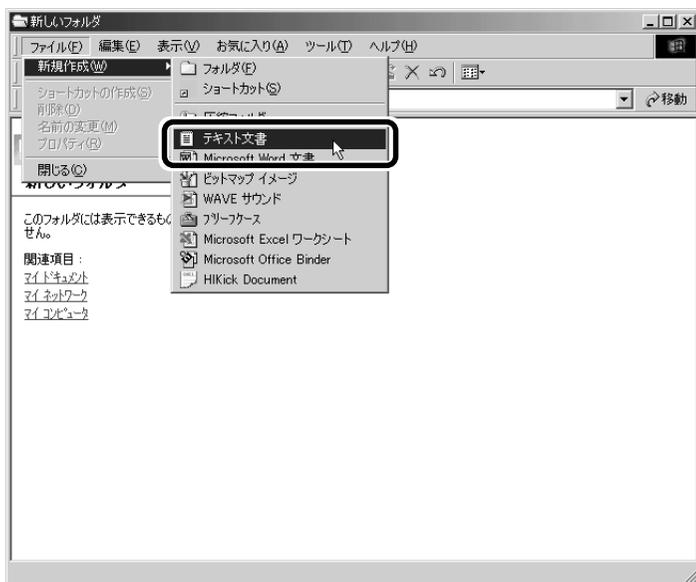
メニューが表示されます。

### 3 マウスポインタを [ 新規作成 ] にあわせる



右端の  の右にメニューが表示されます。

### 4 [ テキスト文書 ] にマウスポインタをあわせ、クリックする



[新しいフォルダ]の中に、[新規テキスト文書]が作成されます。



ファイル名が反転表示されて確定していない場合は[新しいフォルダ]の中の何もなかったところをクリックして、ファイル名をそのまま[新規テキスト文書]で確定してください。

これで、[新しいフォルダ]の中に、[新規テキスト文書]ファイルを作ることができました。

## フォルダやファイルに名前を付ける

フォルダやファイル名を反転表示させると、文字を入力して名前を付けることができます。

 文字の入力について ▶ 「3章 3 文字を入力する」

フォルダやファイル名は、次の手順で反転表示できます。

**1** フォルダやファイルのアイコンをクリックして選択する

**2** 少し間をおいてアイコンのファイル名の部分をクリックする、またはメニューバーの[ファイル]-[名前の変更]をクリックする

フォルダやファイル名が反転表示されます。

ここでは、ファイルの名前は[新規テキスト文書]のままでかまいません。次に進んでください。

### 用語

#### ・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

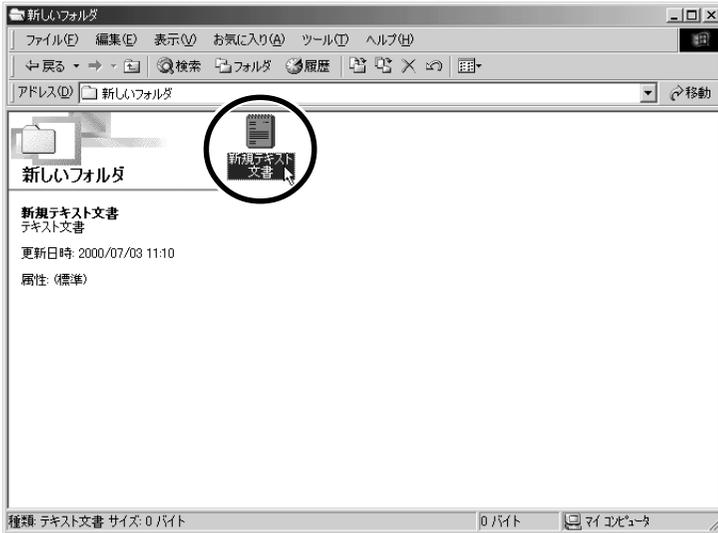
いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、一度削除して入力し直す。

# 5

## ファイルやフォルダをコピーする

ファイルやフォルダは、簡単に複製を作る（コピーする）ことができます。ここでは、[新しいフォルダ]の中に作った[新規テキスト文書]を[マイドキュメント]フォルダにコピーしてみましょう。

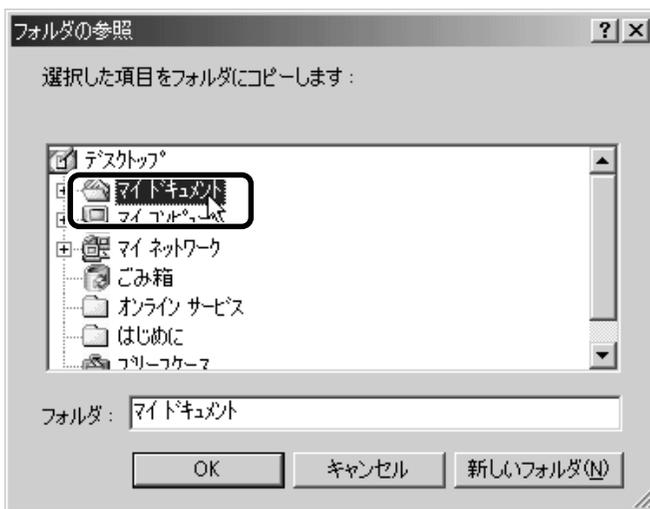
**1** [新しいフォルダ]画面で[新規テキスト文書]をクリックする



アイコンが反転表示されます。

**2** ツールバーの[コピー先]ボタン(  )をクリックする  
[フォルダの参照]画面が表示されます。

**3** [フォルダ]欄が[マイドキュメント]になっているか確認する  
ほかの場所になっている場合は、上の一覧から[マイドキュメント]をクリックしてください。



**4** [OK] ボタンをクリックする

これで [ 新規テキスト文書 ] をコピーすることができました。

[ 上へ ] ボタン (  ) をクリックすると、ひとつ上の階層にある [ マイドキュメント ] 画面が表示されます。

[ 新規テキスト文書 ] があることを確認してください。



# 6

## ファイルやフォルダを削除する

ファイルやフォルダを削除するときは、いったん[ごみ箱]フォルダに入れてから、まとめて消去します。誤ってファイルやフォルダを削除してしまっても、[ごみ箱]フォルダにあるうちは、元の場所に戻してまた使うことができます。

[マイドキュメント]にコピーした[新規テキスト文書]を削除してみましょう。

### 1 [マイドキュメント]画面で[新規テキスト文書]をクリックする



アイコンが反転表示されます。

### 2 ツールバーの[削除]ボタン( X )をクリックする

[ファイルの削除の確認]画面が表示されます。

### 3 [はい]ボタンをクリックする



[マイドキュメント]フォルダから[新規テキスト文書]が消えますが、ファイルはなくなったわけではありません。[ごみ箱]の中に移動しています。



・[新しいフォルダ]画面から[マイドキュメント]画面に移動するには、ツールバーの[上へ]ボタンをクリックします。

## 2章

パソコンをさわってみよう

#### 4 デスクトップの [ごみ箱] アイコン ( ) をダブルクリックする

[ごみ箱] 画面が開き、削除した [新規テキスト文書] が表示されます。



#### 5 [ごみ箱] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする

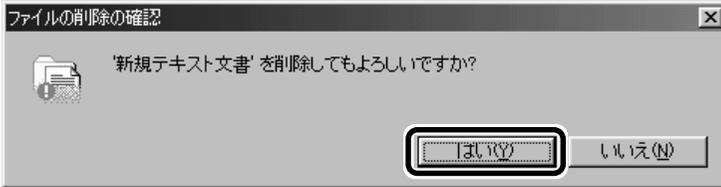


アイコンが反転表示されます。

## 6 ツールバーの [ 削除 ] ボタン ( ) をクリックする

[ ファイルの削除の確認 ] 画面が表示されます。

## 7 [ はい ] ボタンをクリックする



[ 新規テキスト文書 ] が完全に削除されます。



・[ごみ箱]から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行ってください。

## 2章

パソコンをさわってみよう

## まとめて削除する方法

[ごみ箱]画面でファイルやフォルダ名を選択せずに、[ごみ箱を空にする]ボタンをクリックした場合は、[ごみ箱]にあるファイルやフォルダすべてを削除することができます。



・[ごみ箱]から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行ってください。

## ごみ箱に入れたファイルを元に戻す

[ごみ箱]にあるファイルやフォルダを元に戻すときは、次の手順で行います。

**1** デスクトップの[ごみ箱]アイコン(  )をダブルクリックする

[ごみ箱]画面が開きます。

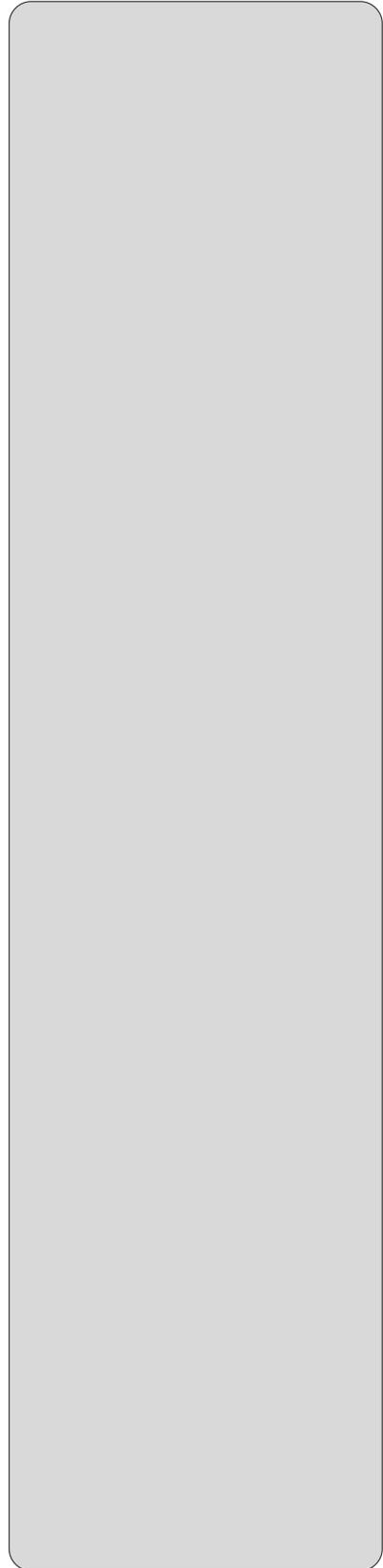


- 2** [ごみ箱] 画面で元に戻したい項目をクリックする  
選択した項目が反転表示されます。



- 3** [元の場所に戻す] ボタンをクリックする  
選択したファイルやフォルダが、元の場所に戻ります。





# 3章

## 文字を入力してみよう

キーボードで文字を入力し、  
文書を作成する方法について説明します。

<b>1</b>	メモ帳を開く .....	62
<b>2</b>	キーボードについて .....	63
<b>3</b>	文字を入力する .....	64
<b>4</b>	文書を保存する .....	76

# 1

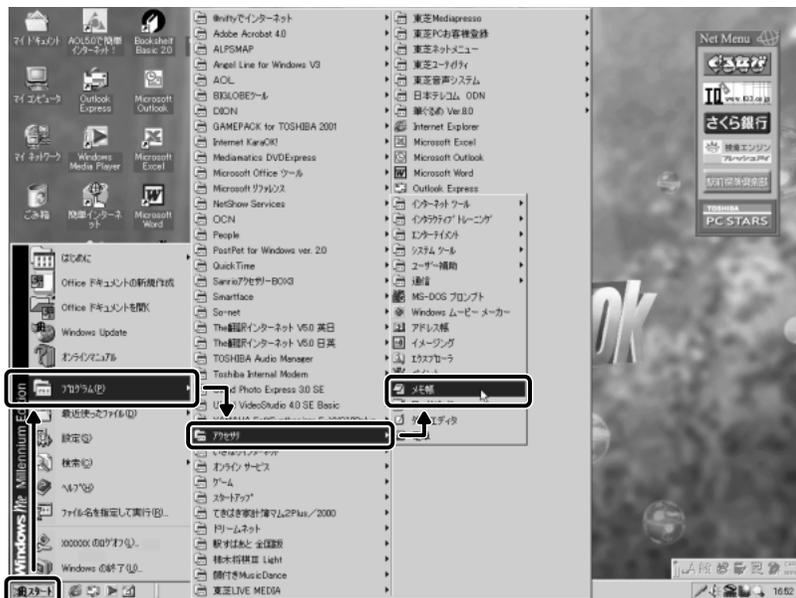
## メモ帳を開く

ここでは、文書ファイルにキーボードを使って文字を入力し、文書として保存する方法について説明します。

はじめに、文字を入力するファイルを開きましょう。

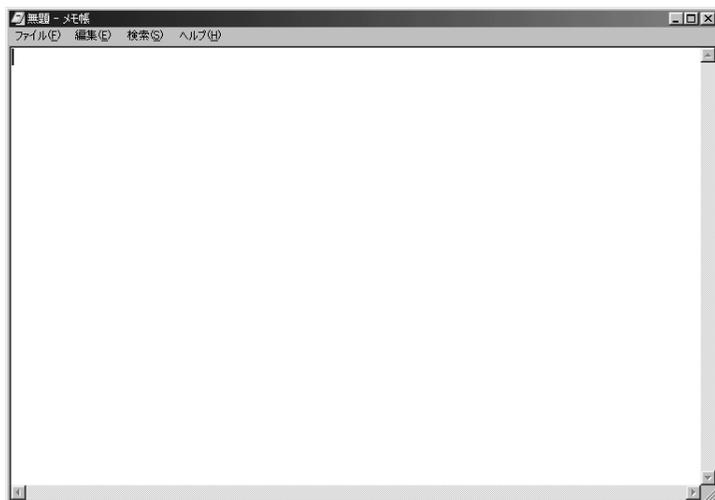
ここでは、Windows に付属のアプリケーション「メモ帳」を使って[テキスト文書]を作成します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックして、[プログラム]-[アクセサリ]-[メモ帳] までたどり、[メモ帳] をクリックする



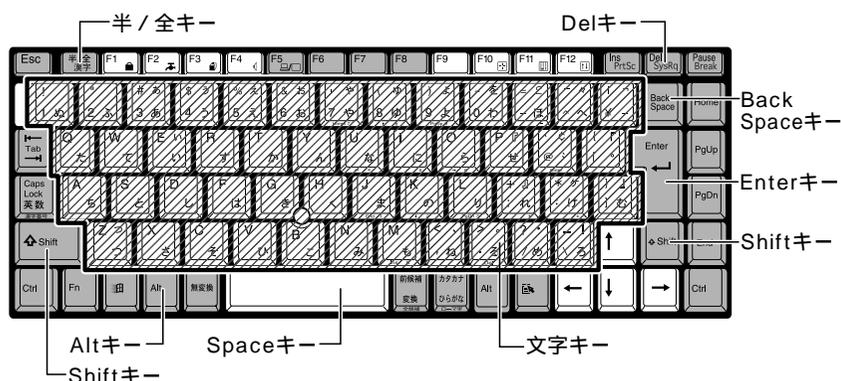
(表示例)

[無題 メモ帳] 画面が開きます。



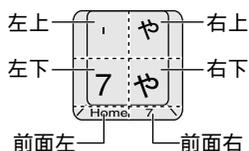
# 2

# キーボードについて



## 文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。  
文字キーに印刷されている2～6種類の文字や記号は、制御キーで使い分けます。



### 左上

**(Shift)** キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。

### 右上

かな入力ができる状態で **(Shift)** キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音、拗音が入力できます。

### 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの小文字が入力できます。

### 右下

かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

かな入力の設定 ▶ 「本章 3-2 入力モードを決める」

### 前面左

アロー状態のときに押すとカーソル制御キーとして使えます。

アロー状態 ▶ 「7章 2-Arrow Mode LED」

### 前面右

数字ロック状態のときに押すとテンキーとして使えます。

数字ロック状態 ▶ 「7章 2-Numeric Mode LED」

## 3章

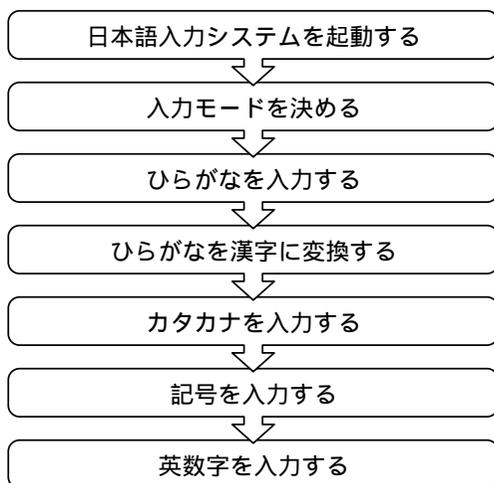
文字を入力してみよう



・「\」(バックスラッシュ)を入力すると、「¥」と表示されます。かな入力状態のときに押すと、カタカナや記号が入力できます。

# 3 文字を入力する

ここでは、簡単な文を入力しながら、パソコンでの文字入力について覚えましょう。  
次の流れにそってすすめていきます。



## 1. 日本語入力システムとは

本製品には、Microsoft社製の日本語入力システムMS-IMEが用意されています。起動したときは、英数字入力ができるようになっています。日本語を入力できるようにするには、次の方法があります。

入力モードボタンから選択する



ここをクリックし、メニューの「ひらがな」をクリックする

選択したメニューには、チェックマーク  がつきます。

タスクバーの (  ) をクリックし、メニューの「ひらがな」をクリックする



(表示例)

### 用語

・半角 / 全角

パソコンで入力できる文字には、「半角」「全角」2種類の大きさがある。

「半角」は漢字モードではないときに普通に表示される文字で、少し縦長。(例: A, ア)

「全角」は半角を二つあわせたくらいの大きさ。(例: A, ア) 英数字やカタカナは半角・全角どちらでも入力できるが、ひらがなと漢字は全角でのみ入力できる。

**(Alt) + (半/全)**キーを押す

日本語入力が行えるようになると、MS-IME ツールバーは次のようになります。



## 2. 入力モードを決める

入力モードによって、同じキーを押したときでも、表示される文字が異なります。「ローマ字入力」は、キーに印刷されている英数字のとおりローマ字入力して、ひらがなに変換する方法です。

「かな入力」は、キーに印刷されているひらがなのとおりに入力する方法です。日本語入力システムを起動したときの標準設定は、ローマ字入力になっています。

**ローマ字入力について** ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」

かな入力に設定を変更する場合は、次のように設定してください。

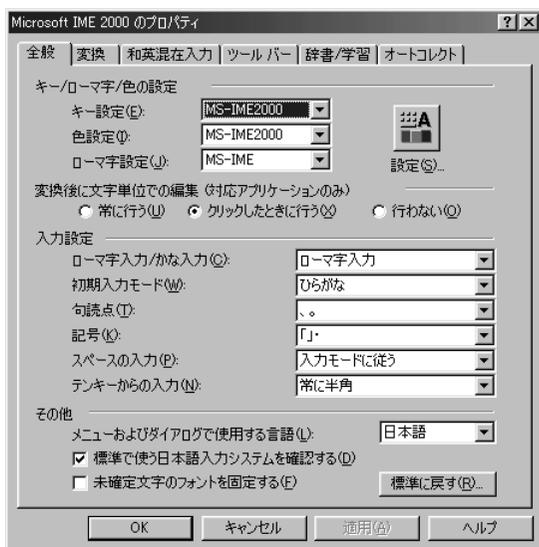
### キーボードで設定する

**1** **(Alt)**キーを押したまま、**(カタカナひらがな)**キーを押す

### 画面上で設定する

**1** MS-IME ツールバーの **[プロパティ]** アイコン ( ) をクリックする

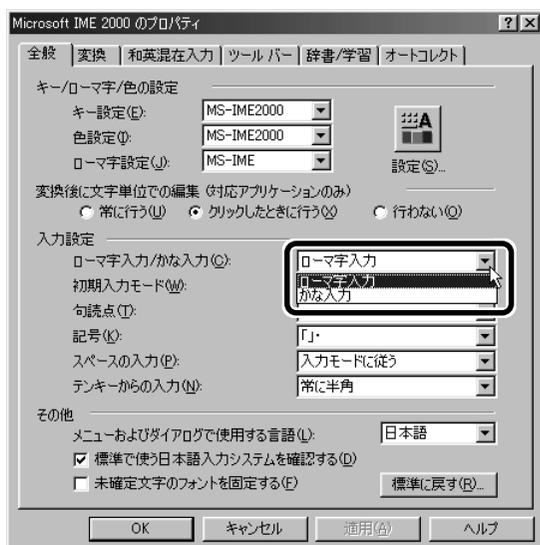
[ Microsoft IME のプロパティ ] 画面が表示されます。



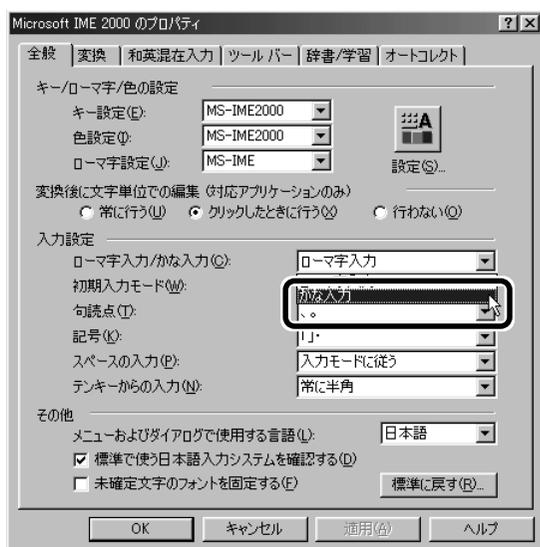
・画面では[全般]タブが一番前に表示されています。表示されているタブが異なる場合は、上部のタブ名をクリックしてください。クリックしたタブが一番前に表示されます。

## 2 [全般] タブで、[入力設定] の [ローマ字入力/かな入力] ボックスの右にある ▼ ボタンをクリックする

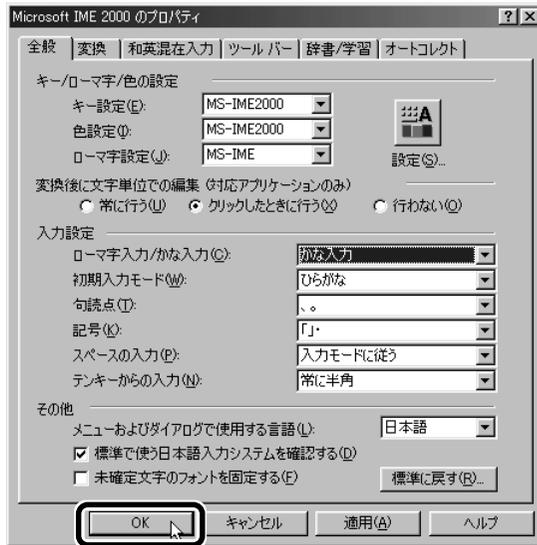
[ローマ字入力] [かな入力] のメニューが表示されます。



## 3 [かな入力] をクリックする



## 4 [OK] ボタンをクリックする



かな入力が行えるようになると、MS-IME ツールバーは次のようになります。



くぼんで表示されます。

### 3. ひらがなを入力する

日本語入力システムを起動したら、「本章 1 メモ帳を開く」で起動した[無題メモ帳]画面に、ひらがなを入力してみましょう。

画面左の一番上の段に、カーソルというたての棒が点滅しています。ここから、文字入力ができます。

 ローマ字入力について ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」



それでは、次の文をつくります。

こんばんは  
来週パーティーを開きます。  
21日、7:00p.m.におこしてください。  
服部

「こんばんは」は、次のように入力します。

ローマ字入力の場合

(K)(O)(N)(N)(B)(A)(N)(N)(H)(A)と、キーボードのキーを順に押す

かな入力の場合

(こ)(ん)(は)(ろ)(ん)(は)と、キーボードのキーを順に押す

こんばんは|

ここでは、ひらがなで入力したら、(Enter)キーを押して確定してください。文字の下線が消えます。



- ・確定  
文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。  
いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。  
訂正したい場合は、一度削除して入力し直す。

### 間違えたときには

**BackSpace** キーを押すと、右から順に画面上の文字が消えます。

こんばん|

その後、正しい文字を入力し直してください。

日本語を入力すると、文字の下に点線がつきます。これは、この文字が漢字変換できることを表しています。

### 確定した後、文字を削除するには

**○****○****○****○** キーでカーソルを、消したい文字の左側に移動し、**BackSpace** キーを押します。

また、**Del** キーを押すと、カーソルのひとつ右側にある文字が消えます。

### 改行するには

**Enter** キーを押すと、カーソルが一段下の左端に移動します。

こんばんは  
|

## 4. ひらがなを漢字に変換する

漢字を入力するには、まずひらがなを入力し、漢字に変換します。

「らいしゅう」と入力したら、(Space)キーを押します。

こんばんは

来週

目的の漢字ではない場合は、もう一度(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。



一覧から(Space)または(Enter)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

こんばんは

来週



・「しゅ」と入力する方法

ローマ字入力の場合は、(S)(H)(U)または(S)(Y)(U)とキーを押します。



ローマ字入力について

▶「8章 1 ローマ字入力一覧表」

かな入力の場合は、(し)キーを押した後、(Shift)キーを押したまま、(ゆ)キーを押します。キートップ右上に印刷された、拗音などの文字を入力する場合は、(Shift)キーを押しながら文字キーを押します。

## 5. カタカナを入力する

カタカナを入力したい場合は、漢字の変換と同様に、ひらがなをカタカナに変換することができます。

ひらがなで「ぱーていー」と入力します。

**[Space]** キーを押すと、「パーティー」と変換されます。

カタカナのみ入力するときは、ツールバーで次のように設定します。



ここをクリックし、メニューから「全角カタカナ」を選択する

MS-IME ツールバーは次のようになります（ローマ字入力の場合）。



続けて「をひらきます。」と入力して「を開きます。」に変換してみましょう。



・「ー」と入力する方法

ローマ字入力の場合は、

**[=]** キーを押します。

かな入力の場合は、**[↓]** キーを押します。

・「てい」と入力する方法

ローマ字入力の場合は、

**[T][H][I]** または

**[T][E][X][I]** とキーを押します。

ローマ字入力について

▶「8章 1 ローマ字入力一覧表」

かな入力の場合は、**[て]** キーを押した後、**[Shift]** キーを押したまま、**[E]** キーを押します。

## 3章

文字を入力してみよう

## 6. 記号を入力する

よく使う記号の入力方法は次のとおりです。

「、」（読点）

ローマ字入力の場合 .. **[<]** キーを押す

かな入力の場合 ..... **[Shift]** キーを押したまま、**[<]** キーを押す

「。」（句点）

ローマ字入力の場合 .. **[>]** キーを押す

かな入力の場合 ..... **[Shift]** キーを押したまま、**[>]** キーを押す

「？」（疑問符）

ローマ字入力の場合 .. **[Shift]** キーを押したまま、**[?]** キーを押す

「！」（感嘆符）

ローマ字入力の場合 .. **[Shift]** キーを押したまま、**[!]** キーを押す

かな入力の場合、「？」「！」はMS-IME ツールバーを「半角数字」「直接入力」に変更して入力する、またはMS-IME パッドから探してください。



・「[チルダ)」を入力する方法

日本語入力システムを終了し、**[Shift]** キーを押しながら **[`]** キーを押します。

## IME パッドで探す

MS-IME では、読み方がわからない漢字や記号は、IME パッドから探すことができます。

- 1 MS-IME ツールバーの [IME パッド] アイコン (  ) をクリックする

[手書き] 画面が表示されます。



- 2 [手書き] をクリックし、表示されたメニューから [文字一覧] をクリックする



[文字一覧] 画面が表示されます。

- 3 「半角英字」と表示されているボックスの右にある  ボタンをクリックする

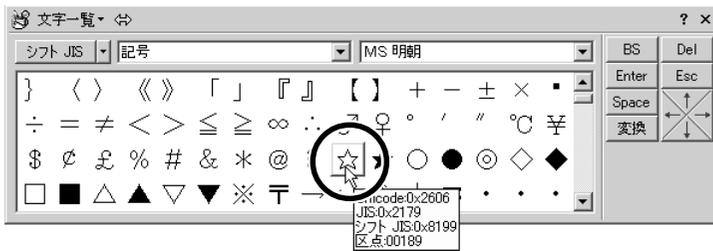


#### 4 表示されたメニューから、[記号]をクリックする

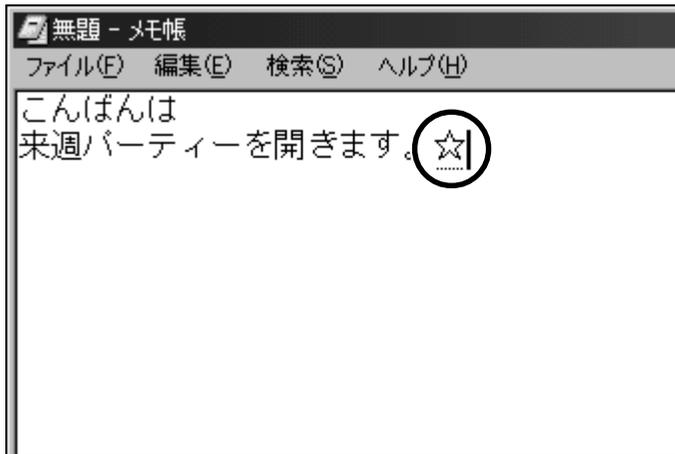


記号の一覧が表示されます。

#### 5 スクロールバーを使って目的の記号を探し、クリックする



「無題 - メモ帳」画面で、記号がカーソルの位置に入力されます。



## 7. 英数字を入力する

英字(アルファベット)や数字を直接入力するとき、ツールバーは次のようになります。



「ひらがなまたはカタカナ入力」「直接入力」の切り替えは、(Alt) + (半/全) キーを押すと簡単にできます。

または、ツールバーで次のように設定します。



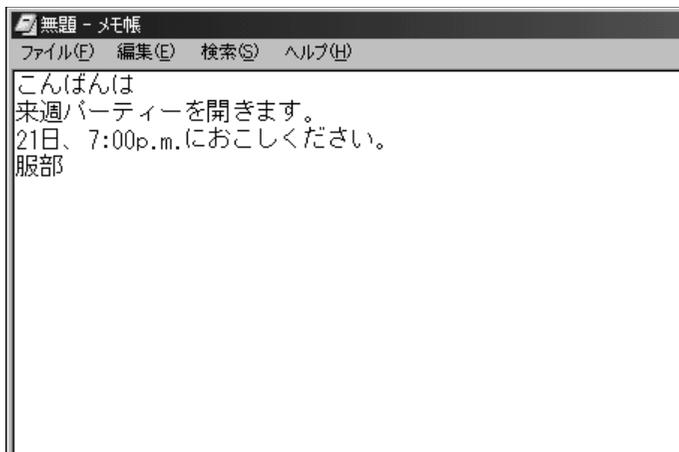
ここをクリックし、メニューから「直接入力」を選択する

「21」と入力してみましょう。

「直接入力」の場合は、文字を入力するだけで、自動的に確定されます。

続けて「日」、「7:00」「p.m.」に、「おこしてください。」と少しずつ入力してみましょう。

(Enter) キーを押して、改行してください。「はっとり」と入力して、(Space) キーを押して変換します。



文が完成しました。



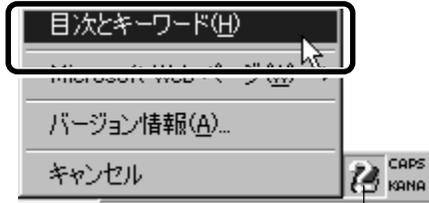
・「全角英数」も選択できますが、英字または数字だけの文章の場合は、一般的に半角で入力します。



・小さい「っ」と入力する方法  
ローマ字入力の場合は、次の子音を重ねます。「服部」のときは (H)(A)(T)(T)(O)(R)(I) となります。  
かな入力の場合は、(は) キーを押した後、(Shift) キーを押したまま (Z) キーを押します。

### ヘルプの起動

詳しい使い方については、次の手順で『MS-IMEのオンラインヘルプ』ご覧ください。



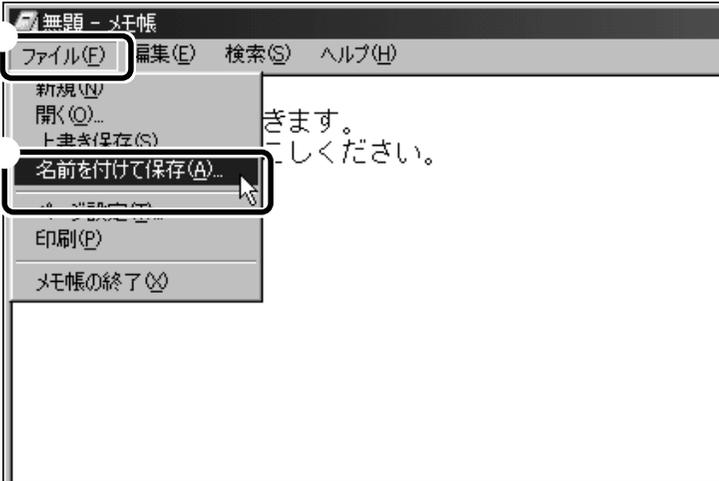
ここをクリックし、メニューから  
[目次とキーワード]を選択する

# 4

## 文書を保存する

作成した文書を保存して、パソコンの中に保存しておきましょう。

- 1 [無題 メモ帳] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [名前を付けて保存] をクリックする



[名前を付けて保存] 画面が開きます。



[ファイル名] に、「無題」の文字が反転表示されています。

- 2 日本語入力になっているか確認する

ツールバーで確認し、必要な場合は、(Alt) キーを押したまま、(半/全) キーを押して切り替えてください。



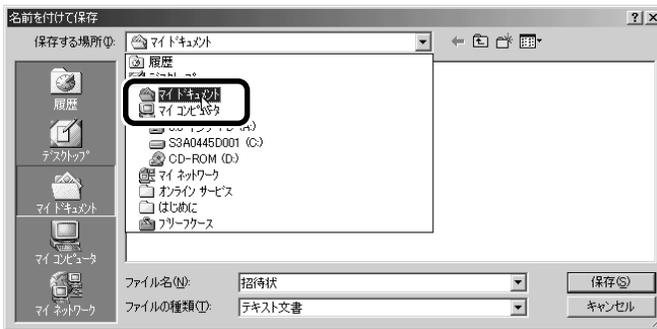
・「無題」の文字は確定されていないので、何か文字を入力して確定すると、消すことができます。

**3** [ファイル名] 欄に「招待状」と入力する

「しょうたいじょう」とひらがなで入力してから、(Space)キーを押して漢字に変換します。忘れずに(Enter)キーを押して確定してください。

**4** [保存する場所] が [マイドキュメント] になっているか確認する

ほかの場所になっている場合は、ボックス右端の ▾ ボタンを押して場所のメニューを表示します。



[マイドキュメント] をクリックしてください。

**5** [保存] ボタンをクリックする

保存したら、開いていた [無題 メモ帳] 画面のタイトルが「招待状 - メモ帳」になっているか確認してください。保存したファイルは、画面右上の [閉じる] ボタン ( X ) で閉じることができます。

**3** 章

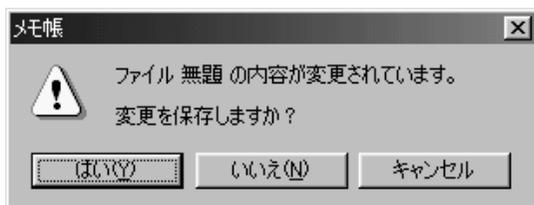
文字を入力してみよう

「招待状」を閉じたら、[マイドキュメント]を開いて[招待状]のファイルがあるか確認してください。



#### ファイルを保存せずに閉じた場合

保存されていないファイルの画面を閉じると、「変更を保存しますか？」などのメッセージ画面が表示されます。



- [はい] ボタンをクリックすると、変更を保存して画面が閉じます。
- [いいえ] ボタンをクリックすると、画面が閉じます。画面を起動したときの状態のまま、入力した文字などは保存されずに消えてしまいます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、元のファイル画面に戻ります。

# 4章

## インターネットを楽しもう！

インターネットについて説明しています。

- 1** インターネットとは？—始める前に— .... 80
- 2** インターネットに接続する ..... 83
- 3** Internet Explorer の使い方 ..... 94
- 4** 知っていると便利なこと ..... 100

# 1

# インターネットとは? 始める前に

## 1. インターネットとは?

インターネットとは、世界中のコンピュータを接続する巨大なコンピュータネットワークです。

企業、学校、プロバイダなどの小規模のコンピュータネットワーク同士が接続して、世界規模のコンピュータネットワークとなっています。

インターネットに接続すると、世界中のコンピュータに好きな時間にアクセスできるので、距離や時間を越えたコミュニケーションがインターネット上でできるようになります。



・プロバイダ

パソコンとインターネットの接続サービスを提供する会社。正式には「インターネットサービスプロバイダ」という。個人でインターネットを利用する場合、必ずどこかのプロバイダに入会する必要がある。

## 2. インターネットのできること

インターネットでは次のようなサービスを利用できます。

### WWW

一般にホームページ、Web ページなどとよばれる文字や画像でできたページを見ることができます(以降本書ではホームページとよびます)。

ページ中の文字や画像をたどっていくと次々とページが表示され、目的の情報にたどりつくことができます。ホームページを見るにはブラウザとよばれるアプリケーションが必要です。

詳細について ▶ 「本章 3 Internet Explorer の使い方」

WWW サービスを利用して、インターネット上で行えることの実例です。他にも目的に応じて、さまざまな活用方法があります。

- ・ゲームをする
- ・ショッピングをする
- ・チャットする
- ・自分のホームページを開く
- ・チケットなどの予約をする
- ・カラオケをする
- ・ラジオを聴く
- ・テレビを見る
- ・ダウンロードする(ソフトを入手する)

### 電子メール

インターネット上でやりとりする「手紙」です。

郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも数分で行きます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。

さらに画像や文書ファイルなどデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

詳細について ▶ 「5章 電子メールを使おう」



・ブラウザ

ホームページを見るためのアプリケーション。WWW ブラウザなどとも呼ばれる。

## ネットニュース

さまざまなテーマごとにわかれたグループ(「ネットグループ」といいます)があり、他人と意見や情報を交換する場です。

ネットニュースにメッセージを投稿したり、投稿されたメッセージを読むには、ニュースリーダとよばれるアプリケーションが必要です。

 詳細について ▶ 『Outlook Express のヘルプ』

## 3. インターネットに必要なもの

インターネットへ接続するためには次のものがが必要です。

電話回線または PHS、携帯電話など

モデム

本製品には内蔵されています。

ブラウザ(アプリケーション)

本製品には Microsoft® Internet Explorer が用意されています。

PPP 対応接続用ソフト

本製品には Windows に標準で付属しているダイヤルアップネットワークが用意されています。



- ・より高速な通信を行いたいときは ISDN 回線をおすすめします。ISDN 回線をお使いになる場合は、市販のターミナルアダプタ(TA)が必要です。

## 4. プロバイダを選ぶ

個人でインターネットに接続するには、必ずプロバイダに入会する必要があります。インターネットに接続する前にどのプロバイダに入会するかあらかじめ検討しておきましょう。

プロバイダを選択するときは、次のようなことをポイントにして選択するとよいでしょう。

同じ市外局番のアクセスポイントがある / アクセスポイントが多い

アクセスポイントの設置場所はプロバイダによって異なります。

インターネットに接続するには電話料金がかかりますので、アクセスポイントが遠いと電話料金が高くなってしまいます。通常、接続する場所から最も近いアクセスポイントを選択します。また、外出先で使用することを考えると、アクセスポイントが多いほうがよいでしょう。

 詳細について ▶ 「本節 5 インターネットにかかる費用」

自分に適している料金プランがある

各プロバイダが色々な料金プランを提供しています。インターネットを利用する時間を考え、適したプランを選択しましょう。

 詳細について ▶ 「本節 5 インターネットにかかる費用」

プロバイダが対応している通信速度を確認する

自分のモデムやターミナルアダプタの通信速度を確認し、その速度に対応しているプロバイダを選択しましょう。

プロバイダが対応していなければ、高速のモデムやターミナルアダプタを使用しても、その速度で通信できず、性能を発揮できません。

また、携帯電話や PHS で接続する場合も、プロバイダが対応しているか確認しましょう。



- ・アクセスポイント  
各プロバイダが設置しているインターネットへの接続地点のこと。

プロバイダが提供しているサービスを確認する

インターネット接続サービス以外にも色々なサービスが提供されています。インターネットの目的に合わせてサービスを確認しておきましょう。

サービスの例です。

- ・コンテンツサービス
- ・メール/メール転送サービス
- ・ホームページ開設サービス

など

メールアドレスを指定できる

プロバイダによって、好きなメールアドレスを使える場合と、プロバイダから割り当てられたアドレスを使用する場合があります。あらかじめ確認しておくといでしょう。

サポート体制が充実している

インターネットに接続するときにエラーメッセージが表示され、接続できないことがめずらしくありません。

自分で解決できないときに、各プロバイダのサポートセンタに問い合わせることになります。サポートセンタの営業時間なども考慮に入れるといでしょう。

## 5. インターネットにかかる費用

インターネットに接続すると、電話会社へ支払う電話料金と、プロバイダへ支払う利用料金がかかります。

インターネットをどれくらい使うかを考え、料金体系を選択しましょう。

プロバイダの料金体系の例です。

従量料金制

プロバイダに接続した時間に応じて課金されます。

インターネットを短時間利用する人におすすめします。

固定料金制

プロバイダに何時間接続しても、支払う料金は定額です。

メールチェック中心など、短時間の利用の場合は割高になります。

インターネットを長時間利用する人におすすめします。

基本料金 + 従量料金制

ある規定の接続時間までは固定、時間を越えた分だけ従量料金として課金されます。

最も一般的な料金体系です。

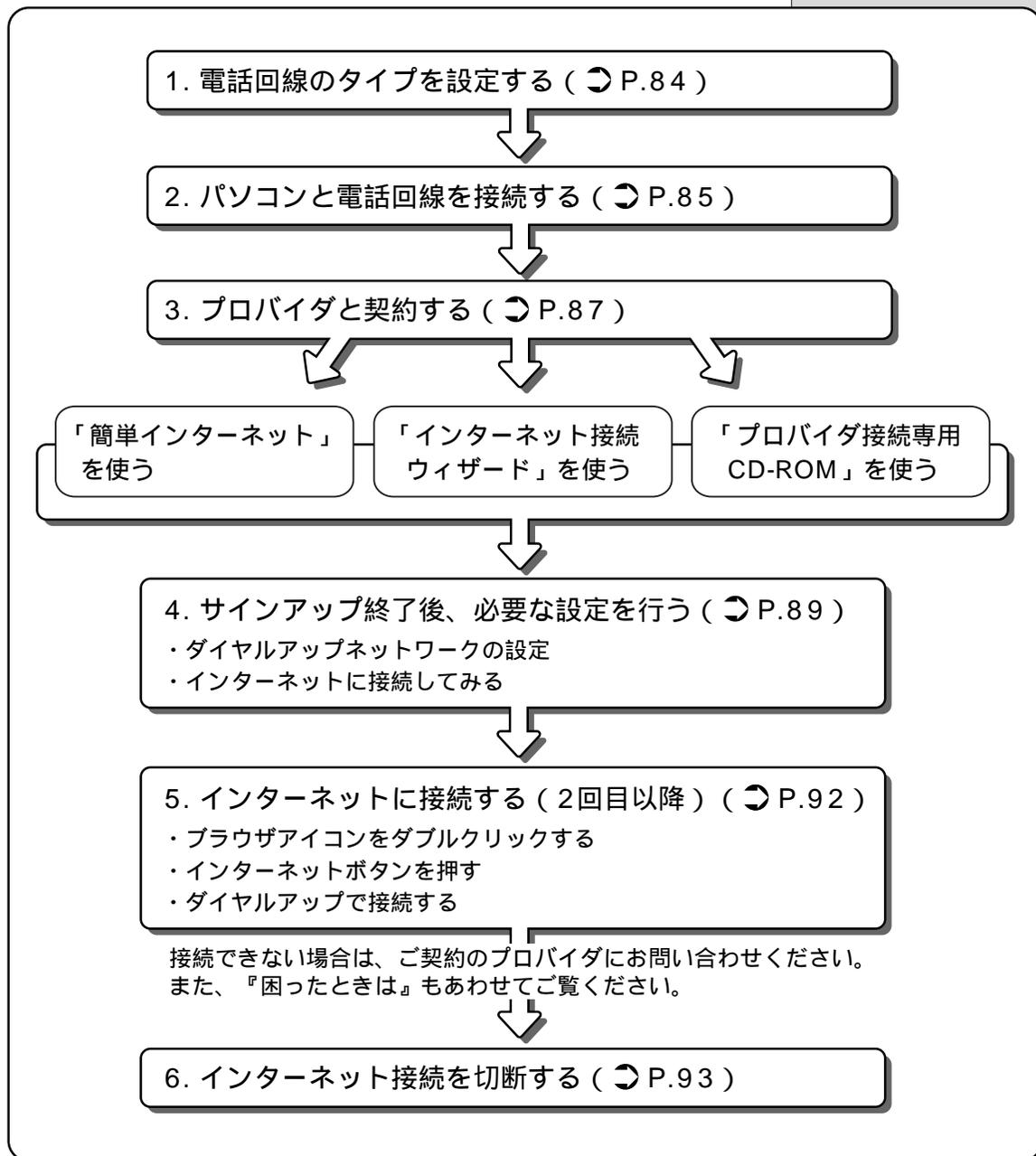


・プロバイダによっては、電話料金とプロバイダの利用料金をセットにして提供しているプランもあります。

# 2

## インターネットに接続する

次の流れで行います。



### 4章

インターネットを楽しもう！

## 1. 電話回線のタイプを設定する

### 1 お使いの電話回線のタイプを確認する

プッシュ式電話をご使用の場合、ダイヤルボタンを押したときに出る音で電話回線のタイプを確認してください。

パルス .... ダイヤル式電話機、ダイヤルボタンを押すと「ブツブツ」と音がするプッシュ式電話機をご使用の場合

トーン .... ダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がするプッシュ式電話機、ISDN 回線をご使用の場合

**2** [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックし、[テレフォニー]アイコン(  )をダブルクリックする  
[テレフォニー]アイコンが表示されていない場合は、左画面の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

**3** [所在地情報]タブで、必要な設定を行う



外線電話をかけるときに必要であれば入力する  
ダイヤル先が  
市内のとき : [市内通話] に必要な番号を入力する  
市外のとき : [市外通話] に必要な番号を入力する

手順1で確認したタイプ(パルスかトーン)をチェックする

**4** [OK] ボタンをクリックする



・電話回線のタイプが不明な場合は電話会社にお問い合わせください。



・外線発信番号について  
「0」などをダイヤルしてから外線につなぐ場合、その数字や記号を半角で入力します。  
外線番号に続けて「, (カンマ)」を入力すると、カンマ1個につき約2秒間のダイヤル待ち時間を設定できます。うまくつながらない場合は、「0,」「0,,」のようにカンマをつけて、ダイヤル待ち時間を長くして試してみてください。

## 2. パソコンと電話回線を接続する

パソコンと一般電話回線を接続します。

### ⚠ 注意

- ・内蔵モデムは使用できる地域が限定されます。指定以外の地域で内蔵モデムを使用すると故障のおそれがあります。使用できる地域をよくご確認のうえ、ご使用ください。
- ・内蔵モデムは一般電話回線（アナログ回線）に接続して使用してください。デジタル回線（ISDN回線など）には接続できません。デジタル回線対応の公衆電話のデジタル側やデジタル式交換機（PBX）へ接続すると、故障のおそれがあります。ホームテレホンやビジネスホン用の電話回線には絶対に接続しないでください。

内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを2線式の電話回線に接続します。内蔵モデムは、ITU-T V.90 および K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 または K56flex 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。本製品の内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

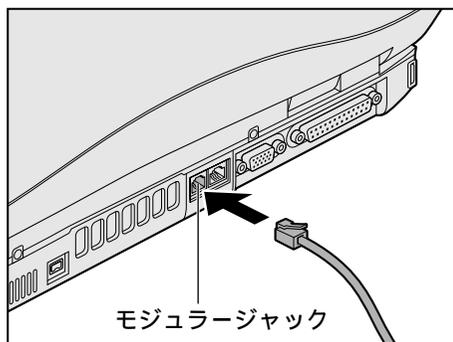
アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、香港（2000年9月現在）

また、公衆回線網の通信規格は地域により異なりますので、ご使用になる地域にあわせて設定が必要です。ご購入時は「日本」に設定されています。

📖 詳細について ▶ 『活用編 1章 2- 内蔵モデム用地域選択ユーティリティ』

### 1 モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む

「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。



### 2 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む

ISDN回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ（TA）またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。



- ・PHSまたは携帯電話などをお使いの場合は、『PHS、携帯電話に付属の説明書』をご覧ください。



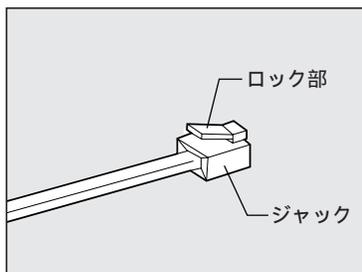
- ・市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に影響を与えることがあります。
- ・回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。
- ・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。

## 4章

インターネットを楽しむもう！

**取りはずすとき**

取りはずすときは、モジュラージャックに差し込んであるモジュラープラグのロック部分を押さえながら抜きます。



### 3. プロバイダと契約する

プロバイダに入会するには、オンラインサインアップで入会する方法と、書類をプロバイダから取り寄せ、郵送やFAXなどで入会する方法があります。ここでは、オンラインサインアップで入会するときの方法をいくつか説明します。

#### 「簡単インターネット」を使う

プロバイダの一覧から簡単に選択することができます。

- 1 デスクトップ上の [ 簡単インターネット ] アイコン (  ) をダブルクリックする  
メッセージが表示されます。
- 2 パソコンと電話回線が接続されていることを確認し、[ OK ] ボタンをクリックする
- 3 必要な内容を設定する

入会したいプロバイダをチェック (  ) をクリック) する



ダイヤル方式を確認する  
「本節 1 電話回線のタイプを設定する」  
で設定したタイプにチェック (  )  
がついているか確認してください。

外線発信番号の内容を確認する  
「本節 1 電話回線のタイプを設定  
する」で設定した番号になってい  
るか確認してください。

- 4 設定が終了したら、[ 接続開始 ] ボタンをクリックする  
選択されたプロバイダ専用の接続画面が表示されます。表示される内容に従って、オンラインサインアップを行なってください。



・オンラインサインアップで入会するには、ほとんどのプロバイダでクレジットカードの番号などが必要です。クレジットカードをお持ちでない場合は、各プロバイダにお問い合わせください。



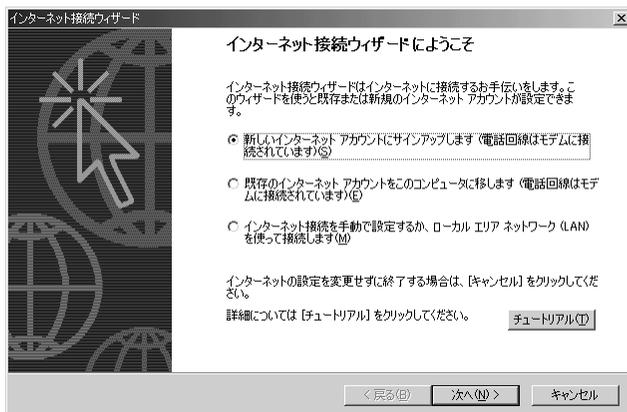
・オンラインサインアッププロバイダへの入会契約をオンラインで行うこと。契約するとすぐにプロバイダのサービスを利用することができる。

## 4章

インターネットを楽しもう！

## 「インターネット接続ウィザード」を使う

- 1 [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[インターネット接続ウィザード]をクリックする  
画面が表示されます。



- 2 表示される画面に従って設定を行う

## プロバイダ接続専用CD-ROM などを使う

あらかじめ入会したいプロバイダの接続ソフトが収録してあるCD-ROMなどを入手しておきます。

- 1 パソコン本体にCD-ROM をセットする
- 2 表示される画面に従って設定を行う



- ・「インターネット接続ウィザード」は一般の電話回線（アナログ回線）からのみ接続できます。  
PHS、携帯電話、ISDNなどからは接続できません。

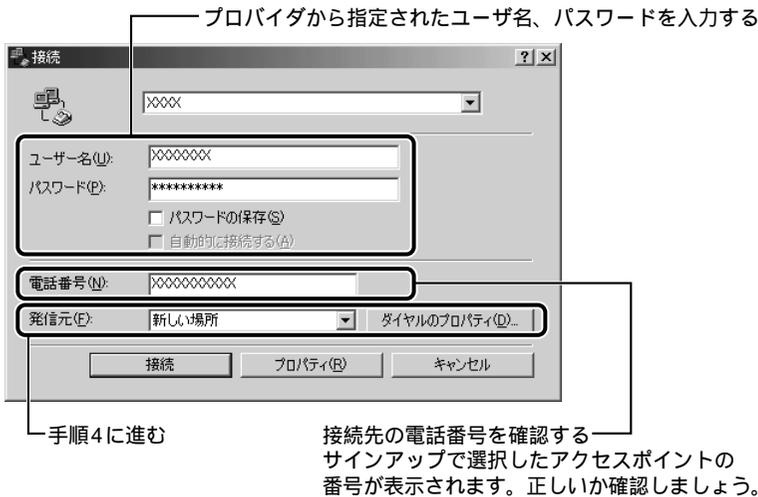
## 4. プロバイダと契約終了後、必要な設定を行う

プロバイダとの契約が終了した後、プロバイダによっては、パソコンへの設定が必要です。プロバイダによって設定内容は異なりますので、詳細が不明な場合は、プロバイダにお問い合わせください。

### 接続する前に

接続する前に、次の内容を入力または確認することをおすすめします。接続先や発信元に関する内容です。すでに設定されている項目もあります。

- 1 [スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする
- 2 [XXXX (接続先)] アイコン (  ) をダブルクリックする
- 3 [接続] 画面で必要な設定を行う



- ・[パスワードの保存] をチェック (  ) すると、次回以降接続するときにパスワードの入力が不要になります。
- ・新着メールチェック機能を使用する場合は、[パスワードの保存] と [自動的に接続する] にチェック (  ) をつけてください。



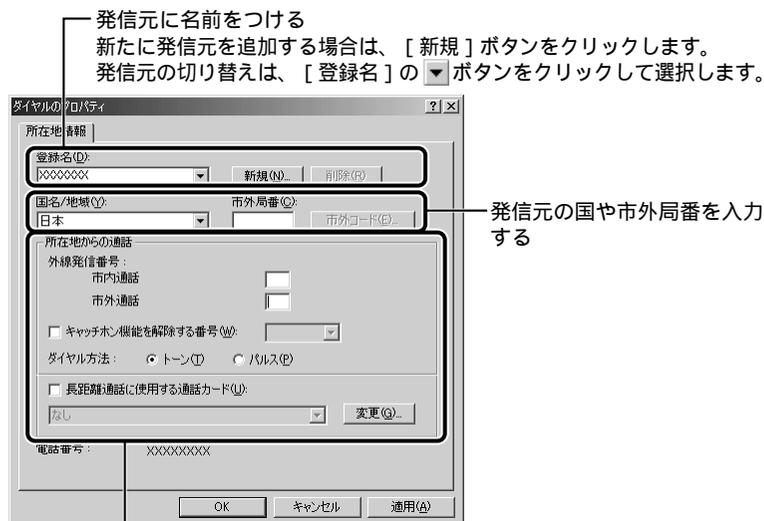
新着メールチェック機能  
▶「5章 4 新着メールをランプで確認する」

## 4章

インターネットを楽しもう！

#### 4 [ダイヤルのプロパティ] ボタンをクリックする

発信元の情報を設定します。



 [ダイヤル方法、外線発信番号について](#)  
➔「本節 1 電話回線のタイプを設定する」

#### 5 [ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

以上で設定は完了です。

すぐにインターネットに接続する場合は、続けて「インターネットに接続してみる」をご覧ください。

### インターネットに接続してみる

設定が完了したら、実際にインターネットに接続してみます。

#### 1 [接続] 画面で、[接続] ボタンをクリックする

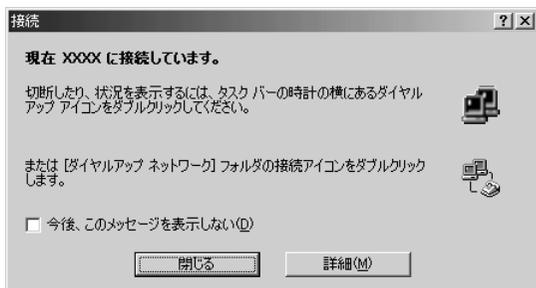


インターネットへの接続が開始されます。

接続中は次のような画面が表示されます。しばらく時間がかかる場合もあります。



接続が成功すると、次の画面が表示され、タスクバーに [ 接続中 ] アイコン (  ) が表示されます。



## 2 内容を読んで [ 閉じる ] ボタンをクリックする

これでインターネットへの接続は完了です。

### ホームページを見たいとき

デスクトップ上の [ Internet Explorer ] アイコン (  ) をダブルクリックすると Internet Explorer の画面が表示されます。アドレスを入力したり、検索機能を使って好きなページを見てみましょう。

 「Internet Explorer」の使い方について  
 ▶ 「本章 3 Internet Explorer の使い方」

### メールをしたいとき

メールをするには、初めに設定が必要です。

 電子メールの設定について ▶ 「5 章 電子メールを使おう」

## 5. インターネットに接続する(2回目以降)

プロバイダとの契約やパソコンの設定が完了している場合の接続方法です。  
あらかじめパソコンと電話回線が接続されているか確認ください。

 接続方法 ▶ 「本章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

インターネットに接続する場合は、必ず[接続]画面が表示され、必要な情報を入力または確認します。

ここでは[接続]画面を表示する代表的な方法を説明します。

### 方法1 - ブラウザのアイコンから接続する

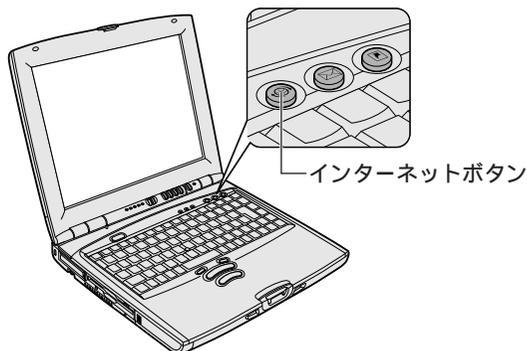
**1** デSKTOP上の[Internet Explorer]アイコン(  )をダブルクリックする

[接続]画面が表示されます。

**2** 画面の内容を入力または確認し、[接続]ボタンをクリックする

### 方法2 - インターネットボタンから接続する

**1** インターネットボタン(  )を押す



「Internet Explorer」が起動します。

パソコン本体の電源がOFFのときは電源がONになります。

スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときにインターネットボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後、「Internet Explorer」が起動します。続けて、[接続]画面が表示されます。

**2** 画面の内容を入力または確認し、[接続]ボタンをクリックする

### 方法3 - ダイヤルアップアイコン( )から接続する

**1** [スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする

**2** [XXXX(接続先)]アイコン(  )をダブルクリックする  
[接続]画面が表示されます。

**3** 画面の内容を入力または確認し、[接続]ボタンをクリックする



・接続先を追加した場合は、[ダイヤルアップ]アイコン(  )は接続先の番号ごとに作成されます。接続する場所に応じて、番号を使い分ける場合にはわかりやすい名前をつけると切り替えが簡単です。

## 6. インターネット接続を終了する

代表的な切断方法を説明します。

接続が切断されると、タスクバーの [ 接続中 ] アイコン (  ) が消えます。

### 方法 1

- 1 タスクバーの [ 接続中 ] アイコン (  ) を右クリックし、表示されたメニューから [ 切断 ] をクリックする



### 方法 2

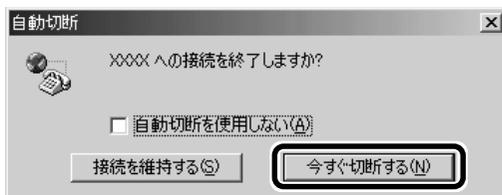
- 1 タスクバーの [ 接続中 ] アイコン (  ) をダブルクリックする
- 2 [ 切断 ] ボタンをクリックする



### 方法 3

「Internet Explorer」が表示されている場合です。

- 1 「Internet Explorer」の [ 閉じる ] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [ 今すぐ切断する ] ボタンをクリックする



・回線状態などの影響で、実際の接続状態は、表示されたスピードより遅い場合があります。

## 4章

インターネットを楽しもう!

# 3

# Internet Explorer の使い方

ホームページを楽しむために、Internet Explorer の使い方を覚えましょう。  
ここでは基本的な使い方を説明します。

\* 使用している画面は、表示例です。

## 1. Internet Explorer 画面



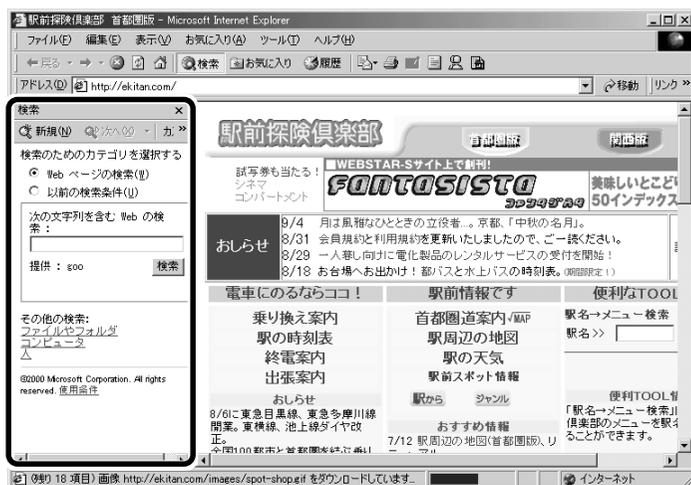
### ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。各ボタンは次の働きをします。

- |     |   |               |  |
|-----|---|---------------|--|
| 戻る  | 1つ前の画面に戻ります。  | お気に入り         | よく見るページなどを登録し、簡単にページが開けるようにします。<br>⇒「本節 3 よく見るページを登録する(お気に入り)」 |
| 進む  | 1つ先の画面に進みます。  | 履歴            | 以前に表示したページを表示します。<br>⇒「本章 4-6 以前に表示したホームページを表示する」              |
| 止める | ページの読みこみを中止します。   | メールソフトを起動します。 |  |
| 更新  | ページを最新の情報にします。  | 印刷            | ページを印刷します。   |
| ホーム | どのページを表示していても、スタートページが表示されます。<br>⇒「本章 4-1 最初に表示されるページを変更する」 | 検索            | 検索の画面を表示します。<br>⇒「本節 2 ホームページを検索する」                            |

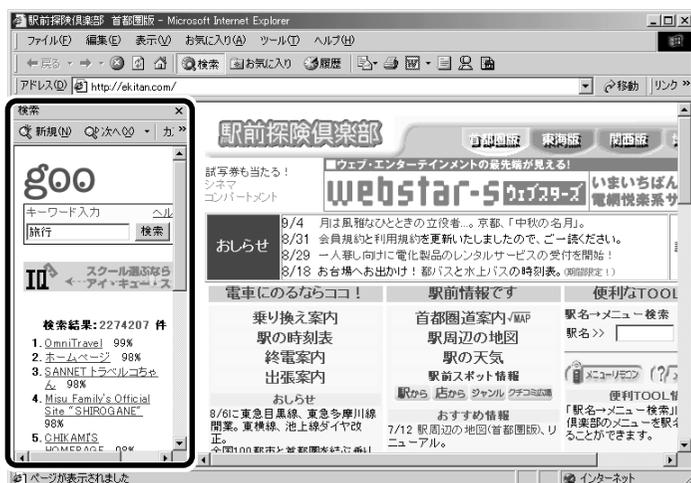
## 2. ホームページを検索する

- 1 ツールバーの「検索」ボタン (  検索 ) をクリックする  
左側に検索画面が表示されます。



- 2 探したいページのキーワードを入力する  
ここでは「旅行」と入力してみます。

- 3 「検索」ボタンをクリックする  
検索結果が表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると、ページが表示されます。



## 4章

インターネットを楽しもう！

### 3. よく見るページを登録する(お気に入り)

よく見るホームページを[お気に入り]に登録しておきます。[お気に入り]に登録しておくことで、アドレスなど面倒な入力をせずに、見たいホームページを表示できます。

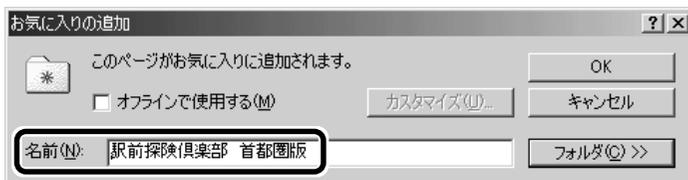
#### [お気に入り]に登録する

- 1 登録したいホームページを表示する
- 2 メニューバーの[お気に入り]をクリックし、表示されたメニューから[お気に入りに追加]をクリックする



#### 3 [名前]を入力する

ここでは、「駅前探検倶楽部 首都圏版」で登録します。



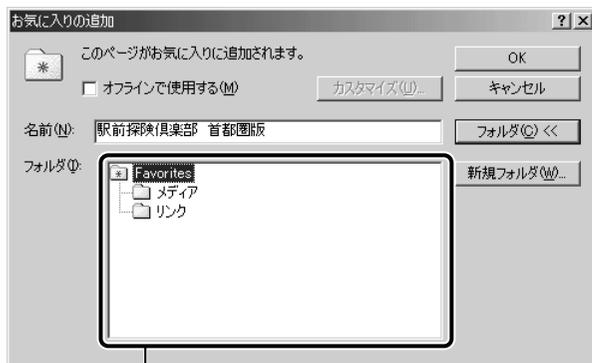
#### 4 登録するフォルダを指定しない場合は[OK]ボタン、指定する場合は[フォルダ]ボタンをクリックする

フォルダを指定しない場合は登録完了です。

フォルダを指定する場合は手順5以降をご覧ください。

#### 5 [フォルダ]を指定する

##### 既存のフォルダに登録する場合



目的のフォルダをクリックし、[OK]ボタンをクリックする

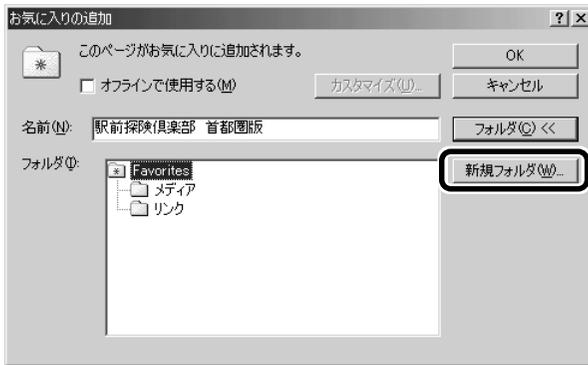


用語

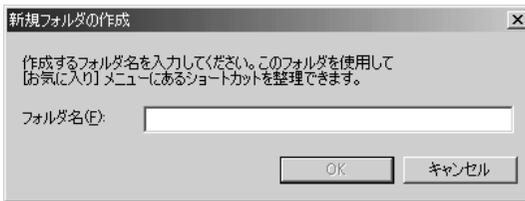
・アドレス  
「http://」のあとに続く英数字のことで、ホームページの場所を示す。住所のようなもの。URLとも呼ばれる。

## 新規にフォルダを作成する場合

[ 新規フォルダ ] ボタンをクリックする



名前を入力し、[ OK ] ボタンをクリックする

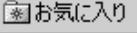


フォルダが作成されました。

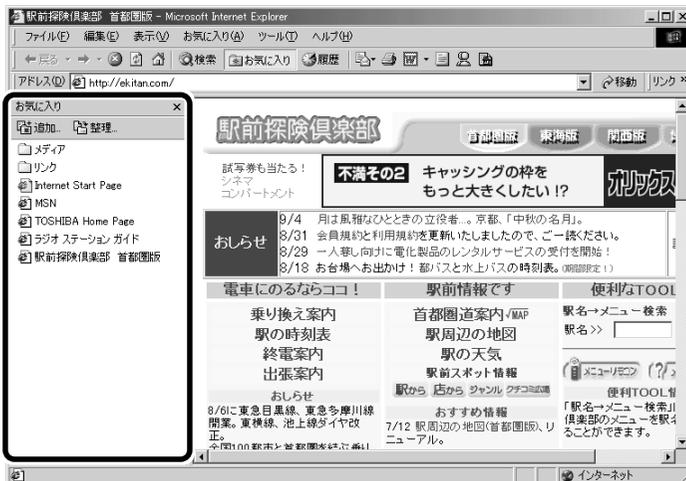
作成したフォルダが反転表示している状態で [ OK ] ボタンをクリックする

## [ お気に入り ] からホームページを表示する

### 方法 1

**1** ツールバーの [ お気に入り ] ボタン (  ) をクリックする

左側に [ お気に入り ] 画面が表示されます。



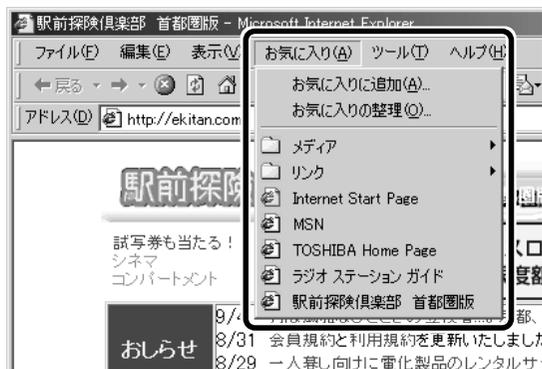
**2** 目的のフォルダまたはホームページをクリックする

## 4章

インターネットを楽しもう！

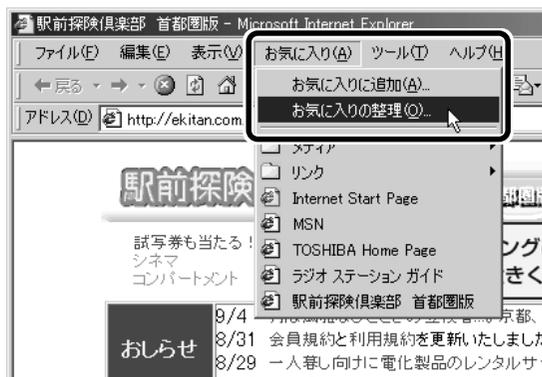
## 方法 2

- 1 メニューバーの [ お気に入り ] をクリックし、表示されたメニューからフォルダまたはページをクリックする

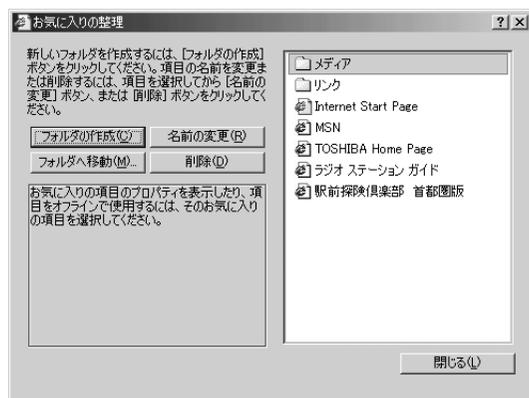


## [ お気に入り ] を整理する

- 1 メニューバーの [ お気に入り ] をクリックし、表示されたメニューから [ お気に入りの整理 ] をクリックする



[ お気に入りの整理 ] 画面が表示されます。



**新しくフォルダを作成する**

**1** [フォルダの作成] ボタンをクリックする

[新しいフォルダ] が作成されます。

**2** 名前を入力する

**登録してあるフォルダを変更する**

**1** 変更したいフォルダまたはホームページをクリックし、[フォルダへ移動] ボタンをクリックする

フォルダの一覧が表示されます。

**2** 移動先のフォルダをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

**[お気に入り] から削除する**

**1** 削除したいフォルダまたはホームページをクリックし、[削除] ボタンをクリックする

確認のメッセージが表示されます。

**2** [はい] ボタンをクリックする

Internet Explorerの使い方、知っておくと便利なことを紹介します。

\* 使用している画面は、表示例です。

## 1. 最初に表示されるページを変更する

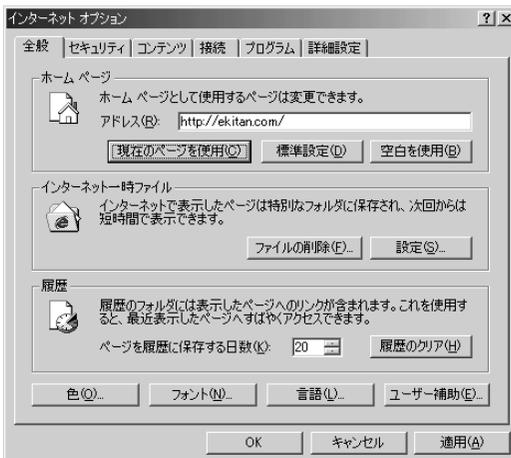
Internet Explorerを起動したときに表示されるホームページをスタートページといいます。スタートページは、自由に設定することができます。

- 1 スタートページにしたいホームページを表示する
- 2 メニューバーの[ツール]をクリックし、表示されたメニューから[インターネットオプション]をクリックする



- 3 [全般] タブの [ホームページ] で [現在のページを使用] ボタンをクリックする

[アドレス] に、表示しているホームページのアドレスが表示されます。  
[標準設定] ボタンをクリックすると、ご購入時の設定に戻ります。



- 4 [OK] ボタンをクリックする



・[アドレス] にスタートページにしたいホームページのアドレスを直接入力して設定することもできます。この場合、あらかじめホームページを表示しておく必要はありません。

## スタートページに戻る

他のホームページを表示していても、[ホーム]ボタンをクリックするだけでスタートページへ移動することができます。

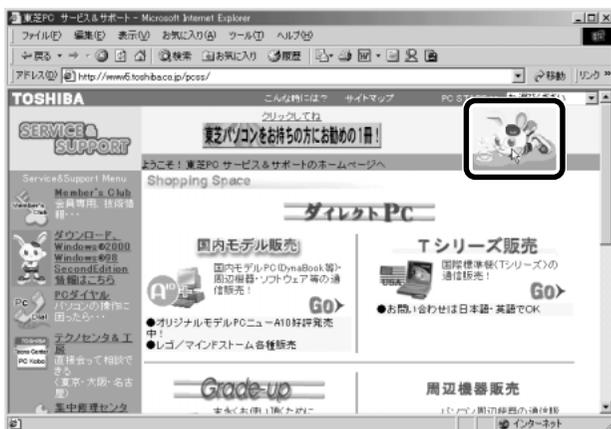
- 1 ツールバーの[ホーム]ボタン(  )をクリックするとスタートページが表示されます。

## 2. ホームページの画像を保存する

表示しているホームページ上の画像をパソコンに保存することができます。ここでは次の画像を例に説明します。



- 1 保存したい画像の上にマウスポインタをあわせる



- 2 右クリックし、表示されたメニューから[名前を付けて画像を保存]をクリックする



[画像の保存]画面が表示されます。

## 4章

インターネットを楽しもう!

### 3 保存する場所とファイル名を確認する

[保存する場所] は [My Pictures] となっています。変更したい場合は、右端の ▼ ボタンをクリックします。場所の一覧が表示されますので、保存先を選択してください。

[ファイル名] には、ホームページ上の画像のファイル名が表示されます。ファイル名は自由に変更できます。

 文字の入力 ▶ 「3章 3 文字を入力する」

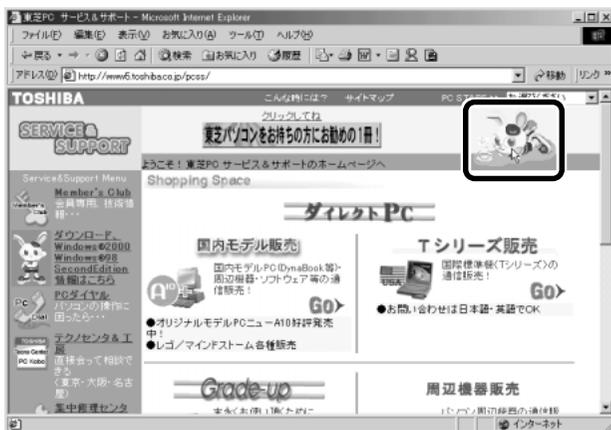
### 4 [保存] ボタンをクリックする

## 3. ホームページの画像を壁紙に設定する

ホームページ上の画像をデスクトップの壁紙にすることができます。ここでは次の画像を例に説明します。



### 1 壁紙に設定したい画像の上にマウスポインタをあわせる

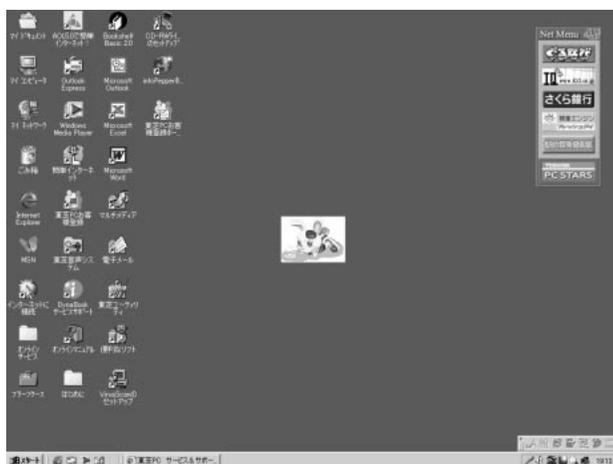


## 2 右クリックし、表示されたメニューから [ 壁紙に設定 ] をクリックする



画像が壁紙に設定されます。

Internet Explorerの画面の [ 最小化 ] ボタン (  ) をクリックし、デスクトップ画面の壁紙を確認してください。



## 4章

インターネットを楽しもう！

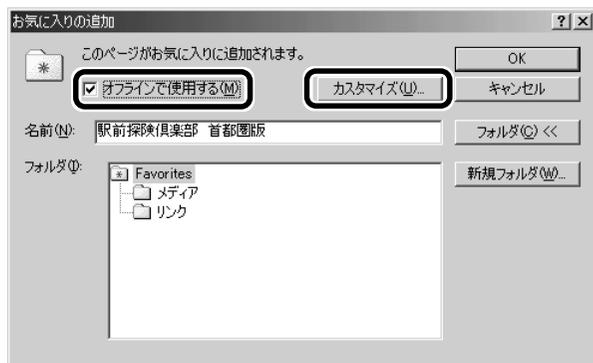
## 4. ホームページをダウンロードする

ホームページをダウンロードすると、インターネットへの接続を切断した後に、ホームページをゆっくりと見ることができます。また、定期的にホームページをダウンロードして、情報を最新の状態に保つように設定できます。

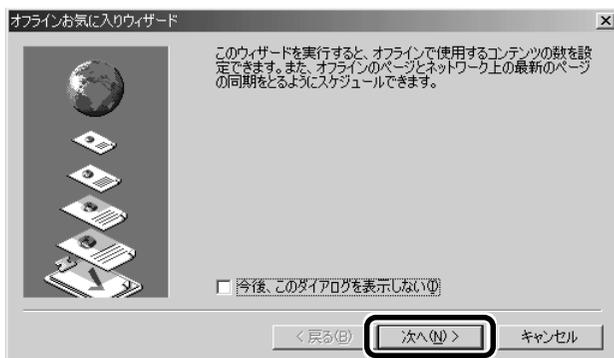
- 1 ダウンロードしたいホームページを表示する
- 2 メニューバーの [お気に入り] をクリックし、表示されたメニューから [お気に入りに追加] をクリックする



- 3 [オフラインで使用する] をチェック (  ) し、[カスタマイズ] ボタンをクリックする



- 4 [次へ] ボタンをクリックする



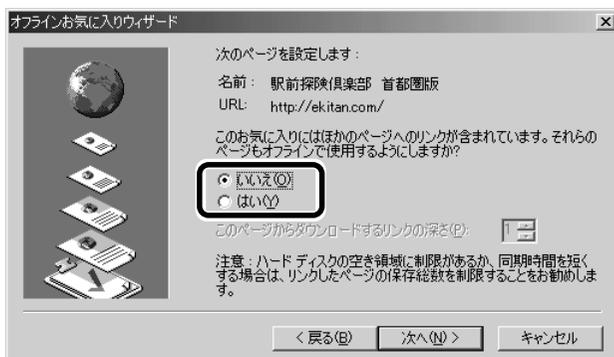
### 用語

・ダウンロード  
インターネット上などにある別のコンピュータから、プログラムやファイルなどのデータを自分のパソコンに転送すること。

## 5 ダウンロードしたいページに含まれるリンク先もダウンロードするか選択する

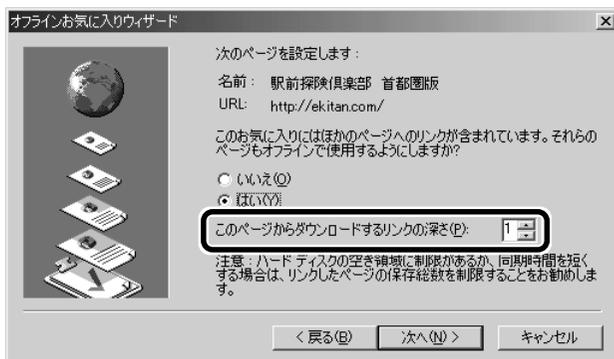
[いいえ] をチェックすると、お気に入りに登録するホームページのみをダウンロードします。[次へ] ボタンをクリックし、手順7へ進んでください。

[はい] をチェックするとお気に入りに登録するホームページと、そこからリンクされているページをあわせてダウンロードします。手順6へ進んでください。



## 6 [このページからダウンロードするリンクの深さ] でダウンロードするリンク先の数を指定し、[次へ] ボタンをクリックする

「1」と指定すると、登録するホームページとそこからリンクしているページをダウンロードします。



・「2」以上を指定すると、登録するホームページからリンクしているページと、さらにそこからリンクしているページを、1段階ずつ追加してダウンロードします。数値を大きくしすぎると、膨大な数のページがダウンロードされるため、時間がかかったり、ハードディスク領域が大量に使用されます。ご注意ください。

## 4章

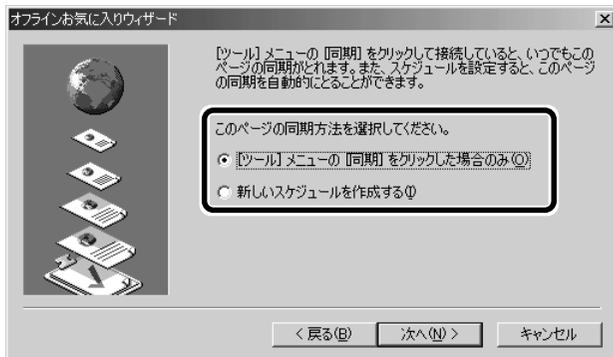
インターネットを楽しもう!

## 7 同期方法を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

[[ ツール ] メニューの [ 同期 ] をクリックした場合のみ] をチェックすると、メニューバーの [ ツール ] - [ 同期 ] をクリックしたときに、同期を行います。手順 9 へ進んでください。

 詳細について ▶ 「本節 4- 手動で同期をとる」

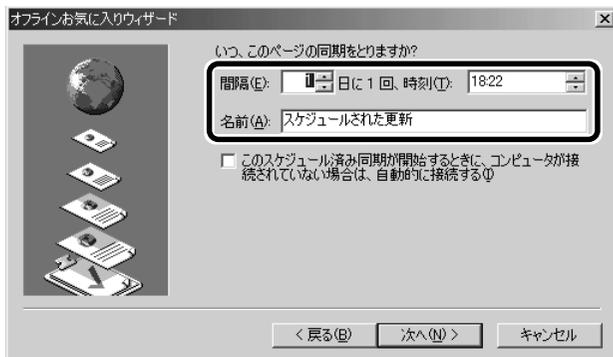
[ 新しいスケジュールを作成する ] をチェックすると、設定したスケジュールにあわせて自動的に同期を行います。手順 8 へ進んでください。



## 8 同期を行うスケジュールを設定し、[次へ] ボタンをクリックする

[ 間隔 ] [ 時刻 ] ..... 同期を行う日数の間隔と時刻を設定する

[ 名前 ] ..... スケジュールの名前をつける



- ・同期  
同じ状態にすること。

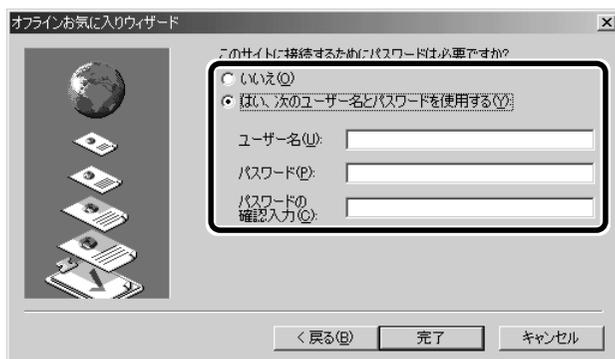


- ・[ このスケジュール済み同期が開始するときに、コンピュータが接続されていない場合は、自動的に接続する ] をチェックすると、設定した日時にパソコンをインターネットに接続していない場合、パソコンが自動的に接続して同期を行います。その際、同期終了後は自動的に接続を切断します。

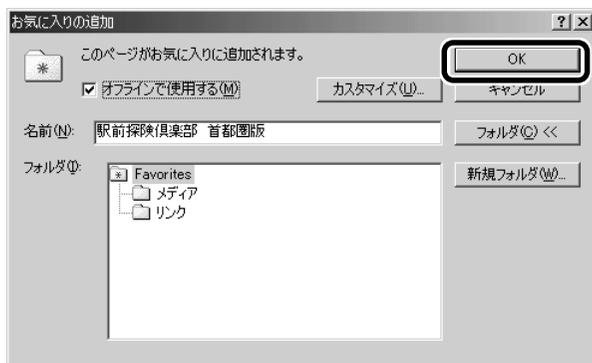
## 9 登録するホームページに接続するためにパスワードが必要かどうかを設定し、[完了]ボタンをクリックする

[いいえ]をチェックすると、パスワード入力は不要となります。

[はい]をチェックすると、パスワードが必要となります。[ユーザー名][パスワード][パスワードの確認入力]を入力してください。



## 10 [お気に入りの追加]画面で[OK]ボタンをクリックする



[同期化中]画面が表示され、ダウンロードが開始されます。  
ダウンロード終了後、[同期化中]画面が閉じ、ホームページが[お気に入り]に登録されます。



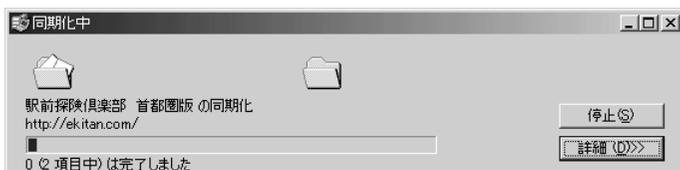
## 手動で同期をとる

ホームページを好きなときに同期をとる方法を説明します。

- 1 メニューバーの [ ツール ] をクリックし、表示されたメニューから [ 同期 ] をクリックする
- 2 ダウンロードしたいホームページをチェックし、[ 同期化 ] ボタンをクリックする

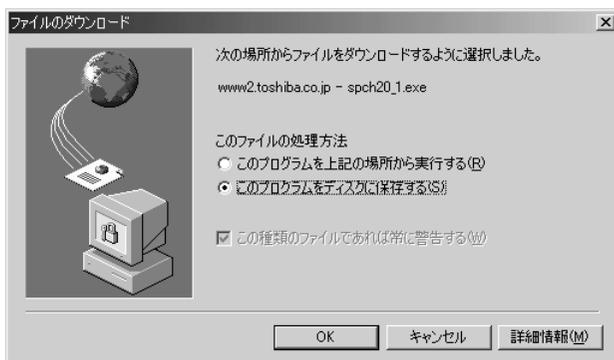


[ 同期化中 ] 画面が表示され、ダウンロードが開始されます。



## 5. ファイルをダウンロードする

ホームページには、プログラムなどのファイルを提供しているものがあります。ダウンロードを選択すると、一般的に次のような画面が表示されます。ダウンロードするには[ その場所から実行する ]と[ ディスクに保存する ]方法があります。



[ その場所から実行する ]方法は、実行に時間がかかったり、実行中に何らかの理由でインターネットへの接続が切断された場合には、実行が失敗してしまいます。また、ファイルによっては、ウイルスが含まれているなど、パソコンに悪影響を与えるおそれのあるものがあります。

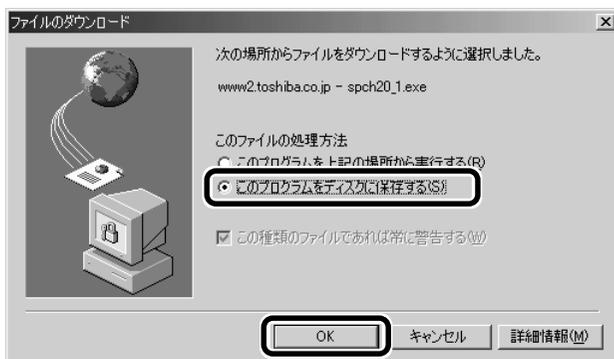
そのため、[ ディスクに保存する ]方法をおすすめします。

この方法には次のような利点があります。

- ・ファイルにウイルスはないが、チェックできる
- ・他のアプリケーションを終了してから、ファイルを実行することができる
- ・インターネットへの接続を切断してから、ファイルを実行することができる

ディスクに保存してファイルをダウンロードする方法を説明します。

- 1** [このプログラムをディスクに保存する]をチェックし、[OK]ボタンをクリックする



## 2 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。



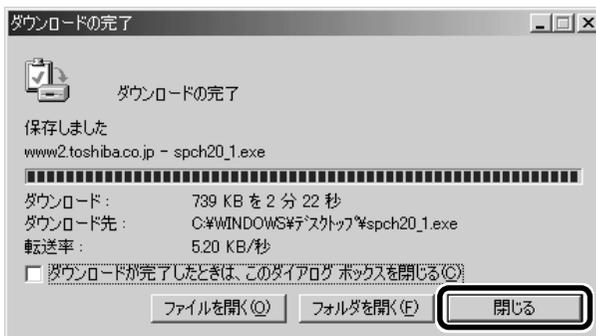
## 3 [保存] ボタンをクリックする

ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが終了すると、終了画面が表示されます。



## 4 [閉じる] ボタンをクリックする



ダウンロードしたファイルを実行するには、保存したファイルをダブルクリックします。



- ・ファイルサイズが大きいと、ダウンロードには時間がかかります。

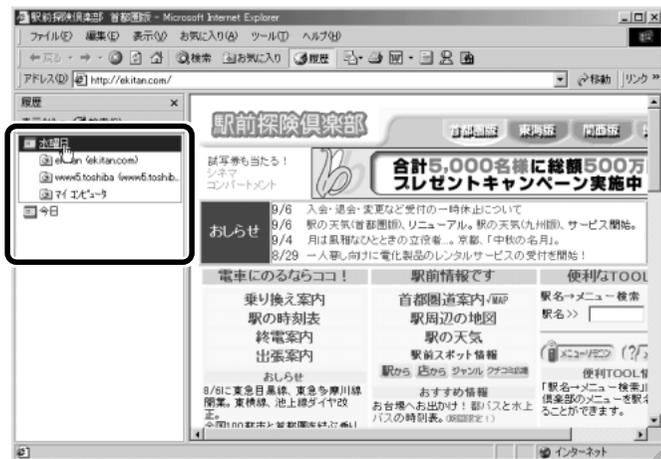
## 6. 以前に表示したホームページを表示する

過去に表示したことがあるホームページの履歴は、一定期間保存されています。履歴を検索して、以前に表示したホームページをもう一度表示させることができます。

- 1 ツールバーの「履歴」ボタン (  ) をクリックする  
左側に履歴画面が表示されます。



- 2 目的のホームページを表示した週または曜日をクリックする  
その週または曜日に表示したホームページの場所の一覧が表示されます。



**3** 目的のホームページがある場所をクリックする  
その場所で表示したホームページの一覧が表示されます。



**4** 目的のホームページをクリックする  
ホームページが表示されます。



・履歴の保存期間は、メニューバーの[ ツール ]-[ インターネットオプション ]-[ 全般 ]タブの[ 履歴 ]で設定することができます。

# 5章

## 電子メールを使おう

電子メールの設定や使い方について説明しています。

- 1** 電子メールとは? ..... 114
- 2** 必要な設定を行う ..... 115
- 3** Outlook Express の使い方 ..... 121
- 4** 新着メールをランプで確認する ..... 147

# 1 電子メールとは?

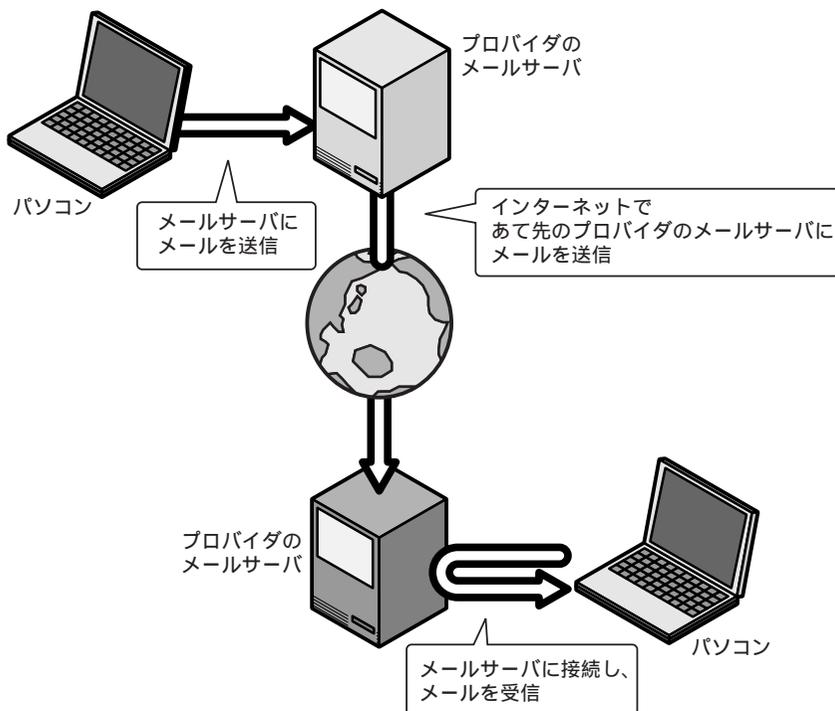
## 1. 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも数分でつきます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに画像や文書ファイルなどデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

「Eメール(Electric Mailの略)」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ぶこともあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

## 2. メールのしくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータは、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。データを受け取ったプロバイダは、受信者別にメールを整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、パソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



### 用語

- ・メールサーバ  
メールの配信サービスを提供するコンピュータ。メールの配信では、送信のために利用されるSMTPサーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つPOPサーバの2種類がある。

# 2

## 必要な設定を行う

本製品にはメールソフト「Outlook Express」がプレインストールされています。ここでは「Outlook Express」を使った場合について説明します。そのほかのメールソフトを使う場合は、『メールソフトに付属の説明書』をご覧ください。

ここでは、すでにプロバイダへの入会が完了している場合について説明します。

 プロバイダへ入会していない場合 ▶ 「4章 インターネットを楽しもう！」

また、ここで説明している内容は一般的な手順です。詳細が不明な場合はプロバイダにお問い合わせください。

メールの使い方について、次の流れで説明します。

必要な設定をする (▶ P.116)

初めてメールを使うときのみ必要です。



Outlook Expressの使い方

基本 (▶ P.123)

- ・メールを作成する
- ・メールを送信する / 受信する
- ・メールを返信する / 転送する
- ・メールを削除する

活用 (▶ P.132)

- ・メールを整理する
- ・アドレス帳を使う
- ・その他の機能



新着メールを自動チェックする (▶ P.147)

\*本章で使用している画面は表示例です。

初めてメールを使うときは、プロバイダのメールサーバの種類やメールサーバに接続するアカウント名、パスワードの設定が必要です。次の手順で行なってください。

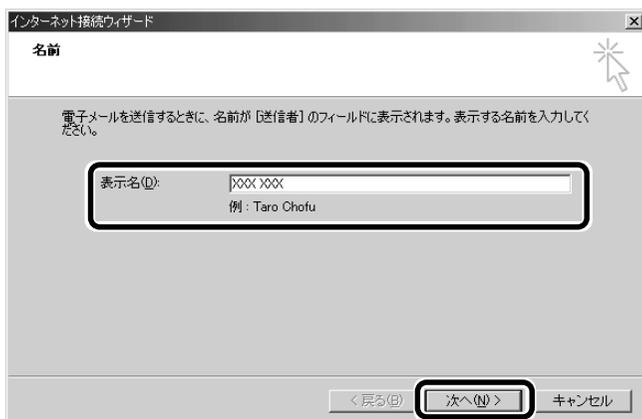
**1** デSKTOP上の [ Outlook Express ] アイコン (  ) をダブルクリックする

Outlook Express が起動すると、[ インターネット接続ウィザード ] の [ 名前 ] 画面が表示されます。

[ 名前 ] 画面が表示されない場合は、Outlook Express 画面で [ メールアカウントの設定 ] をクリックしてください。

**2** [ 表示名 ] に名前を入力し、[ 次へ ] ボタンをクリックする  
ここで入力した名前が、メールを送信したとき [ 送信者 ] に表示されます。

 文字の入力について ▶ 「3 章 3 文字を入力する」



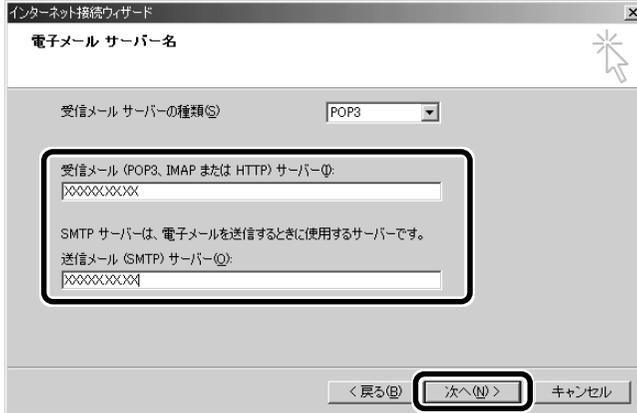
[ インターネット電子メールアドレス ] 画面が表示されます。

**3** [ 既存の電子メールアドレスを使用する ] をチェック (  ) した後、メールアドレスを入力し、[ 次へ ] ボタンをクリックする  
メールアドレスはプロバイダから割り当てられているメールアドレスを「XXX @ XX.XX」の形で、半角英数字で入力します。



[ 電子メールサーバー名 ] 画面が表示されます。

- 4** 電子メールサーバ名を設定し、[次へ] ボタンをクリックする  
受信メールサーバ、送信メールサーバの種類は、ご契約のプロバイダによって異なります。プロバイダから送付された書類をご確認のうえ、入力してください。

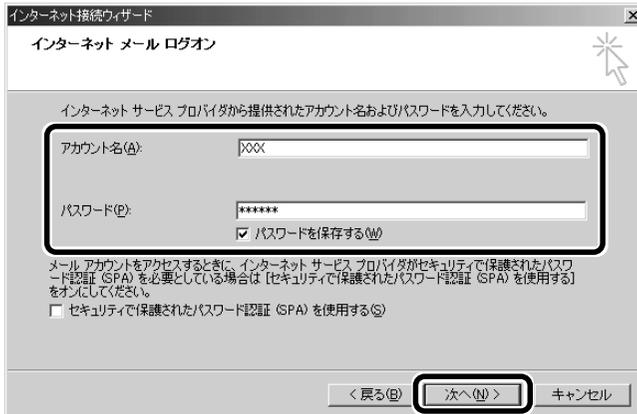


[インターネット メール ログオン] 画面が表示されます。

- 5** アカウント名とパスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックする

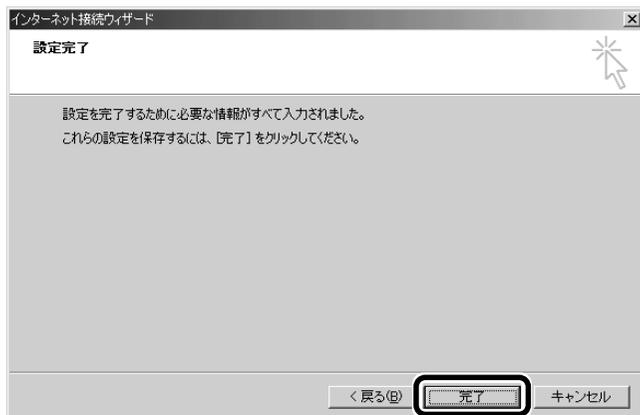
[アカウント名] には、ユーザ名を入力します。ユーザ名とパスワードは、プロバイダとの契約時に決まります。

プロバイダから送付された書類をご確認のうえ、入力してください。



[設定完了] 画面が表示されます。

## 6 [完了] ボタンをクリックする

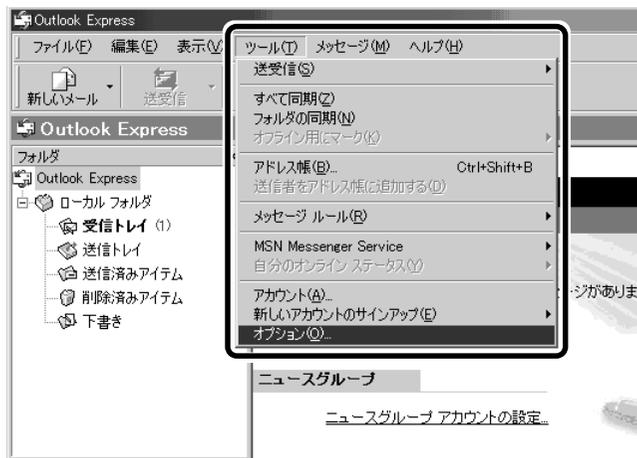


以上で設定は完了です。

## オプションの設定

メールをより便利に使うための設定をご紹介します。  
本書では、次の設定を行なった前提で説明しています。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [オプション] をクリックする



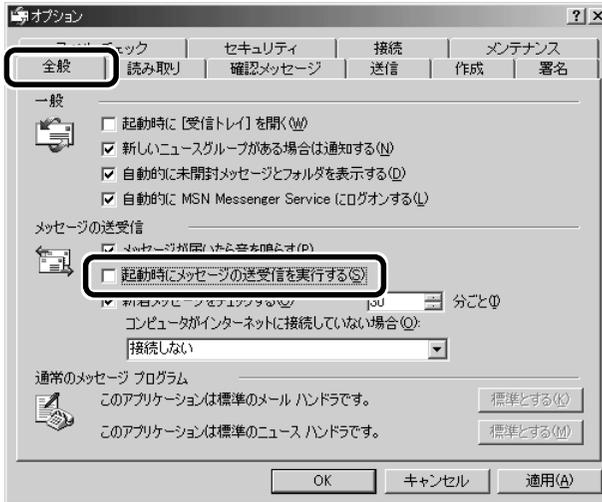
・オプションの設定は必ずしも行う必要はありませんが、新着メールチェック機能を使用する場合は、手順5を必ず行なってください。



参照 新着メールチェック機能  
▶「本章 4 新着メールをランプで確認する」

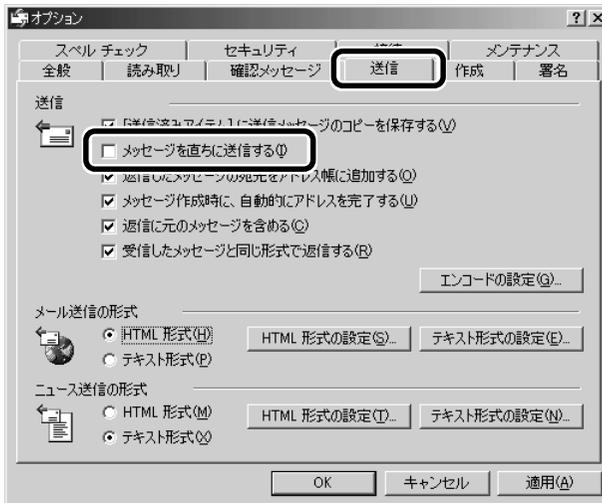
## 2 [全般] タブの [メッセージの送受信] で [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす

メールの送受信を行う時だけメールサーバに接続する設定になります。



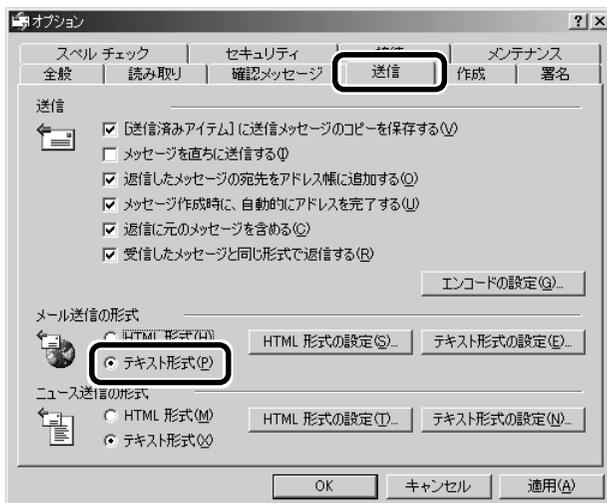
## 3 [送信] タブの [送信] で [メッセージを直ちに送信する] のチェックをはずす

メッセージの送受信をまとめて行う設定になります。



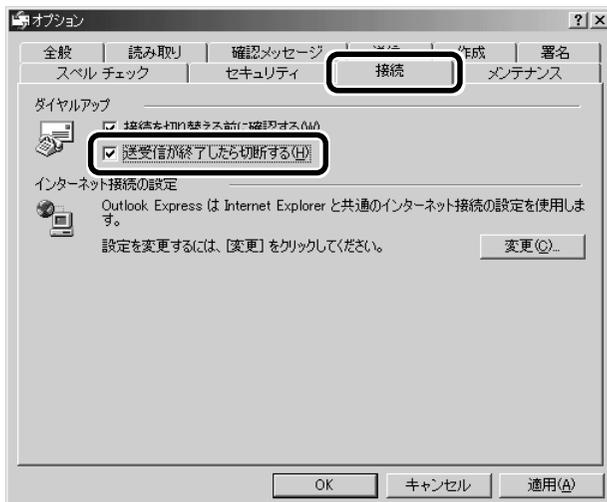
#### 4 [送信] タブの [メール送信の形式] で [テキスト形式] をチェック ( ) する

HTML 形式で送信した場合、相手のメールソフトが HTML 形式に対応していないときは、文字化けしてしまい、メッセージが正しく表示されません。どのメールソフトでも読めるようにするには、テキスト形式で送信します。



#### 5 [接続] タブで [送受信が終了したら切断する] をチェック ( ) する

送受信が完了したら、自動的に電話を切る設定になります。



#### 6 [OK] ボタンをクリックする

以上で基本的な設定は完了です。



用語

#### ・文字化け

文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。

# 3

## Outlook Express の使い方

### 1. 起動する

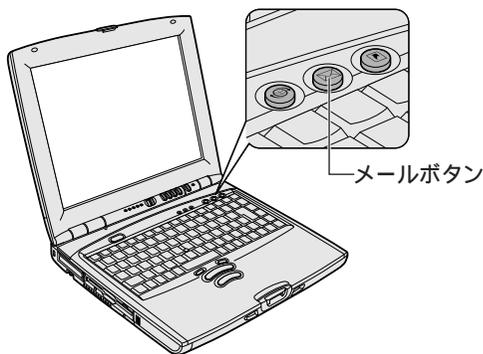
Outlook Express を起動する代表的な方法を説明します。

方法 1 - [ Outlook Express ] アイコン (  ) から起動する

- 1 デスクトップ上の [ Outlook Express ] アイコン (  ) をダブルクリックする

方法 2 - メールボタンから起動する

- 1 メールボタン (  ) を押す



- メールボタンを押すと、システムで設定されている標準のメールソフトが起動します。「Outlook Express」が起動しない場合は、設定されているメールソフトを確認してください。



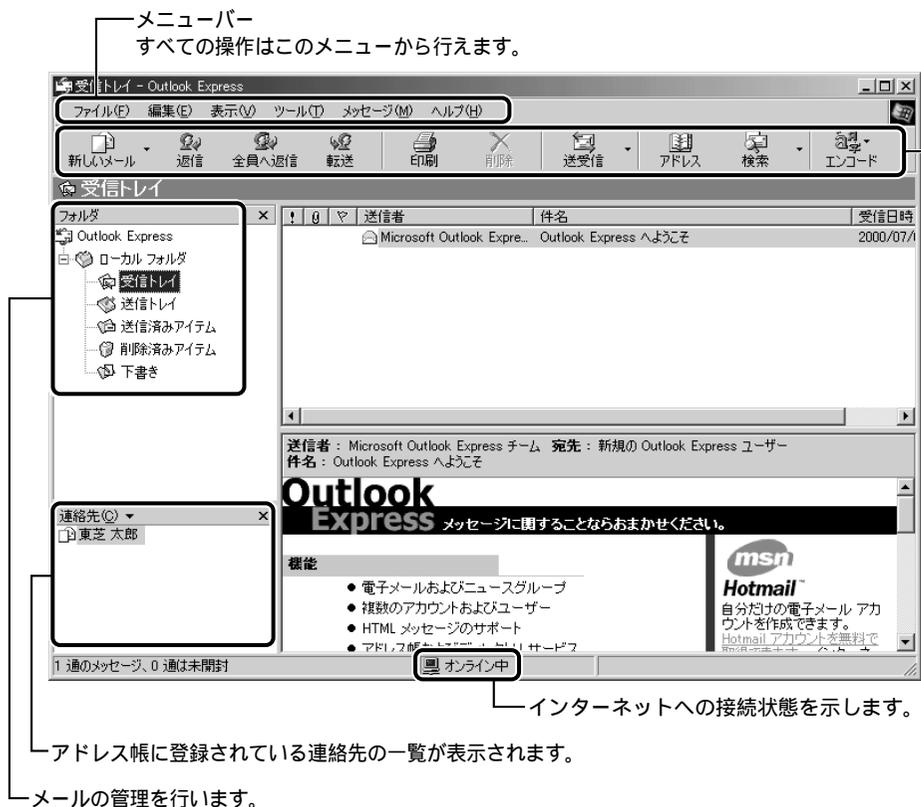
メールソフトの設定

- ▶ 「7章 10-2 メールボタン」

## 5章

電子メールを使う

## 2. Outlook Express 画面



### ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。表示されるボタンは左画面の [ フォルダ ] で選択されている項目によって異なります。

各ボタンは次の働きをします。

	新しいメールを作成します。 ⇒「本節 3 メールを作成する」		メールの内容を印刷します。
	送信元にメールを返信します。 ⇒「本節 5 メールを返信する / 転送する」		メールを削除します。 ⇒「本節 6 メールを削除する」
	送信元以外にも入力されているメールアドレスに返信します。 ⇒「本節 5 メールを返信する / 転送する」		インターネットに接続し、メールの送受信を行います。 ⇒「本節 4 メールを送信する / 受信する」
	受け取ったメールを別のメールアドレスに転送します。 ⇒「本節 5 メールを返信する / 転送する」		アドレス帳を開きます。 ⇒「本節 8 アドレス帳を使う」

### 3. メールを作成する

メールを送受信するときはインターネットへの接続が必要です。しかし、メールを作成したり、受け取ったメールを読むときなどは接続の必要はありません。メールの作成が終わったときに、インターネットへ接続しましょう。

 送受信する ▶ 「本節 4 メールを送信する / 受信する」

**1** ツールバーの [ 新しいメール ] ボタン (  ) をクリックする

[ メッセージの作成 ] 画面が表示されます。

**2** 送信先とタイトルを入力する



**3** メール本文を入力する

送信したい文章を入力してください。

 文字入力について ▶ 「3章 3 文字を入力する」

 使用する文字について ▶ 「本節 9- メールで使える文字」



・インターネットに接続した状態でメールを作成していると、作成中も電話料金やプロバイダの利用料金がかかります。



・メールアドレスは半角で入力してください。

・メールを複数の相手に送る場合は、「;」(セミコロン)で区切ってメールアドレスを入力します。

・宛先以外の人に同じメールを送信しておきたい場合は、CCにメールアドレスを入力します。

・よく送信する相手は「アドレス帳」に登録しておくとう便利です。

 アドレス帳

▶ 「本節 8 アドレス帳を使う」



・写真や資料など、他のアプリケーションで作成したデータもメールに添付して送ることができます。

 ファイルを添付する

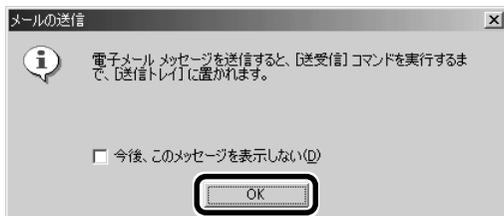
▶ 「本節 9- メールにファイルを添付する」

## 5章

電子メールを使う

**4** ツールバーの [ 送信 ] ボタン (  ) をクリックする  
[メールの送信] 画面が表示されます。

**5** [OK] ボタンをクリックする



このとき、まだメールは送信されていません。作成したメッセージは、[送信トレイ] に保存されています。

メールをいくつか作成したい場合は、手順 1 から 5 を繰り返し行ってください。

すべてのメールの作成が終わったら、インターネットへ接続し、メールを送信します。

 メールを送信する ▶ 「本節 4 メールを送信する / 受信する」



・宛先や件名が入力されていない場合は、注意を促すメッセージが表示されます。内容を確認してください。

## メールを書くのを一時的にやめる

メールを書くのをやめて、その内容を保存しておけます。

**1** メールを作成している画面の [ 閉じる ] ボタン (  ) をクリックする

「保存しますか？」のメッセージが表示されます。

**2** [はい] ボタンをクリックする



[保存メッセージ] 画面が表示されます。

**3** [OK] ボタンをクリックする



作成したメッセージが [下書き] に保存されました。

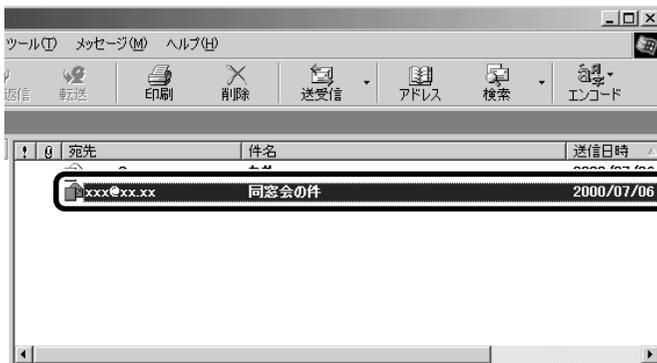
## メールの続きを作成する

1 [フォルダ] の [下書き] をクリックする



右画面にメールの一覧が表示されます。

2 一覧から目的のメールをダブルクリックする



作成中のメール画面が開きます。

3 メールの続きを入力する

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」の手順 4 以降をご覧ください。



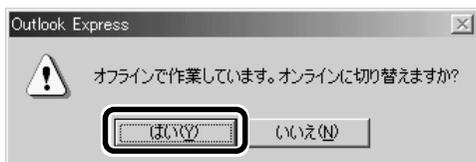
## 4. メールを送信する / 受信する

送信と受信はインターネットに接続したときに同時に行えます。

送信する場合、[送信トレイ]に保存されているメッセージが送信されます。受信した場合、メールは[受信トレイ]に保存されます。

**1** ツールバーの[送受信]ボタン(  )をクリックする  
メッセージが表示されます。

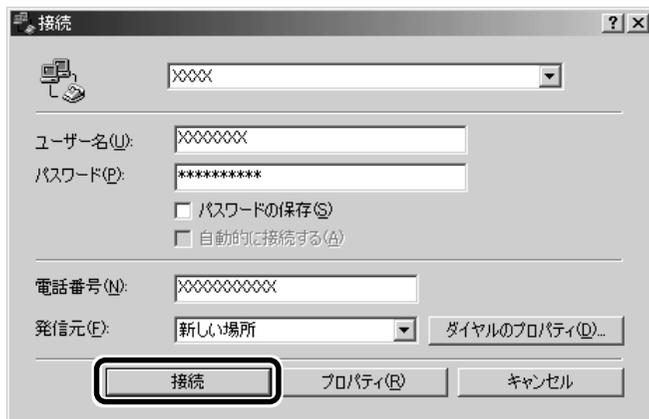
**2** [はい] ボタンをクリックする



[接続]画面が表示されます。

**3** 必要な内容を入力し、[接続]ボタンをクリックする

 詳細について ▶ 「4章 2-4- インターネットに接続してみる」

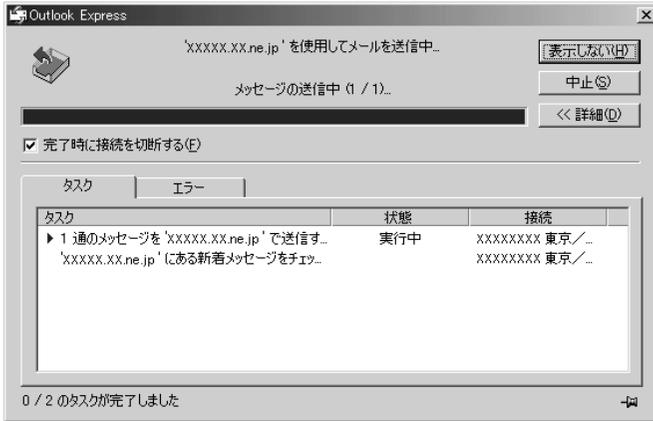


プロバイダのメールサーバに接続します。



・送受信の指示を行なった後に、メールの編集や送受信の取り消しはできません。

接続に成功すると、送受信が始まります。



[送信トレイ] に保存されていたメールが送信され、送信済みのメールは [送信済みアイテム] に保存されます。

その後、届いているメールをチェックし、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。

メールの送受信を完了すると、自動的に接続を切断します。

## 受信メールを見る

受信したメールは [受信トレイ] に保存されています。

### 1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする

[受信トレイ] には、未開封メールの件数が表示されます。



右側に受信したメールの一覧が表示されます。

まだ読んでいないメールは送信者、件名などが太字で表示されます。

[送信者] の横にあるマークには次のような意味があります。

... 以前開いたメール (開封済み)

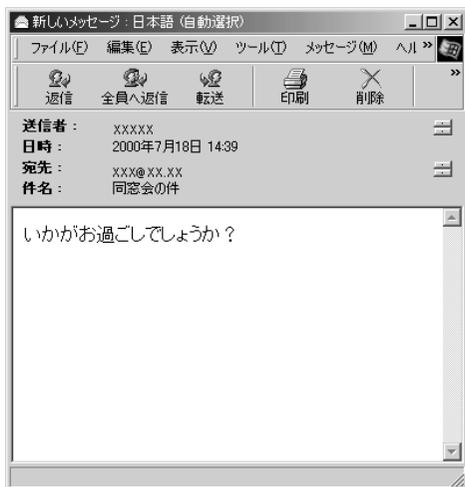
... 読んでいないメール (未開封)

..... ファイルが添付されている

詳細について ▶ 「本節 9-メールに添付されたファイルを開く」

## 2 見たいメールをダブルクリックする

メールが開きます。



- ・メールが長い場合は、スクロールして読んでください。
- ・ファイルが添付されているメールには、[件名]の下に、添付ファイルの名称が表示された[添付]が追加されます。



詳細について

- ▶ 「本節 9- メールに添付されたファイルを開く」

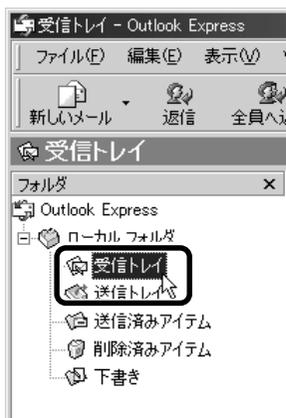
## 5. メールを返信する / 転送する

受信したメールに返事を出すことを返信といいます。受信したメールを別の相手に送ることを転送といいます。

どちらも、元のメールの本文が自動的にコピーされるので、返事を入力したり、別の相手に伝えるのに便利です。また返信の場合、相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。

### 返信する

#### 1 [フォルダ]の[受信トレイ]をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。

#### 2 一覧から返信したいメールをクリックする



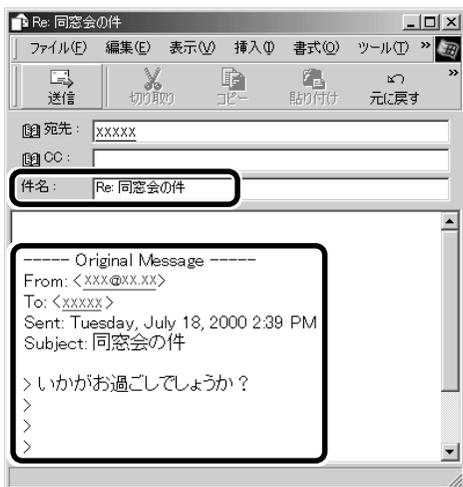
- ・メールの整理などを行い、目的のメールが[受信トレイ]以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

**3** ツールバーの [返信] ボタン (  ) をクリックする

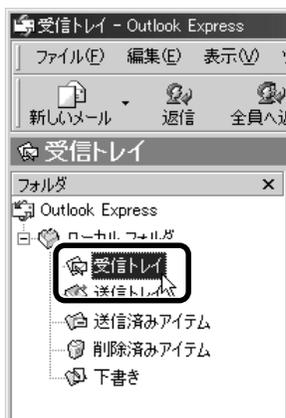
メールの作成画面が表示されます。

宛先にはメールをくれた相手のアドレスが入力され、元のメールの本文が自動的にコピーされます。

件名には元のタイトルに「Re:」が付きます。

**4** メッセージを入力する

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」「本節 4 メールを送信する / 受信する」をご覧ください。

**転送する****1** [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする

右側に受信メールの一覧が表示されます。

**2** 一覧から転送したいメールをクリックする

- ・手順3で[全員へ返信]ボタン (  ) をクリックすると、受信メールの宛先やCCに含まれているアドレスすべてが、それぞれ宛先とCCに入力されます。
- ・「Re:」は「Response: 返答、返事」の略です。



- ・メールの整理などを行い、目的のメールが[受信トレイ]以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

**3 ツールバーの [ 転送 ] ボタン (  ) をクリックする**

メールの作成画面が表示されます。

件名には元のタイトルに「Fw:」がつき、元のメールの本文が自動的にコピーされます。

**4 宛先を入力する****5 メッセージを入力する**

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」「本節 4 メールを送信する / 受信する」をご覧ください。

**6. メールを削除する**

受信したメールやすでに送信したメールは削除しないと増え続けます。不要なメールはまめに削除するようにしましょう。

**1 [ フォルダ ] で削除したいメールが保存されている場所をクリックする**

一覧が表示されます。

**2 一覧から削除したいメールをクリックする****3 ツールバーの [ 削除 ] ボタン (  ) をクリックする**

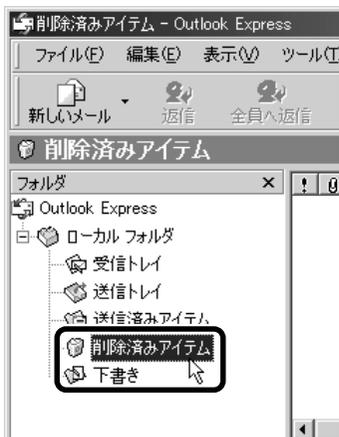
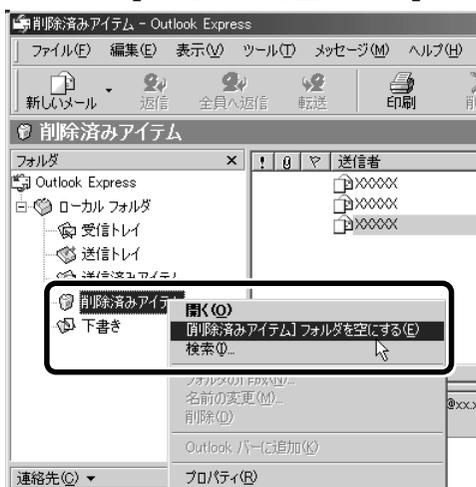
選択したメールが一覧からなくなります。このとき、まだメールは削除されていません。[ 削除済みアイテム ] に移動しています。



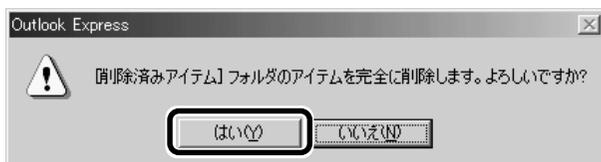
・「Fw:」は「Forward: 転送する」の略です。

**4** [フォルダ] の [削除済みアイテム] をクリックする

削除したメールの一覧が表示されます。間違えて削除してしまったメールは、ドラッグアンドドロップすると元の場所へ戻すことができます。

**5** [削除済みアイテム] を右クリックし、表示されたメニューから [[削除済みアイテム] フォルダを空にする] をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

**6** [はい] ボタンをクリックする

[削除済みアイテム] にあるメールがすべて削除されます。



・送信したメールも受信したメールも最初に削除したときは[削除済みアイテム]に移動します。

**5** 章

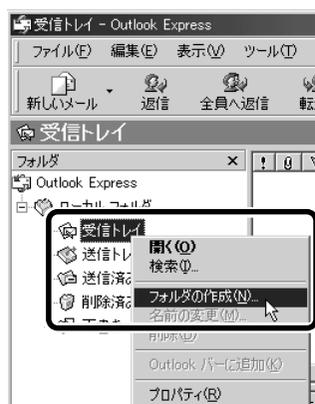
電子メールを使う

## 7. メールを整理する

受信したメールはすべて [受信トレイ] に保存されます。Outlook Express では、[受信トレイ] のほかにフォルダを作り、メールの相手や内容によって分類することができます。また、不要なメールは削除するなど、[受信トレイ] を常に整理しておく、あとでメールを探すときに便利です。

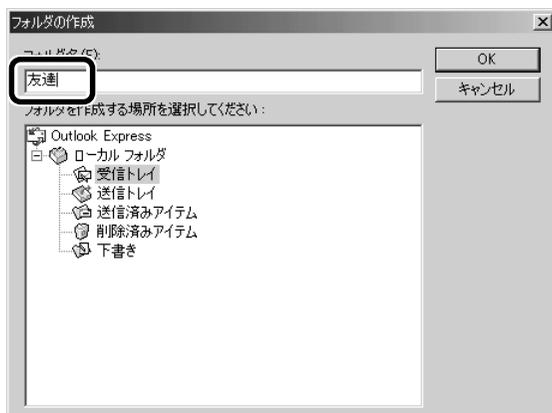
### メールを分類する

- 1 [フォルダ] の [受信トレイ] を右クリックし、表示されたメニューから [フォルダの作成] をクリックする

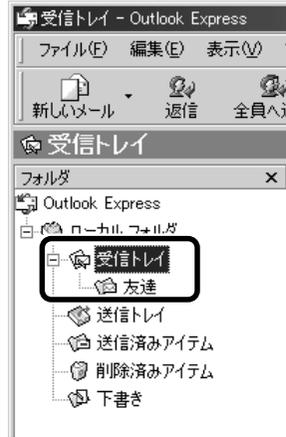


[フォルダの作成] 画面が表示されます。

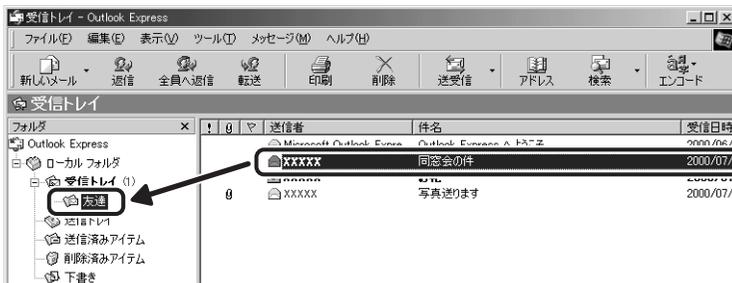
- 2 フォルダ名を入力し、[OK] ボタンをクリックする  
ここでは「友達」と入力します。



[受信トレイ]に、新しくフォルダが作成されました。



### 3 移動したいメールを、作成したフォルダにドラッグアンドドロップする



選択したメールが新しいフォルダに移動します。

### 4 作成したフォルダをクリックする

フォルダ内のメールの一覧が表示されますので、移動したメールがあるか確認してください。



・複数のメールを指定するときは、**(Ctrl)**キーを押しながらクリックします。連続して表示されているメールを指定するときは、**(Shift)**キーを押しながらクリックします。

## 5章

電子メールを使う

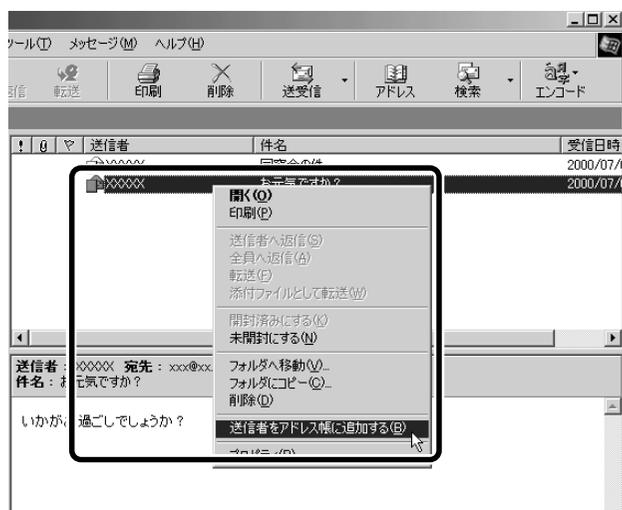
## 8. アドレス帳を使う

よくメールをやり取りする相手のメールアドレスは、「アドレス帳」に登録しておくことで便利です。

「アドレス帳」は、メールアドレス以外の情報も管理できるようになっていますが、ここではメールで利用する機能について紹介します。その他の詳細については、『Outlook Express のヘルプ』をご覧ください。

### メールをくれた相手をアドレス帳に登録する

- 1 一覧から登録したいアドレスのメールを右クリックし、表示されたメニューから [ 送信者をアドレス帳に追加する ] をクリックする



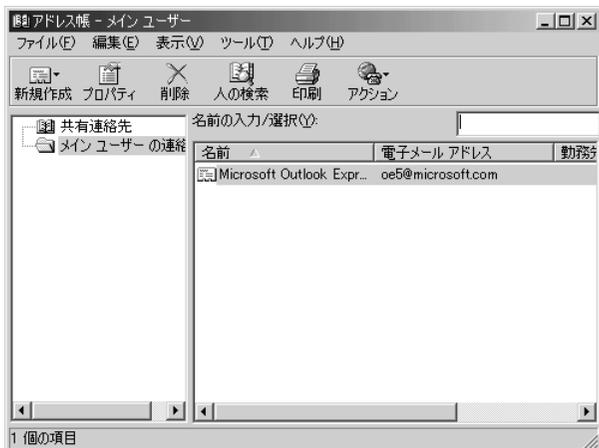
[ アドレス帳 ] に登録されました。

表示名などを変更する場合は、アドレス帳を修正してください。

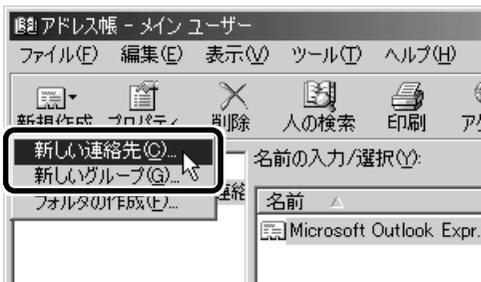
 アドレス帳の修正  「本項 - アドレス帳を修正する」

## 新しいアドレスを登録する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン (  ) をクリックする  
[アドレス帳] 画面が表示されます。



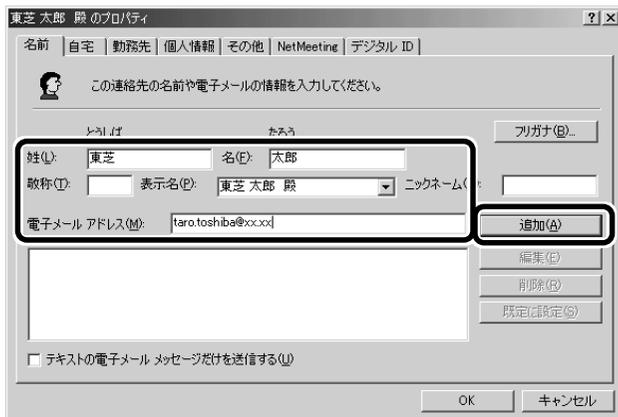
- 2 ツールバーの [新規作成] ボタン (  ) をクリックし、表示されたメニューから [新しい連絡先] をクリックする



[のプロパティ] 画面が表示されます。

- 3 [名前] タブで [姓][名][表示名][電子メールアドレス] を入力し、[追加] ボタンをクリックする

 文字入力について ▶ 「3章 3 文字を入力する」



入力したメールアドレスは「標準の電子メール」として追加されます。

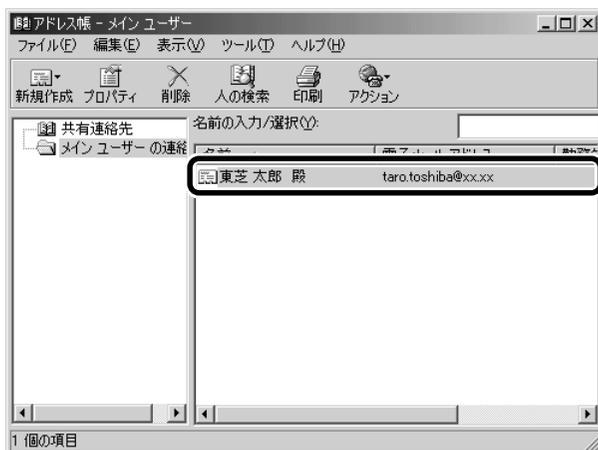
## 5章

電子メールを使おう



- ・電子メールアドレスは、半角英数字で入力してください。
- ・[表示名]に入力した文字は、メールを受け取る相手にもそのまま表示されます。「様」「殿」といった敬称は、この[表示名]に追加することをおすすめします。

- 4** プロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする  
アドレス帳に追加されました。



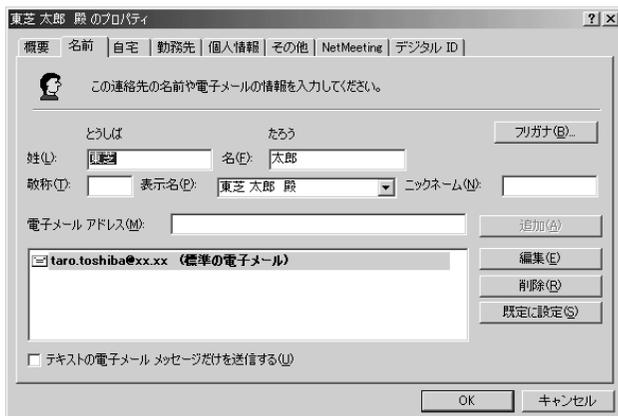
## アドレス帳を修正する

- 1** ツールバーの [アドレス] ボタン (  ) をクリックする  
[アドレス帳] 画面が表示されます。
- 2** 修正したい名前をダブルクリックする



プロパティ画面が表示されます。

### 3 [名前] タブで編集したい内容を変更する



電子メールアドレスを編集する場合は、[編集] ボタンをクリックします。  
「電子メールアドレス」が反転表示されたらアドレスを修正してください。



### 4 修正が終わったら、[OK] ボタンをクリックする

[アドレス帳] 画面に戻ります。

## アドレス帳を使って宛先を入力する

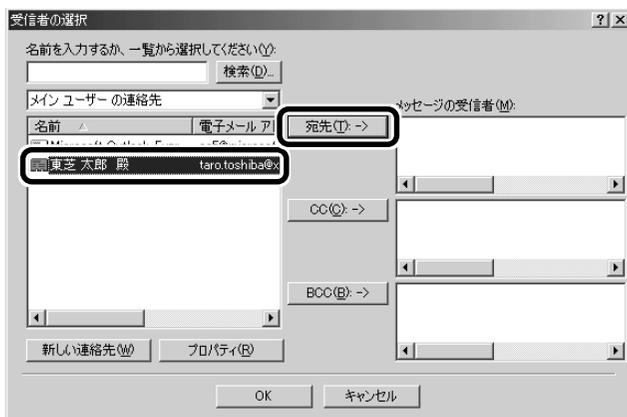
#### 1 ツールバーの [新しいメール] ボタン ( ) をクリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

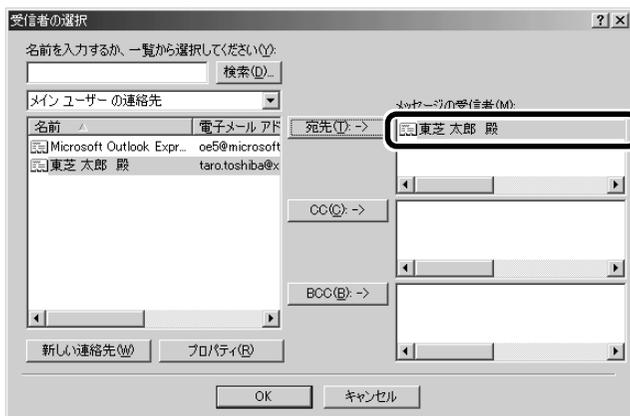
#### 2 [宛先] ボタン ( 宛先 ) をクリックする

[受信者の選択] 画面が表示されます。

#### 3 送信したい相手をクリックし、[宛先] ボタンをクリックする



[メッセージの受信者] に選択した名前が入ります。



同じメールを複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返し行なってください。

#### 4 [OK] ボタンをクリックする

[メッセージの作成] 画面に戻ります。

メールの宛先に、登録された表示名が入力されています。



#### 5 メールの件名、本文を入力し、メールを作成する

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」「本節 4 メールを送信する / 受信する」をご覧ください。



・「写し」として送る場合は、[宛先] ボタンの代わりに、[CC] または [BCC] ボタンをクリックします。「CC」は Carbon Copy の略で、文書の送り先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「BCC」は Blind Carbon Copy の略で、「CC」と同様の役割ですが、「宛先」、「CC」がメッセージの受信者全員に表示されるのに対し、「BCC」はそこに指定された本人にしか表示されません。ほかの人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

## 9. 知っておくと便利なこと

### メールで使える文字

メッセージ作成中にパソコンの画面上で読める文字でも、メールで送ったときに相手のパソコンの画面では正しく表示されず、「文字化け」する文字があります。メッセージの本文や件名で使用する文字には気をつけましょう。

使用できる文字	半角英数字、記号 全角の漢字、ひらがな、カタカナ キーボードに表示されている記号（全角）
使用しないほうがよい文字	半角カタカナ 丸付き数字（①、②、③ など） ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ など） 罫線記号（ㄣ、ㄗ、ㄟ など） 音符記号（♪、♭ など） 論理記号（∩、∃、∪ など） 特殊文字（㊤、(株)、cm など） 旧字体、外字など



相手のパソコンが日本語環境（AT 互換機）以外のコンピュータを使っている場合、全角文字が文字化けしてしまうことがあります。

### 署名

メッセージの最後に、自分の名前やメールアドレスなど、差出人情報を入れることもエチケットのひとつです。次の手順で、あらかじめ作成しておく便利です。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [オプション] をクリックする

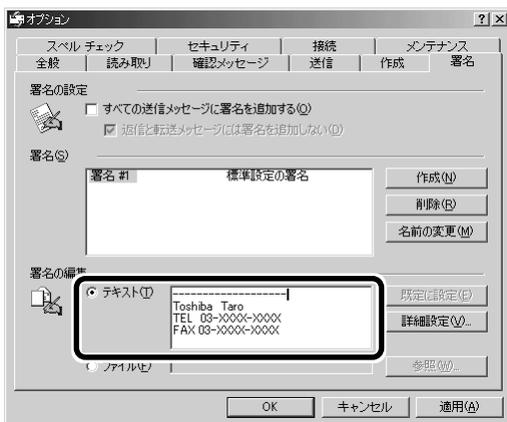


[オプション] 画面が表示されます。

## 2 [署名] タブで [作成] ボタンをクリックする

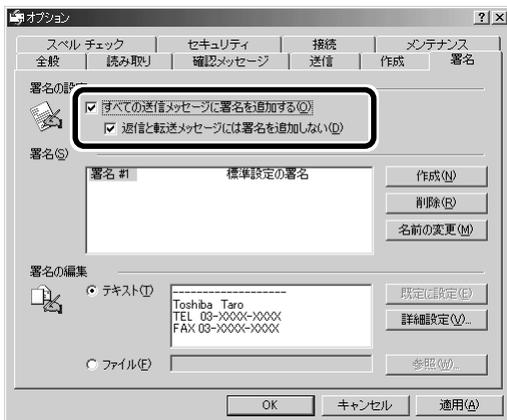


## 3 [署名の編集] に差出人情報として入れたい内容を入力する



## 4 [すべての送信メッセージに署名を追加する] にチェックをつける

返信や転送するメッセージにも署名を追加する場合は、[返信と転送メッセージには署名を追加しない]のチェックをはずしてください。



## 5 [OK] ボタンをクリックする

## 6 ツールバーの [新しいメール] ボタン ( ) をクリックする

メール作成画面に署名が挿入されています。



## メールにファイルを添付する

画像や文書などのデータを送るときは、メールにファイルとして添付します。

### 1 メールを作成する

 詳細について ▶ 「本節 3 メールを作成する」

### 2 メニューバーの [挿入] をクリックし、表示されたメニューから [添付ファイル] をクリックする



[添付ファイルの挿入] 画面が表示されます。

- 3** 添付したいファイルを選択し、[ 添付 ] ボタンをクリックする  
ここでは [ My Pictures ] に保存されている「氷山」というファイルを選択します。



[ メッセージの作成 ] 画面に戻ります。

[ 件名 ] の下に、添付したファイルの名称が表示された [ 添付 ] が追加されます。



添付したいファイルがいくつかある場合は、手順 2 と 3 を繰り返し行ってください。

#### 4 メールを送信する

 詳細について ▶ 「本節 4 メールを送信する / 受信する」



- ・受信側のパソコンに、添付したファイルを開くことのできるアプリケーションがセットアップされている必要があります。
- ・メールに添付するファイルは、できるだけファイルサイズを小さくしてください。サイズが大きいと、送信に時間がかかったり、エラーが発生することがあります。また、プロバイダによって扱えるメールのファイルサイズが異なりますので、サイズの大きいファイルは送信できない場合があります。複数のファイルを添付する場合は、ファイルサイズの合計に注意してください。

## メールに添付されたファイルを開く

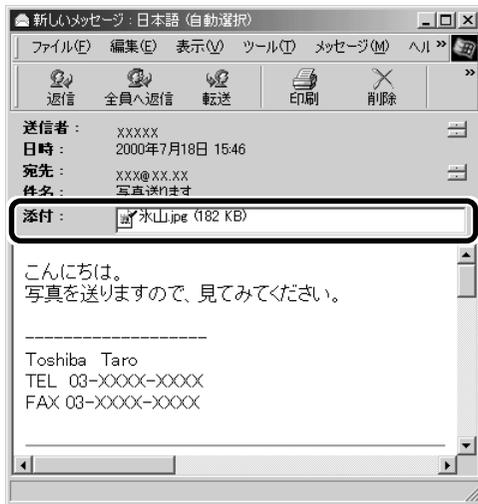
### ファイルを開くときの注意

コンピュータウイルスが添付ファイルで送られてくることがあります。知らない差出人や、内容についての安全性が確認できない添付ファイルは、コンピュータウイルスに感染している場合があります。ご注意ください。

### ファイルを開く

#### 1 メールを開く

受信メールを開いたとき、[ 件名 ] の下に [ 添付 ] が表示されている場合は、ファイルが添付されています。また、メール一覧では [ 送信者 ] の横に [ 添付ファイル ] アイコン (  ) が表示されています。



- ・コンピュータウイルス  
ソフトやハードウェアを破壊してコンピュータにトラブルを発生させる悪質なプログラム。「ウイルス」と呼ぶことも多い。また、コンピュータ内に侵入することを「感染する」という。自己増殖したり、ハードディスク内のデータを破壊してシステムに障害を及ぼすものもある。ウイルスを検出/除去するソフトも市販されている。



- ・本製品では「McAfee Virus Scan」でウイルスのチェックができます。



- 『活用編 1章 2-McAfee Virus Scan』

## 5章

### 電子メールを使おう

## 2 [添付] のファイル名をダブルクリックする



添付ファイルが開きます。

ファイルの種類によっては、開くときに警告のメッセージが表示される場合があります。添付ファイルにはウイルスが含まれている場合があるためです。

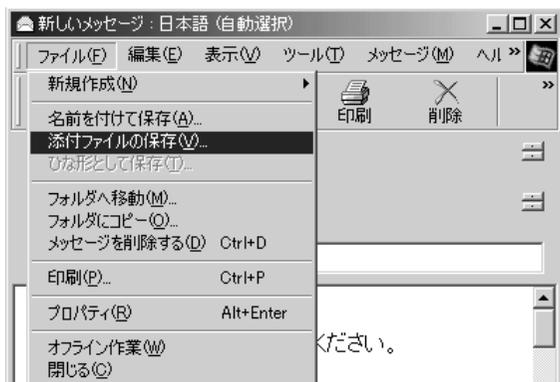
[開く] にチェックをつけ、[OK] ボタンをクリックするとファイルが開きます。

### ファイルを保存する

添付ファイルは好きな場所に保存することができます。

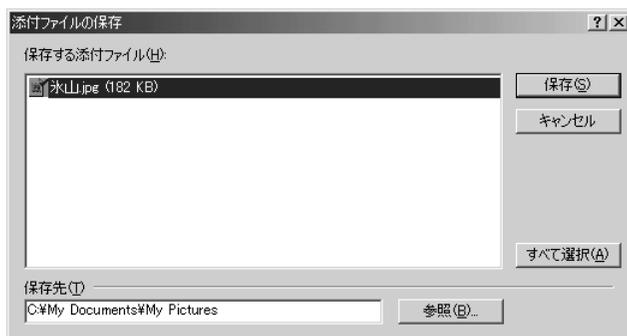
#### 1 メールを開く

#### 2 メニューバーの [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [添付ファイルの保存] をクリックする



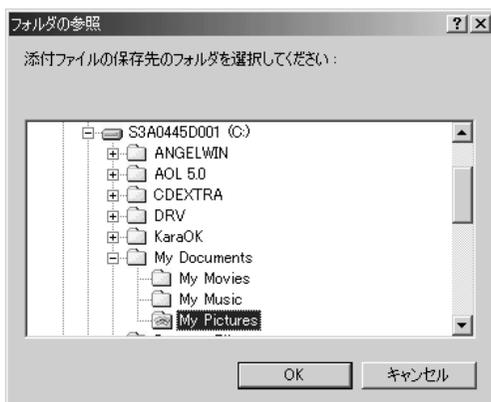
[添付ファイルの保存] 画面が表示されます。

### 3 保存する添付ファイルと、[保存先]を選択する



### 4 表示された保存先と別のフォルダに保存する場合は、[参照]ボタンをクリックする

[フォルダの参照]画面が表示されます。



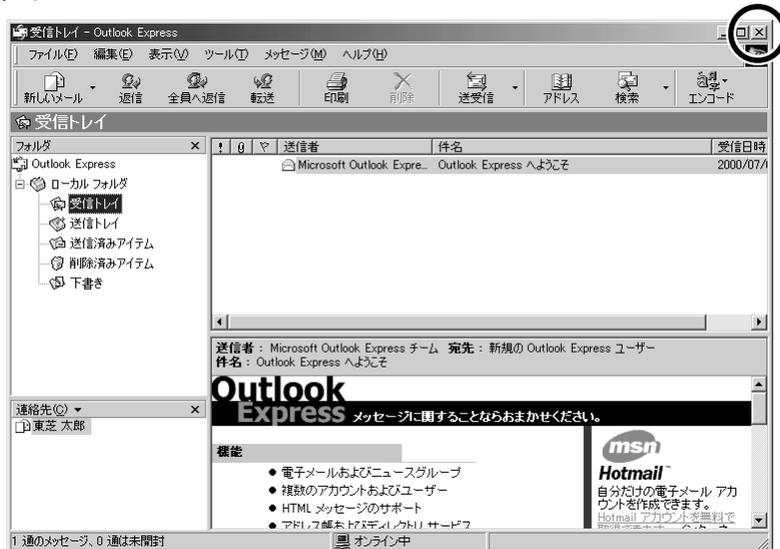
### 5 保存先のフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックする ここでは [My Documents] フォルダに保存します。



### 6 [保存]ボタンをクリックする ファイルが保存されました。

## 10. Outlook Express を終了する

- 1 Outlook Express 画面の [ 閉じる ] ボタン (  ) をクリックする



# 4

## 新着メールをランプで確認する

設定した日時に新着メールが届いているかチェックできます。これを新着メールチェック機能とよびます。新着メールが届いていると、メール着信ランプが緑点灯します。

新着メールチェック機能を使用するときは、必ずACアダプタとモジュラーケーブルを接続してください。

新着メールチェック機能はパソコンが次の状態のときに使用できます。

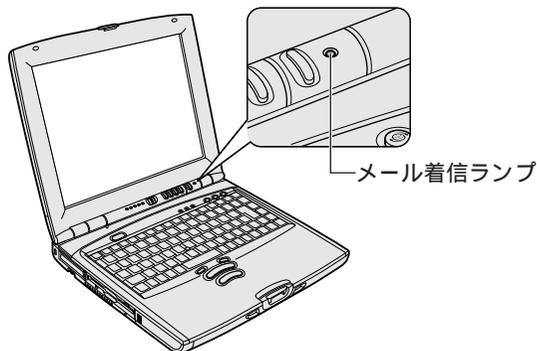
- ・電源が入っているとき
- ・スタンバイ機能を実行しているとき
- ・休止状態のとき

スタンバイ機能を実行中や休止状態にしているときは、設定した時間にパソコンが自動的に起動し、新着メールをチェックします。

新着メールチェック機能は、メールソフトの設定が完了している場合に使用できます。

 **メールソフトの設定について** ▶ 「本章 2 必要な設定を行う」

またその他にも新着メールチェック機能を使用するには、設定が必要です。本節をよくお読みのうえご使用ください。



## 5章

### 電子メールをおおう

## 1. 新着メールチェック機能を使う準備をする

### [メール]アイコンをタスクバーに表示する(新着メールチェック機能を開始する)

新着メールチェック機能に関する設定はタスクバーの[メール]アイコン(  )から行います。

次の手順で表示します。

**1** [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

**2** [新着メールチェックのスケジュール設定]アイコン(  )をダブルクリックする

この操作を初めて行なった場合、[タスクを作成します]画面が表示されます。表示される内容を確認して、[OK]ボタンをクリックしてください。

**3** [基本設定]タブで[実行する(指定された時刻に新着メールのチェックを行う)]をチェック(  )する

**4** 表示されるメッセージを確認し、[OK]ボタンをクリックする

**5** [基本設定]タブで[コンピュータ起動時に常駐する]をチェック(  )する

チェックしておくでパソコン起動時に自動的に[メール]アイコン(  )がタスクバーに表示され、新着メールチェック機能が開始できるので便利です。必ずチェックしておく必要はありませんが、チェックしておくことをおすすめします。

**6** [OK]ボタンをクリックする

タスクバーに[メール]アイコン(  )が表示されます。

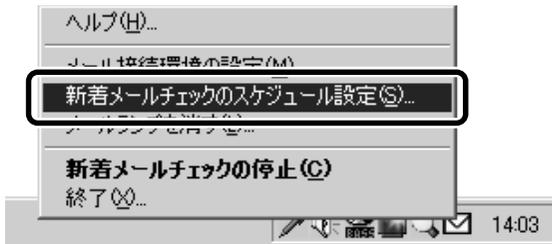


・[コントロールパネル]に[新着メールチェックのスケジュール設定]アイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

## 新着メールチェックのスケジュールを設定する

新着メールチェックを開始する日や時間を設定します。

- 1 タスクバーの [ メール ] アイコン (  ) を右クリックし、表示されたメニューから [ 新着メールチェックのスケジュール設定 ] をクリックする



[ 新着メールチェックのスケジュール設定 ] 画面が表示されます。

### 2 [ 基本設定 ] タブで日時を設定する

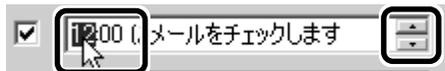
何時に新着メールチェックを行うか設定する

1日に最大3回まで設定できます。チェックしたい回数だけチェックボックスをチェック (  ) します。

画面は 12:00 に 1 回だけチェックする case です。



時間を設定するには、設定したい [ 時間 ] [ 分 ] にマウスポインタをあわせてクリックします。数字が反転表示しますので、ボタンで設定します。



[ 開始日 ] でチェックを開始する日を設定する

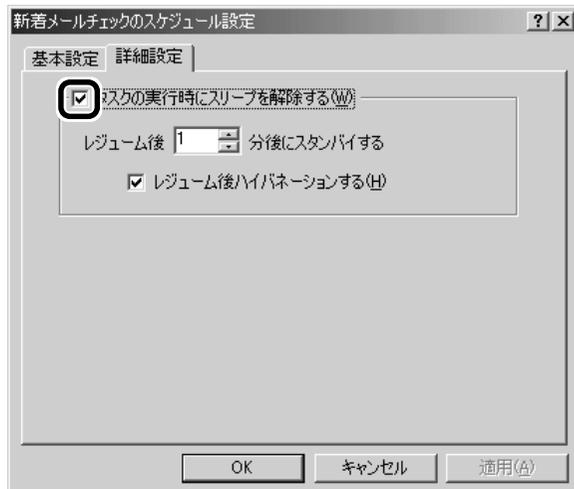
ボタンを押すとカレンダーが表示されますので、開始したい日をクリックしてください。

[ 継続日数 ] でチェックを続ける期間を設定する

最大 30 日まで設定できます。

### 3 [詳細設定] タブで [タスクの実行時にスリープを解除する] をチェックする

スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときに新着メールチェック機能を使用するときにチェックします。



### 4 [OK] ボタンをクリックする

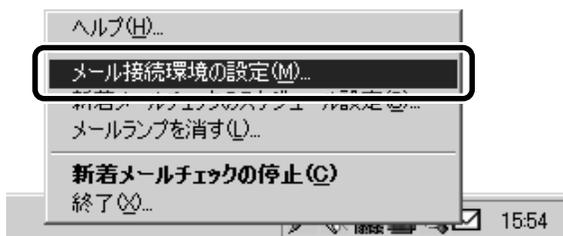
## メールチェックの接続環境を設定する

初めて新着メールチェック機能を使用するときは、メールソフトの接続環境を設定します。「新着メール数だけを確認する」または「新着メール数とメール内容を確認する」のいずれかを設定してください。

### 新着メール数だけを確認する

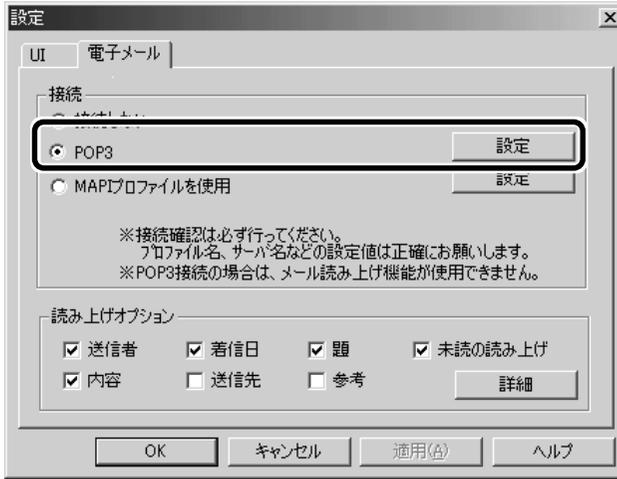
新着メール数だけを知りたいときに設定します。メールの内容を確認することはできません。メールの内容を確認するには、ご使用のメールソフトで送受信を行う必要があります。

### 1 タスクバーの [メール] アイコン (✉) を右クリックし、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] をクリックする



[設定] 画面が表示されます。

- 2** [電子メール] タブの [接続] で [POP3] をチェックし、[設定] ボタンをクリックする



[POP3] 画面が表示されます。

- 3** 必要な項目を入力する

プロバイダから指定されている [サーバ名] [ユーザ名] [パスワード] を入力してください。



- 4** [OK] ボタンをクリックする



・[POP3] に設定した場合、読み上げ機能は使用できません。

## 5 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する

[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。

音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。



## 6 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

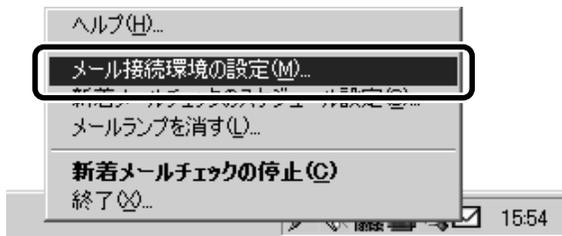
### 新着メール数とメールの内容を確認する

新着メール数とメールの内容を知りたいときに設定します。MAPI 対応メールソフトをご使用の場合に使用できます。

MAPI 対応メールソフト：Outlook Express、Microsoft Outlook、Microsoft Exchange など

 メール接続の設定  「本章 2 必要な設定を行う」

## 1 タスクバーの [メール] アイコン ( ) を右クリックし、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] をクリックする

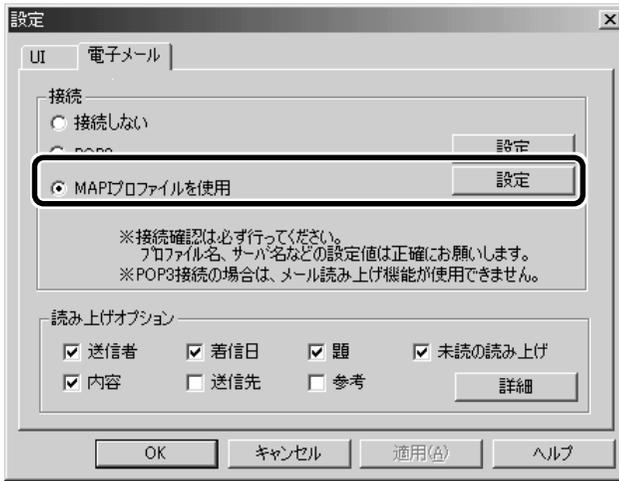


[設定] 画面が表示されます。



・普段、MAPI 対応メールソフトを使用していなくても、MAPI 対応メールソフトでメール接続の設定が完了していれば、[MAPI プロファイルを使用] に設定できます。ただし、いちど MAPI 対応メールソフトで新着メールチェックが行われた場合、MAPI 対応以外のメールソフトであらたに送受信を行っても、新着メールは届きません。

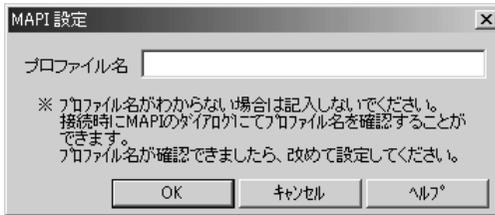
- 2** [電子メール] タブの [接続] で [MAPI プロファイルを使用] をチェックし、[設定] ボタンをクリックする



[MAPI 設定] 画面が表示されます。

- 3** [プロファイル名] を入力する

MAPI 対応のメールソフトで接続のための設定が終了していれば入力しなくても構いません。



- 4** [OK] ボタンをクリックする

- 5** 使用するメールソフトを設定する

デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン (  ) を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする  
[プログラム] タブの [電子メール] で使用するメールソフトを選択する  
[OK] ボタンをクリックする

- 6** MAPI 対応メールソフトで自動切断の設定をする

ここでは、Outlook Express の場合について説明します。

Outlook Express を起動する

メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [オプション] をクリックする

[接続] タブで [ダイヤルアップ] の [送受信が終了したら切断する] にチェックをつける

[OK] ボタンをクリックする

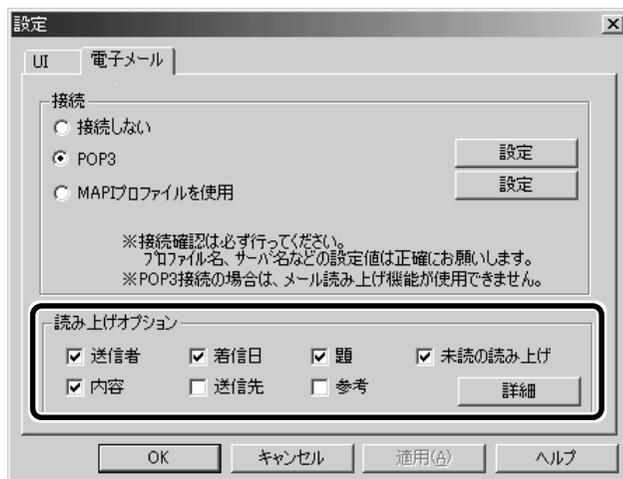
Outlook Express を終了する



・自動切断の設定をしていないと、新着メールチェックを行なった後、インターネットへの接続が切断されません。

## 7 [読み上げオプション] の設定をする

新着メールを開いたときに、チェックされている項目について音声で読み上げます。読み上げ機能を使用しないときはすべての項目のチェックをはずしてください。



## 8 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する

[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。

音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。



## 9 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

## インターネットへの接続の設定

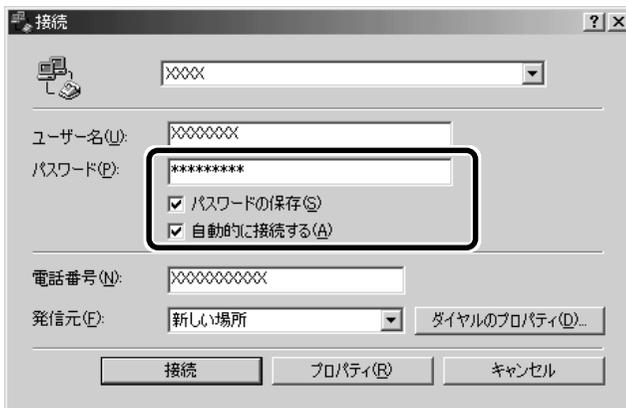
### 1 ACアダプタとモジュラーケーブルを接続する

 電話回線への接続 ▶ 「4章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

### 2 [スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする

### 3 [XXXX (接続先)] アイコン ( ) をダブルクリックする

### 4 [接続] 画面で、[パスワード] にパスワードを入力し、[パスワードの保存] と [自動的に接続する] にチェック ( ) をつける



### 5 [接続] ボタンをクリックする

すぐに接続する必要がなくても、いちど [接続] ボタンをクリックして、設定を保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると設定は保存されません。

[ × × × × (接続先) ] に接続中] 画面が表示されます。

### 6 この時点でインターネットへ接続する必要がない場合、[キャンセル] ボタンをクリックする



[キャンセル] ボタンをクリックしない場合、インターネットへの接続が開始されます。

### 7 [接続] 画面を閉じる

## パソコンが起動していないときに新着メールチェック機能を使うには

パソコンが起動していないときに新着メールチェック機能を使うためにはパソコンが起動していないときに、新着メールチェック機能を使うには、スタンバイ機能を実行するか、休止状態にしてください。

 スタンバイ機能の実行、休止状態について ▶ 「1章 3 作業を中断する」

## 2. 新着メールを確認する

設定したスケジュールに従って、新着メールチェックが行われます。

新着メールチェックが終了すると、[ 新着 ] 画面が表示されます。

新着メール数を音声で知らせるように設定していると、新着メール数が読み上げられます。



「新着メール数だけを確認する」「新着メール数とメールの内容を確認する」のどちらに設定しているかによって、この後の操作が異なります。

### 「新着メール数だけを確認する」に設定したとき

[ 新着 ] 画面のタイトルバーに新着メール数が表示されます。



新着メール数を確認したら、(  ) アイコンをクリックし、[ 新着 ] 画面を閉じます。

メールの内容をみたい場合は、メールソフトを起動して送受信を行なってください。

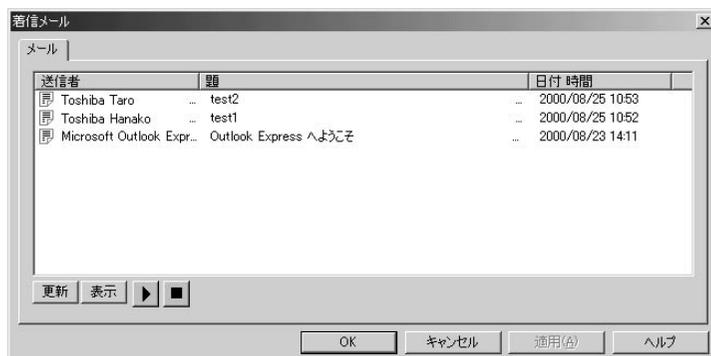
### 「新着メール数とメールの内容を確認する」に設定したとき

- 1 新着メールの内容をみたいときは (  ) アイコンをクリックする

[ 着信メール ] 画面が表示されます。

読み上げ機能を設定しているときは、メールの内容が読み上げられます。

- 2 [ 着信メール ] 画面で内容を確認したいメールをクリックし、[ 表示 ] ボタンをクリックする



メールの内容が表示されます。



内容を確認したら、[ OK ] ボタンをクリックして閉じます。

### 3 メールの確認が終わったら、[ 着信メール ] 画面で [ OK ] ボタンをクリックする

すべてのメールの内容を確認すると、メール着信ランプが消灯します。未読のメールがあると、メール着信ランプは消灯しません。この場合、タスクバーの [ メール ] アイコンを右クリックし、表示されるメニューから [ メールランプを消す ] をクリックしてください。

### 4 [ 新着 ] 画面で ( ) アイコンをクリックする



- ・メールの内容の確認は、MAPI 対応のメールソフトからも行えます。メールソフトを起動すると、新着メールが表示されます。メールソフトからメールの確認を行なった場合、すべての新着メールを既読にしてもメール着信ランプは消灯しません。タスクバーの [ メール ] アイコンを右クリックし、表示されるメニューから [ メールランプを消す ] をクリックしてください。
- ・[ 着信メール ] 画面とメールソフトでの操作は連動しており、どちらか一方でメールを既読にすれば、もう片方も既読になります。

### 3. 新着メールチェック機能を停止する

#### 新着メールチェック機能を一時停止する

- 1 タスクバーの[メール]アイコン(  )を右クリックし、表示されるメニューから[新着メールチェックの停止]をクリックする  
アイコンが(  )に変わります。

#### 新着メールチェック機能を再開する

- 1 タスクバーの[メール]アイコン(  )を右クリックし、表示されるメニューから[新着メールチェックの開始]をクリックする  
アイコンが(  )に変わります。

#### 新着メールチェック機能を終了する

- 1 タスクバーの[メール]アイコン(  )を右クリックし、表示されるメニューから[終了]をクリックする  
この操作を行なったあと、再び新着メールチェック機能を使用したいときは、「本節 1 - [メール]アイコンをタスクバーに表示する(新着メールチェック機能を開始する)」をご覧ください。

# 6章

## パソコンのしくみ

ふだん「パソコン」と呼んでいるものは、  
いろいろな要素から成り立っています。

- 1** ハードウェアとは ..... 160
- 2** ソフトウェアとは ..... 163

# 1

## ハードウェアとは

コンピュータのしくみについて、「ハードウェア」と「ソフトウェア」、または省略して「ハード」と「ソフト」という言葉がよく使われます。

ハードウェア (Hardware) とは、「固体の、形あるもの」のことです。

パソコンの世界では、ディスプレイやキーボード、マウスなど、実際に目に見えるもの、手に触れられるものを指します。プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器もハードウェアです。

しかし、ハードウェアはそれ自体だけでは使えません。そのハードウェアに合ったソフトウェアが必要です。ソフトウェアがあってはじめて、ハードウェアはそれぞれの役割を果たすことができます。

パソコンのハードウェアは、役割によって次のように分類することができます。

### 1. 記憶装置

パソコンで扱うデータを記憶する装置には、次のようなものがあります。

#### ハードディスク装置

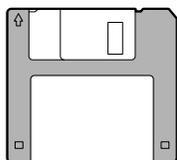
金属やガラスなどの固い円盤を高速に回転させてデータを記憶する装置です。電源を切っても、データが消えることはありません。大きな容量で、たくさんのデータが記憶できます。

本製品には、ハードディスク装置が内蔵されています。

必要があれば「外付け」のものを追加して記憶容量を増やすこともできます。

#### フロッピーディスク

3.5インチの薄い円盤にデータを記憶する媒体です。小型で持ち運びができるので、データの受け渡しに便利です。

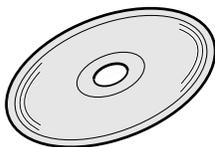


フロッピーディスクのデータをパソコンに読み込む装置を「フロッピーディスク装置」または「フロッピーディスクドライブ」といいます。本製品には、フロッピーディスク装置が内蔵されています。

 フロッピーディスクの使い方 ▶ 「7章 8 フロッピーディスク」

#### CD

直径 12cm の円盤にデータを記憶する媒体です。



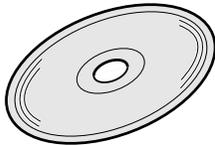
- ・内蔵  
パソコン本体にあらかじめ組み込まれていること。

パソコンのデータを記録するCDには、次の種類があります。

- CD-ROM ..... 読み出し専用
- CD-R ..... 書き込みができる。一度書き込まれたデータの削除・変更はできない
- CD-RW ..... 1000回程度、データの書き換えや削除が行える
- CDエクストラ .... 記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生装置でそれぞれ再生する
- フォトCD ..... 普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録する音楽CD

## DVD

CDと同じ直径12cmの円盤に、CDの6～8倍のデータを記憶できます。



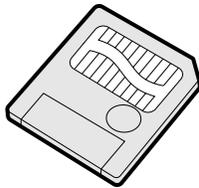
次の種類があります。

- DVD-ROM ..... 読み出し専用
- DVD-Video ..... 映像再生用

## フラッシュメモリカード

小さなカードにデータを記憶する媒体です。次の種類があります。

- スマートメディア
- SDメモリカード など



大きなデータが保存できるので、デジタルカメラ、電子楽器、音声・音楽用機器、ファックス、プリンタ、スキャナなどの機器とのデータの移動に便利です。

## 2. 表示装置

表示装置は、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。一般的にディスプレイが使われます。ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。

### 液晶ディスプレイ

画面をごく小さな点に分けて、点ごとに電圧を変化させて画像を表示します。本製品には、液晶ディスプレイが内蔵されています。

### CRTディスプレイ

テレビと同様に、ブラウン管を発光させて表示します。

### 3. 入力装置

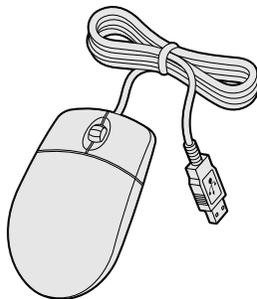
#### キーボード

文字や数字など、記号を入力してパソコンに指示を与える装置です。



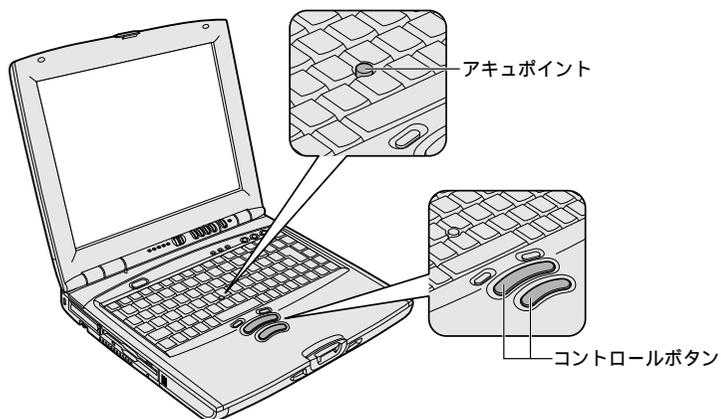
#### マウス

画面上のマウスポインタ(  )を動かして、パソコンに指示を与える装置です。本製品に同梱されています。



#### アキュポイント とコントロールボタン

マウスと同じ役割を持つ入力装置です。



# 2 ソフトウェアとは

ソフトウェア (Software) とは、パソコンに実際の命令を出す道具です。ソフトウェアは目に見えませんが、ハードウェアであるパソコンに組み込んで (インストールして) 初めて使えます。ソフトウェアがないと、ハードウェアは存在しているだけで、その価値を發揮できません。

パソコンで使用するソフトウェアは、大きく分けて次のように呼ばれます。

## 1. OS (オペレーティングシステム)

基本システムともいいます。パソコンでデータを扱うための、土台となるソフトウェアです。

本製品では、OSに「Windows Me」を使います。パソコンを購入して最初にWindowsのセットアップを行うのは、パソコンを動かす土台を敷くためです。セットアップ済みのパソコンでは、毎回電源を入れるたびに、Windowsが起動して、その上でデータを扱えるようになります。

OSによって、画面の表示形式と、機器を操作する環境が異なります。Windowsでは、パソコン内部での作業をイメージしやすいように、画面上にマウスポインタやアイコンが表示されます。

## 2. アプリケーション

アプリケーション・ソフトウェアの略で、特定の用途のために利用するソフトウェアのことです。ワープロや計算など、目的によって使い分けます。

アプリケーションはOSによって仕様が異なるので、Windows MeにはWindows Me対応のアプリケーションを使用します。セットアップ済みのパソコンにインストールした後、OSの上で起動して使います。本製品には、いろいろなアプリケーションがすでにインストールされていますので、目的に応じて使ってみてください。

 本製品にインストールされているアプリケーションについて

▶ 『活用編 1章 アプリケーションについて』

アプリケーションを使って作ったデータは、ファイルの形でひとまとまりに保存します。

Windowsでは、ファイルがどのアプリケーションで作られたものかわかるように、アプリケーションごとに異なるアイコンでファイルを表示します。

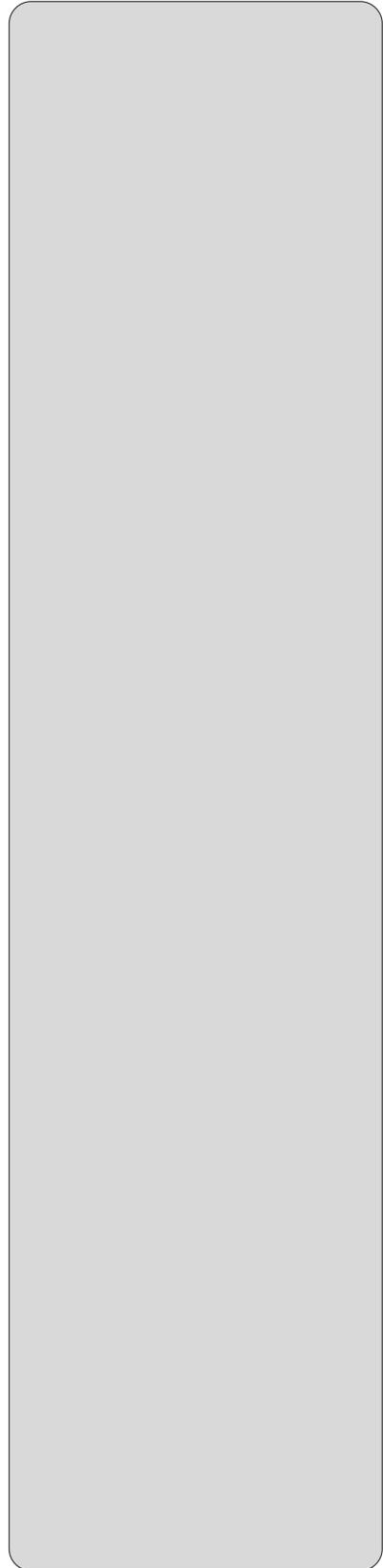
そのほかにも、OS上でハードウェアを動かすためのソフトウェア (ドライバ) や、アプリケーションを補佐する働きをもつソフトウェア (ユーティリティ) など、様々な種類のソフトウェアがあります。



- ・インストール  
ソフトウェアをパソコンに組み込み、使える状態に設定すること。

## 6章

### パソコンのしくみ



# 7章

## 本体の機能を知ろう

本製品に用意されている機能について説明しています。

<b>1</b>	各部の名前 .....	166
<b>2</b>	インジケータ .....	169
<b>3</b>	キーボード .....	172
<b>4</b>	ディスプレイ .....	178
<b>5</b>	ハードディスク装置 .....	179
<b>6</b>	サウンド機能 .....	180
<b>7</b>	バッテリー .....	183
<b>8</b>	フロッピーディスク .....	191
<b>9</b>	CD / DVD .....	195
<b>10</b>	ワンタッチボタン .....	202
<b>11</b>	メディア切替スイッチ / オーディオプレイボタン ..	205
<b>12</b>	日常の取り扱いとお手入れ .....	209

# 1

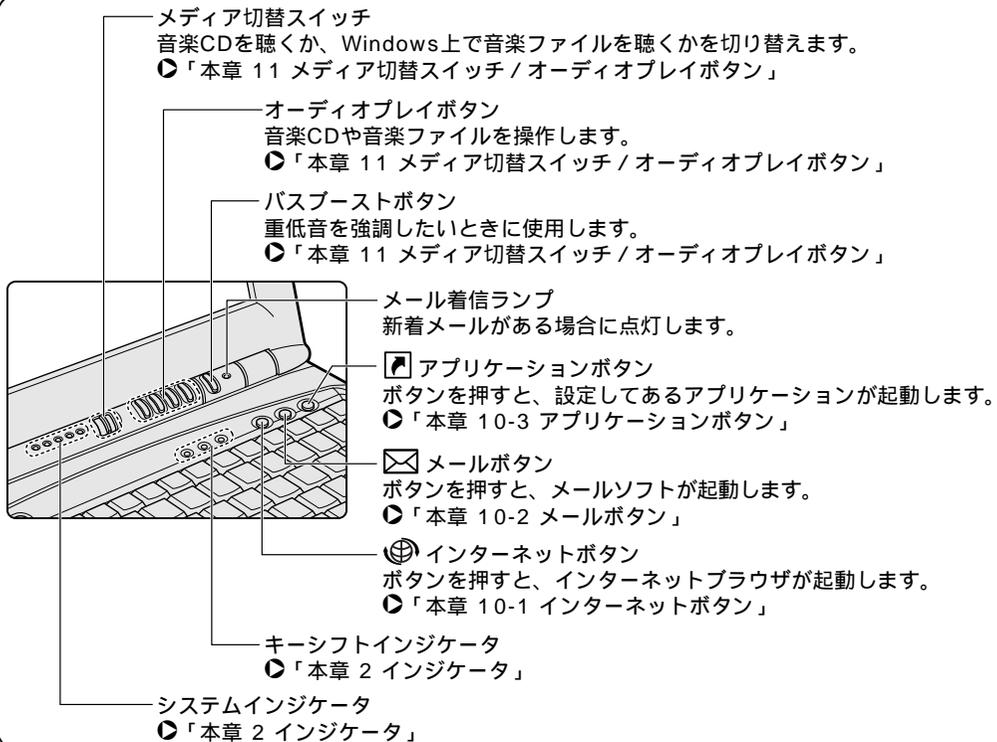
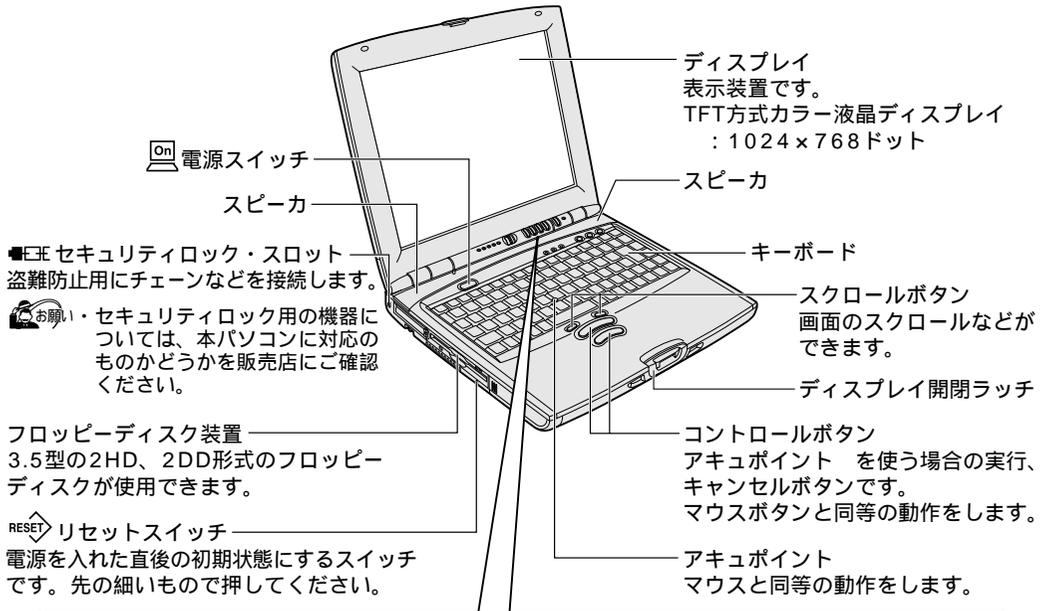
## 各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。

それぞれについての詳しい説明は、それぞれに関連する節で行います。

周辺機器を取り付ける場所については、『活用編 3章 周辺機器を使おう』をご覧ください。

### 前面図



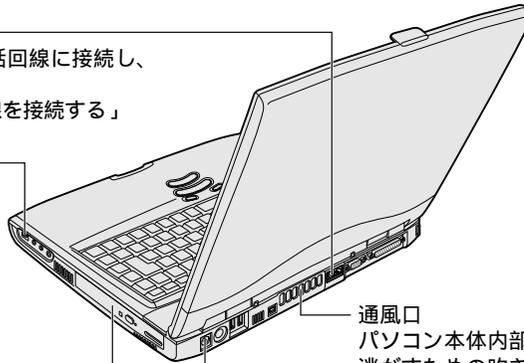
## 背面図

モジュージャック  
モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、  
モデム機能を使用します。

▶「4章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

▶ ボリュームダイヤル  
ヘッドホンやスピーカの音量を  
調節します。音量を大きくした  
ときは奥に、小さくしたいと  
きは手前に回します。

▶「本章 6 サウンド機能」



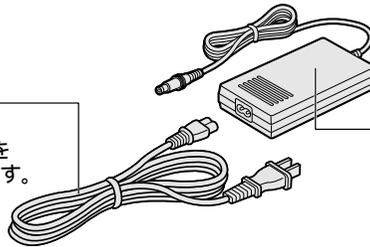
通風口  
パソコン本体内部の熱を外部に  
逃がすための吹き出し口です。

電源コネクタ  
付属のACアダプタを接続します。

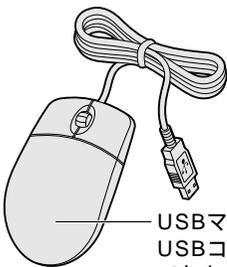
CD-RW / DVD-ROM装置またはCD-RW装置  
ご購入のモデルにより異なります。  
使用できるCD / DVDについて ▶「本章 9 CD / DVD」

## 付属品

電源コード  
電源コンセントから  
ACアダプタに電源を  
供給するケーブルです。



ACアダプタ  
電源コネクタに接続し、  
パソコン本体に電源を  
供給します。

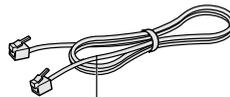


USBマウス  
USBコネクタに接続して使用  
できます。

Windowsのセットアップが  
終了した後に接続してください。  
▶「初めてパソコンを使うときには  
4 マウスを取り付ける」

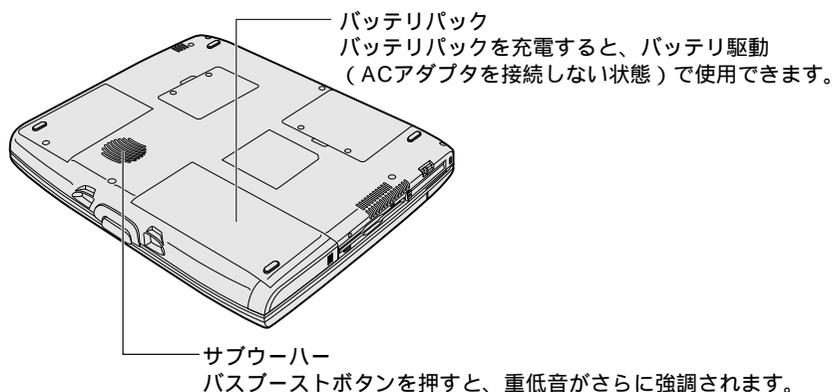


ビデオ出力ケーブル  
ビデオ出力端子とNTSC/PAL  
規格対応のテレビなどを接続する  
ケーブルです。  
▶『活用編 3章 5 テレビを接続する』

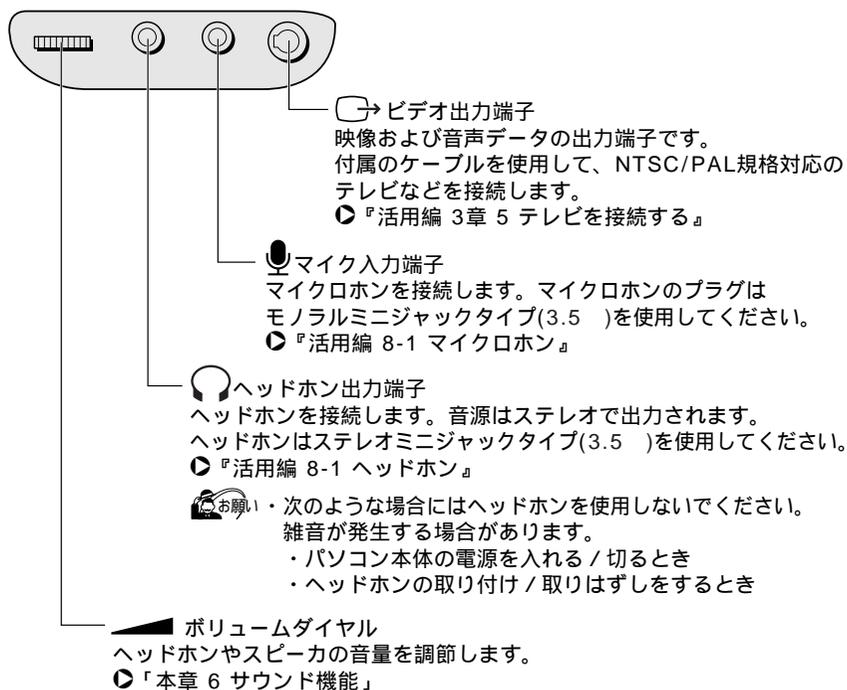


モジュラーケーブル  
電話回線と内蔵モデムを接続するケーブルです。  
▶「4章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

裏面図

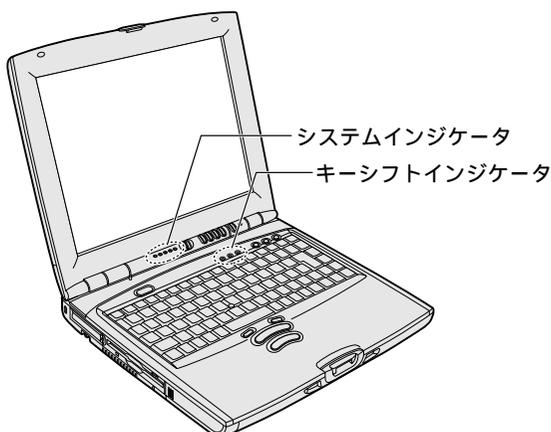


端子拡大図



# 2 インジケータ

インジケータの点灯状況によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



## システムインジケータ

システムインジケータは、パソコン本体の動作状態を示します。

	DC IN LED	電源コードの接続 ▶「1章 1- 電源に関する表示」
	Power LED	電源の状態 ▶「1章 1- 電源に関する表示」
	Battery LED	バッテリーの状態 ▶「本章 7 バッテリ」
	Disk LED	ハードディスク装置にアクセスしている ▶「本章 5 ハードディスク装置」
	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスク装置、CD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW装置にアクセスしている ▶「本章 8 フロッピーディスク」 ▶「本章 9 CD / DVD」 CDの電源が入っている ▶「本章 11 メディア切替スイッチ / オーディオプレイボタン」

## キーシフトインジケータ

キーボードのキーは、状態によって入力できる文字が異なります。  
キーシフトインジケータは、入力状態を示します。

	Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」
	Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」
	Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」

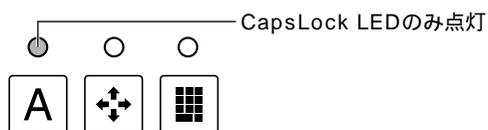
### CapsLock LED

文字キーを押すと、英字の大文字が入力できる「大文字ロック状態」を示します。

(Shift) + (CapsLock 英数) キーを押すと、Caps Lock  LED が点灯し、大文字ロック状態になります。

すべてのキーを大文字ロック状態で使用する場合、3つのLEDの状態を次のようにしてください。

大文字ロックは数字ロックやかな入力よりも優先度が低いため、LEDの状態が異なると、一部のキーが数字やキー制御のキーとなり、英字が入力できません。大文字ロック状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



MS-IME ツールバーを表示している場合は、[CAPS]の文字がくぼんで表示されます。



大文字ロック状態を解除するには、もう一度 (Shift) + (CapsLock 英数) キーを押します。解除されると、CapsLock LED は消灯します。

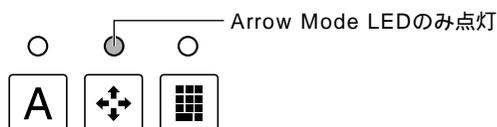
### Arrow Mode LED

オーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使用できる「アロー状態」を示します。

(Fn) + (F10) キーを押すと、Arrow Mode  LED が点灯し、「アロー状態」になります。アロー状態でオーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使えます。

アロー状態を解除するときは、もう1度 (Fn) + (F10) キーを押します。解除されると Arrow Mode LED は消灯します。

アロー状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



 オーバレイキーについて ▶ 「本章 3 キーボード」

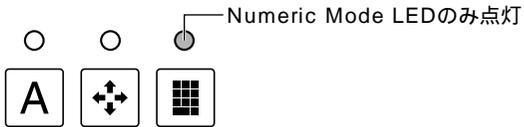
### Numeric Mode LED

オーバーレイキーを押すと、数字が入力できる「数字ロック状態」を示します。

**(Fn) + (F11)** キーを押すと、Numeric Mode  LEDが点灯し、数字ロック状態になります。

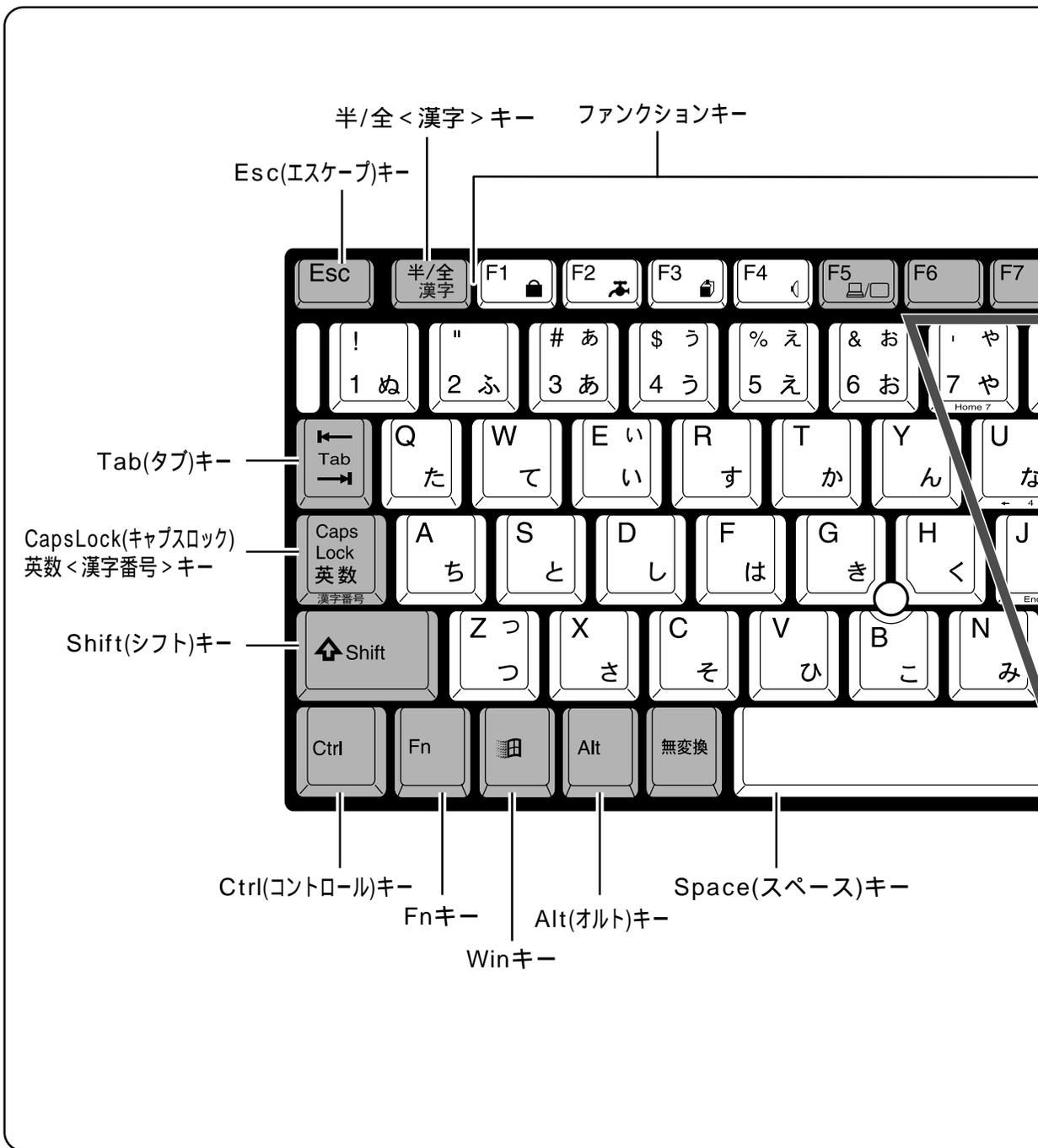
数字ロック状態でオーバーレイキーを押すと、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

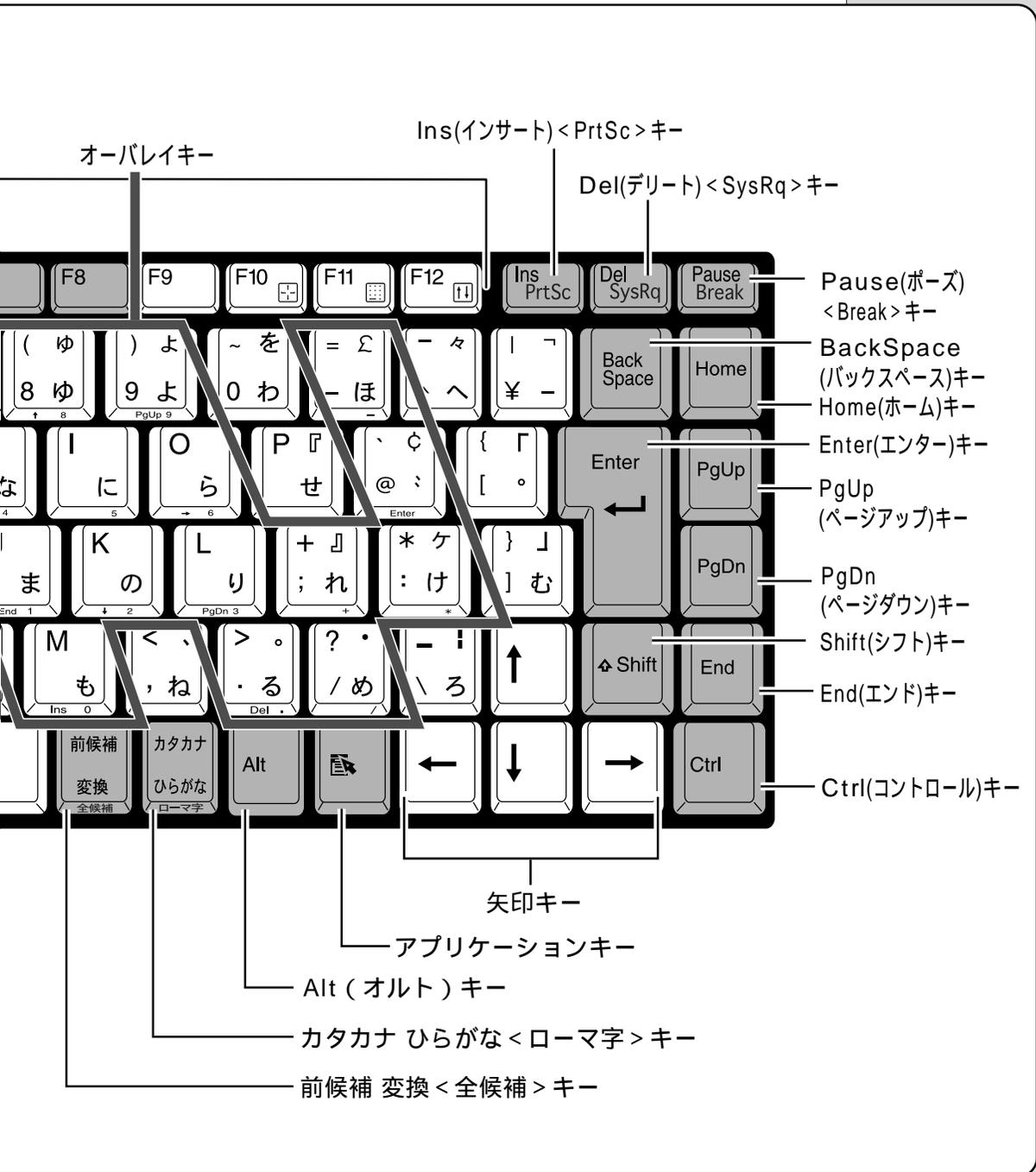
数字ロック状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



# 3 キーボード

ここでは基本的な使い方と、それぞれのキーの意味や呼び方について簡単に説明します。  
キーボードに印刷されている「£」「¢」「々」などの文字は直接入力できません。  
お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。





7章  
 本体の機能を知ろう

## 主なキーの呼び方と役割

キー	内容
<b>Esc</b> (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
<b>Shift</b> (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。
<b>Alt</b> (オルト) <b>Ctrl</b> (コントロール)	ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
<b>⌘</b> (ウイン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
<b>Space</b> (スペース)	空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。
<b>⌵</b> (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
<b>Fn</b> (エフエヌ)	オーバーレイキーを使用するときに使います。また、ファンクションキーとの組み合わせにより特殊機能を実行するときに使用します。
<b>Ins</b> (インサート)	文字の入力モードを挿入 / 上書きに切り替えるときに使います。
<b>Del</b> (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
○ ○ ○ ○ (矢印)	カーソル移動などに使います。
<b>Enter</b> (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
<b>F1</b> ~ <b>F12</b> (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

## 入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
(Alt) + (カタカナひらがな)	<p>かな入力ができる状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの右下に印刷されたひらがなを入力できます。</p> <p>MS-IME ツールバーを表示している場合は、[ KANA ] の文字がくぼんで表示されます。</p> 
(Shift) + (CapsLock 英数)	<p>大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。</p> <p>MS-IME ツールバーを表示している場合は、[ CAPS ] の文字がくぼんで表示されます。</p> 

かな入力や大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。ロック状態の優先度は、かな入力状態 > 大文字ロック状態です。

## Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
Fn + F1 インスタント セキュリティ機能	表示画面をオフにし、キーボードやマウスから入力できなくします。解除するには、パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、Enter キーを押します。パスワードを設定していない場合はEnter キーまたはF1 キーを押します。 パスワードは、「東芝 HW セットアップ」で設定します。  詳細について ● 『活用編 4 章 3 パスワードについて』
Fn + F2 省電力モードの設定	Fn + F2 キーを押すと、設定されている「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードが表示されます。Fn キーを押したまま、F2 キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。
Fn + F3 使用する機能の選択	Fn + F3 キーを押すと、電源を切る状態（スタンバイ、休止状態、電源オフ）のメニューが表示されます。Fn キーを押したまま、F3 キーを押すたびに、表示が切り替わり、電源スイッチを押したときに実行する機能が設定されます。
Fn + F4 アラーム音量の調節	アラーム音量を調節します。ピープ音で音量を知らせます。Fn キーを押したまま、F4 キーを押すたびに音量が変わります。 「OFF 小 中 大」
Fn + F5 表示装置の切り替え	表示装置を切り替えます。  詳細について ● 『活用編 3 章 5 テレビを接続する』 ● 『活用編 3 章 9 CRT ディスプレイを接続する』
Fn + F10 アロー状態	キートップ前面左側に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。 アロー状態を解除するには、もう1度Fn + F10 キーを押します。
Fn + F11 数字ロック状態	キートップ前面右側に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。 数字ロック状態を解除するには、もう1度Fn + F11 キーを押します。
Fn + F12 スクロールロック状態	一部のアプリケーションで□□□□キーを画面スクロールとして使用できます。 ロック状態を解除するには、もう1度Fn + F12 キーを押します。

## ⌘キーを使ったショートカットキー

⌘キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
⌘ + R	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
⌘ + M	すべてをアイコン化する
Shift + ⌘ + M	すべてのアイコン化を元に戻す
⌘ + F1	Windows の『ヘルプとサポート』を起動する
⌘ + E	Windows エクスプローラを起動する
⌘ + F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl + ⌘ + F	他のコンピュータを検索する
⌘ + Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⌘ + Break	[システムのプロパティ] 画面を表示する

## 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	操作
システムの再起動	Ctrl + Alt + Del	プログラムの強制終了画面が表示されます。もう一度押すと、システムを再起動します。
画面コピー	Fn + Ins	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	Fn + Alt + Del	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



・システムが操作不能になったとき以外は、Ctrl + Alt + Delキーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

# 4 ディスプレイ

本製品では TFT 方式カラー液晶ディスプレイ (1024 × 768 ドット) を採用しています。

 ディスプレイとは ▶ 「6 章 1-2 表示装置」

カラー液晶ディスプレイの機能について説明します。

## 表示について

本製品では、カラー対応のアプリケーションをご使用の場合にカラー表示されます。それ以外の場合は、モノクロ表示になります。

TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素 (欠け・常時点灯など) が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

## 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

1600 × 1200 ドット	65,536 色
1280 × 1024 ドット	1,677 万色
1024 × 768 ドット	1,677 万色
800 × 600 ドット	1,677 万色
640 × 480 ドット	1,677 万色

1280 × 1024 ドット以上は仮想スクリーン表示になります。



・1,677 万色はディザリング表示です。



・ディザリング  
1 ピクセル (画像表示の単位) では表現できない色 (輝度の階調を、数ピクセルの組み合わせによって表現する方法。

# 5

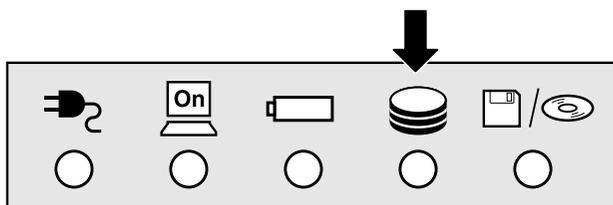
## ハードディスク装置

ハードディスク装置は、本体に内蔵されています。取りはずしはできませんので、分解しないでください。

 ハードディスク装置とは ▶ 「6章 1-1 記憶装置」

### ハードディスク装置に関する表示

ハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LEDが点灯します。



ハードディスクに記録された内容は故障や損害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承ください。

万一故障した場合に備え、バックアップを取ることをおすすめします。バックアップの方法は、『ヘルプとサポート』をご覧ください。

### ハードディスクを使用するときのお願い

ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起きたり、変化/消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクに保存しておいてください。記憶内容の変化/消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化/消失するおそれがあります。落とす、ぶつけるなど強いショックを与えないでください。

ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。



- ・ Disk  LED が点灯中は、電源を切ったり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データが消失するおそれがあります。

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

スピーカについて ▶ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」

音楽 / 音声の録音レベルの調整について

▶ 「本節 2 音楽 / 音声の録音レベルを調整する」

システムスピーカについて ▶ 「本節 3 システムスピーカについて」

## 1. スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能はMicrosoft Windows Sound System、およびSound Blaster Pro に適合しています。

スピーカの音量調整は、ボリュームダイヤル、またはWindowsの「ボリュームコントロール」を使用します。

### ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。

 ボリュームダイヤル ▶ 「本章 1 各部の名前」

### ボリュームコントロールで調整する

**1** タスクバー上の [音量] アイコン (  ) をダブルクリックする  
または、[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント]-[ボリュームコントロール] をクリックする  
[Volume Control] 画面が表示されます。

**2** それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると、消音になります。

#### 音楽 / 音声を再生するとき

「Volume Control」の各項目では次の音量が調整できます。

Volume Control : すべての音量を調整する

WAVE : MP3 ファイル、Wave ファイル、音楽 CD (Windows Media Playerの場合)、DVD-ROM、DVD-Video など

CD Audio : 音楽 CD

Midi Out : MIDI ファイル

また、お使いのアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』をご覧ください。

## [音量]アイコンから調整する

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン (  ) をクリックする  
次の画面が表示されます。



- 2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート]をチェックすると、消音になります。

使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。

本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する  
使用しているアプリケーションの設定を変える  
外部マイクをスピーカから離す



### 用語

- ・ハウリング  
スピーカから出た音がマイクに入りスピーカに返されると、音が増幅される。これが繰り返されて発生する高く大きな音のこと。

## 2. 音楽 / 音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

### パソコン上で録音するとき

- 1 タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックする、または [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント]-[ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション]-[プロパティ] をクリックする
- 3 ミキサーデバイスを [YAMAHA DS-XG AUDIO] に変更する
- 4 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 5 [表示するコントロール] をチェックする  
[Stereo Out][Microphone] がチェックされていることを確認します。
- 6 [OK] ボタンをクリックする
- 7 [Recording Control] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする  
[Stereo Out] : MP3 ファイル、Wave ファイル、MIDI ファイル、音楽CDなどを録音するとき  
[Microphone] : 外部マイクから録音するとき
- 8 選択したデバイスのつまみで音量を調節する

### 光デジタルオーディオ出力端子経由で録音するとき

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音する場合は、ボリュームダイヤルや「ボリュームコントロール」などで、再生している音量を調節します。

-  ボリュームダイヤル、ボリュームコントロールについて  
▶ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」

## 3. システムスピーカについて

システムスピーカを設定すると、パソコンのハードウェアの状態を知ることができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。

### 設定方法

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [東芝 HW セットアップ] アイコン (  ) をダブルクリックする
- 3 [Hardware Alarm] タブで設定する  
鳴らす場合は [System Beep] をチェック (  ) します。  
音量は [Alarm Volume] のスライダーバーをドラッグして調整します。



・同時に2つのデバイスを選択することはできません。



・録音したい音楽 / 音声は「Volume Control」の [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。



・[コントロールパネル] 画面に [東芝 HW セットアップ] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

# 7 バッテリー

## 危険

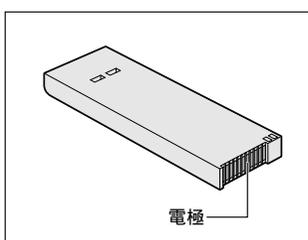
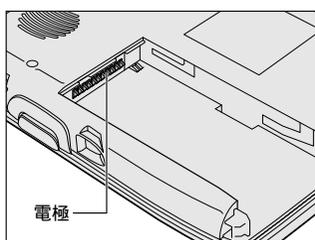
- ・バッテリーパックを火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックを分解・改造しないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックの電極の(+)と(-)を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。
- ・バッテリーパックにくぎを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。

## 警告

- ・バッテリーパックの使用、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。
- ・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、指定の製品をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。使用済みのバッテリーパックの処理は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

## ⚠ 注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。  
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。  
発熱したり、サビなどのおそれがあります。
- ・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。  
お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。  
バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、スタンバイ機能が効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、一度全バッテリーを充電するために、ACアダプタを接続して充電してください。
- ・バッテリーパックの取り付け/取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。スタンバイ機能を実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- ・バッテリーパックを保管する場合は、ショート防止のために電極に絶縁テープをはるなどの対策をこうじてください。そのままの状態では保管すると、破裂や火災のおそれがあります。
- ・バッテリーパックはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。
- ・充電機能が著しく低下した場合や、バッテリーのなくなったことによる警告メッセージが表示された場合は使い続けしないでください。  
そのまま使い続けると、本体内の記憶内容がこわされるおそれがあります。手順に従いバッテリーの交換をしてください。
- ・バッテリーパックを捨てるときは、ショート防止のために、電極に絶縁（ぜつえん）テープをはり、地方自治体の条例や規則に従ってください。  
そのままの状態では捨てると、破裂、発火のおそれがあります。
- ・本体側の電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



パソコン本体には、バッテリーパックが内蔵されています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。バッテリーをフル充電しなくても使えますが、使用できる時間は短くなります。

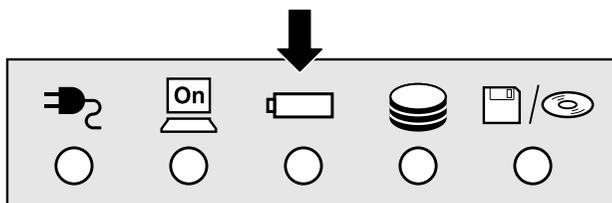
ご購入時は、バッテリーはフル充電されていませんので、本製品を初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

## 1. バッテリ充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って途中で作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。バッテリー充電量を確認するには、次の方法があります。

### Battery LED で確認する

AC アダプタを接続している場合、Battery LED が緑色に点灯すれば充電完了です。



バッテリー駆動で使用しているときにオレンジ色に点滅した場合は、バッテリーの充電が必要です。Battery LED は次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッテリーが接続されていない</li> <li>・ACアダプタが接続されていない</li> <li>・バッテリー異常</li> </ul>

### アイコンで確認する

タスクバーの[省電力]アイコン(  )の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

AC アダプタを接続している場合



バッテリー駆動の場合



(表示例)

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。



- ・タスクバーに表示される[省電力]アイコンの絵は現在使用されている省電力モードにより変わります。
- ・東芝省電力ユーティリティ([コントロールパネル][東芝省電力])の[電源設定]タブの設定内容によっては、タスクバーに[省電力]アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定]タブで[タスクバーに省電力モードの状態を表示する]をチェックしてください。

### バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

Battery  LEDがオレンジ色に点滅する(バッテリーの減少を示しています)  
警告音(ピープ音)が鳴る

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの対処を実行してください。

パソコン本体に AC アダプタを接続する

電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、休止状態を有効にしておくことをおすすめします。

### 時計用バッテリー

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックのほかに、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電は、AC アダプタを接続しているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識して行う必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。充電完了までの時間は次のとおりですが、実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

状態	時計用バッテリー
電源ON (Power  LEDが点灯)	10時間以上
電源OFF (Power  LEDが消灯)	ほとんど充電しない



- ・長時間使用しないで自然に放電しってしまったときは、警告音でもBattery  LEDでも放電しなかったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。



- ・時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning (警告) メッセージが出ます。

## 2. バッテリーを充電する

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

### 充電方法

#### 1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

DC IN  LED が緑色に点灯して Battery  LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF にかかわらず常時充電されます。

#### 2 Battery LED が緑色になるまで充電する

バッテリーの充電中は Battery  LED がオレンジ色に点灯します。DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

### 充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

状態	充電時間
電源ON	約4～10時間
電源OFF	約2～3時間

(注) 周囲の温度が低いとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

### 使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。次の時間は目安にしてください。

#### 充電完了の状態で使用した場合

省電力モード	動作時間
ハイパワー	約2.2時間

(注) 当社オリジナルプログラムで計測

#### 使っていないときの充電保持時間

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。この場合も放置環境などに左右されますので、保持時間は、目安にしてください。

#### フル充電した状態で電源を切った場合

パソコン本体の状態	保持時間
電源切断または休止状態	約2週間



- ・バッテリーパックが極端に熱いか冷えていると、正常に充電されないことがあります。バッテリーを充電するには、10～30の室温で充電してください。



- ・使用しないときはバッテリーパックをパソコンから取りはずしておく、バッテリー駆動で使用できる時間は長くなります。
- ・スタンバイ機能を実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリー駆動時は休止状態にすることをおすすめします。

## バッテリーを節約する

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

バッテリーの充電を完了（フル充電）する

バッテリー駆動で使用した後は、バッテリーを充電しておく

休止状態にし、こまめに電源を切る

 休止状態 ● 「1章 3 作業を中断する」

パネルスイッチ機能を活用し、入力しないときは、ディスプレイを閉じておく

 パネルスイッチ機能 ● 「1章 4 簡単に電源を切る / 作業を中断するとき」

省電力モードを設定する

 省電力モードの設定 ● 『活用編 1章 2- 東芝省電力ユーティリティ』

### 3. バッテリーパックを交換する

#### 取りはずし / 取り付け

**1** データを保存し、Windows を終了させて電源を切る  
スタンバイ機能を実行すると、バッテリーパックをはずしたときにデータが消失するので使用できません。

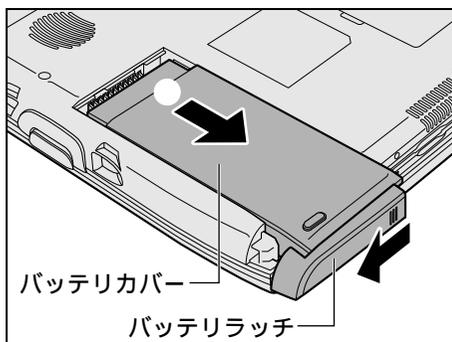
休止状態にする場合は、「東芝省電力ユーティリティ」の[休止状態]タブで、[休止状態をサポートする]をチェックしてください(休止状態にすることにより、再起動にかかる時間が短くて済みます)。

 休止状態について ▶ 「1章 3 作業を中断する」

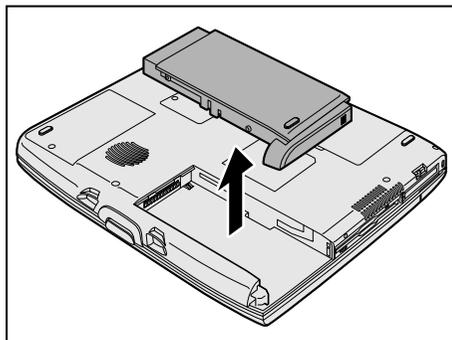
**2** パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす

**3** ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

**4** バッテリーラッチを横に押し、バッテリーカバーをスライドさせる



**5** バッテリーパックごと、バッテリーカバーを取り出す

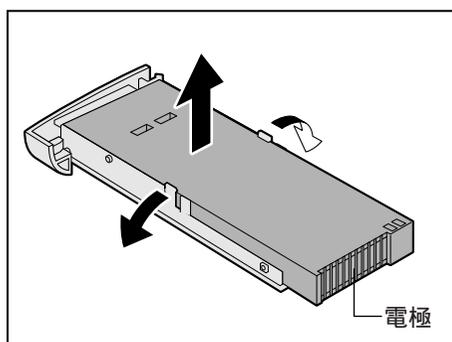


・バッテリーパックの取り付け / 取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。

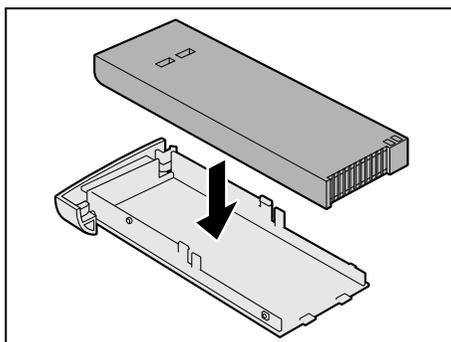


・「東芝省電力ユーティリティ」は、[スタート][設定][コントロールパネル]をクリックして、[東芝省電力] (表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリック) をダブルクリック。

- 6** バッテリカバーからバッテリーパックを取り出す  
 バッテリカバーのツメを左右に広げ、バッテリーパックを取りはずします。

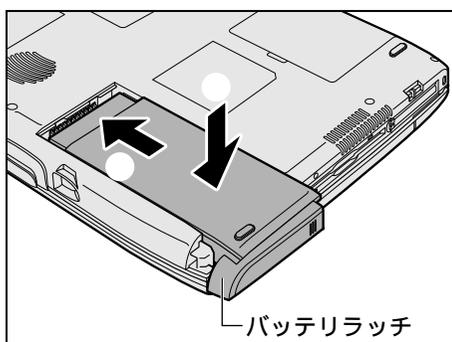


- 7** 交換するバッテリーパックをバッテリーカバーに取り付ける

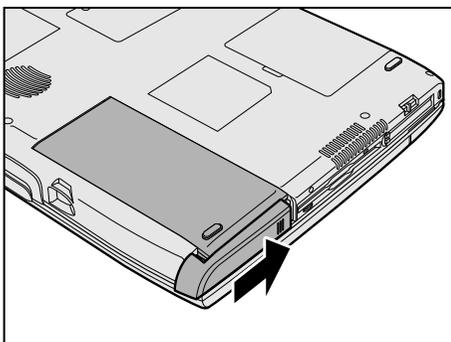


- 8** バッテリラッチが左側にあることを確認し、バッテリーパックをコネクタの位置に合わせ、静かに差し込む

新しい、あるいは充電したバッテリーパックを注意して差し込んでください。



- 9** バッテリラッチをスライドさせ、バッテリーパックを固定する



# 8

## フロッピーディスク

### ⚠ 注意

- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM  LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置のイジェクトボタンに触れたり、パソコン本体を動かしたりしないでください。フロッピーディスクのデータやフロッピーディスク装置が壊れるおそれがあります。

### 1. フロッピーディスク

 フロッピーディスクとは ▶ 「6章 1-1 記憶装置」

 フロッピーディスクの取り扱いについて ▶ 「本章 12-フロッピーディスク」

#### 使用できるフロッピーディスクの種類とその容量

フロッピーディスクに保存できる容量は、次のとおりです。

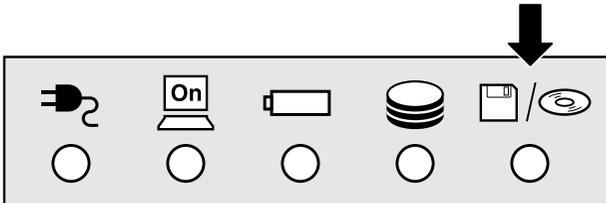
フロッピーディスクの種類	1枚に保存できる容量
2DDタイプ	720KB
2HDタイプ	1.2MB
2HDタイプ	1.44MB

1枚あたりに保存できる容量は、フォーマットのときに指定します。

 フォーマットについて ▶ 「本節 3-フォーマット」

#### フロッピーディスク装置に関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、フロッピーディスクとデータをやり取りしているときは、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。



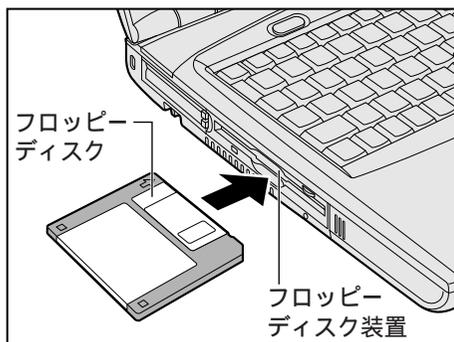
- ・Windows用にフォーマットされていないフロッピーディスクを使用する場合は、フォーマットが必要です。
- ・1.2MBの容量にフォーマットすることはできません。1.2MBのフロッピーディスクへは、読み出しと書き込みができます。

## 2. フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

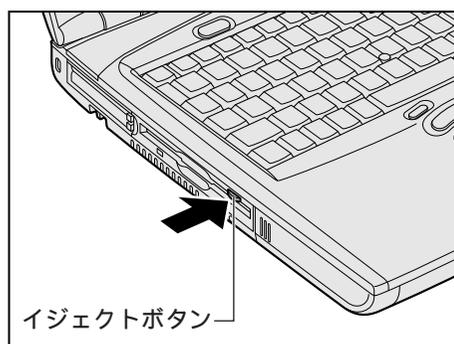
### フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅にかかっている矢印の向きにあわせて挿入する  
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。



### フロッピーディスクの取り出し

- 1 イジェクトボタンを押す  
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



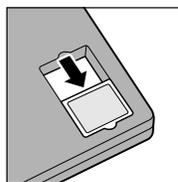
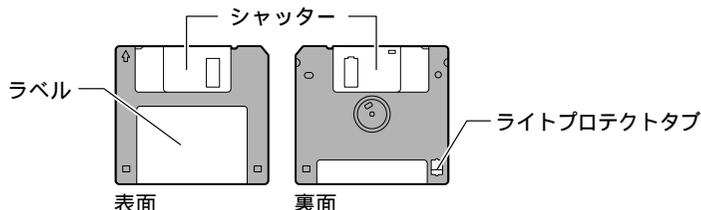
### フロッピーディスクの内容を見る

- 1 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする  
[マイ コンピュータ] 画面が開きます。
- 2 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン (  ) をダブルクリックする  
[3.5 インチ FD (A:)] 画面が開き、セットしたフロッピーディスクの内容が表示されます。

### 3. フロッピーディスクを使う前に

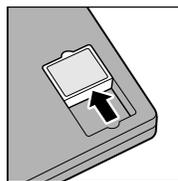
#### ライトプロテクトタブ

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



#### 書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



#### 書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

#### フォーマット

新品のフロッピーディスクは、使用するシステム(OS)にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

新品のフロッピーディスクには、システムの種類別にフォーマットされているものと、フォーマットを行わずに販売されているものがあります。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、「Windows フォーマット済み」かどうか確認してください。フォーマットされていないフロッピーディスクを使うときは、必ずフォーマットを行なってください。

他のシステム上でフォーマットされたフロッピーディスクも、Windows 上でフォーマットすることにより、Windows で使用することができます。

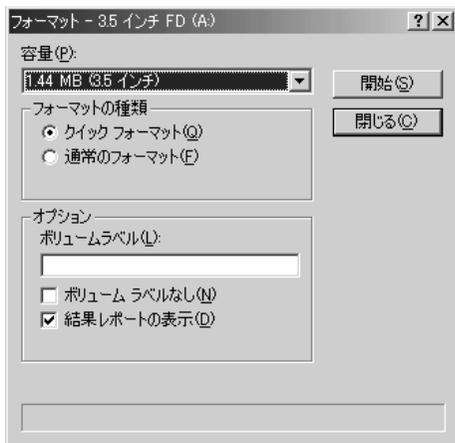


- ・フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。

## フォーマット方法

Windowsでのフォーマット方法を簡単に説明します。詳細については、Windowsの『ヘルプとサポート』をご覧ください。

- 1** フロッピーディスク装置に、フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2** デスクトップ上の [ マイ コンピュータ ] アイコンをダブルクリックする
- 3** [ 3.5 インチ FD ( A: ) ] アイコン (  ) をクリックする  
[ 3.5 インチ FD ( A: ) ] が選択され、アイコンの色が反転します。
- 4** [ マイコンピュータ ] 画面で [ ファイル ] をクリックし、表示されたメニューから [ フォーマット ] をクリックする  
アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。  
フォーマット方法を選択する画面が表示されます。



- 5** フォーマット方法を選択し、[ 開始 ] ボタンをクリックする  
フォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、フロッピーディスクの情報が表示されますので確認してください。
- 6** [ フォーマット結果 ] の内容を確認し、[ 閉じる ] ボタンをクリックする  
これで、フォーマットは完了です。  
他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順 5 から実施します。  
フォーマットを終了する場合は、[ フォーマット ] 画面で [ 閉じる ] ボタンをクリックします。



- ・他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
- ・2HDフロッピーディスクを2DDタイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
- ・フォーマット形式は、2DDの場合は720KB、2HDの場合は1.44MBのみになります。



- ・初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、多少時間がかかります。

本製品にはモデルによって CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置が内蔵されています。

 CD-ROM / CD-RW / DVD-ROM とは ▶ 「6 章 1-1 記憶装置」

### 警告

- ・ CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置はサービスマン以外の方は絶対に分解しないでください。内部にはレーザー光線が使用されており、万一、分解または不適切な使用、修理などがありますと、人体への悪影響(目の痛みなど)をおよぼすおそれがあります。

### 注意

- ・ ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置の故障の原因になります。
- ・ FDD/CD-ROM  /  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置が動作しています。このときはイジェクトボタンを押さないでください。CD / DVD が傷ついたり、CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置の故障の原因となります。
- ・ パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM  /  LED が点灯しているときは、CD / DVD を取り出さないでください。CD / DVD のデータや CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置が壊れるおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD / DVD のデータや CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置が壊れるおそれがあります。
- ・ CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置のトレイを開けたときに、CD / DVD が回転している場合には、停止するまで CD / DVD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。

メディア切替スイッチを使用して、CDなどを聴いていた場合は、CDなどを停止させ、CDなどを取り出した後、メディア切替スイッチで電源を切ってください。

 メディア切替スイッチ

- ▶ 「本章 11 メディア切替スイッチ/オーディオプレイボタン」

### お願

- ・ CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置はレーザー光線を使用しています。製品を安全に使用するため、本書をよく読んでからお使いください。機器に保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。

## 1. CD / DVD

### 使用できる CD

読み込みできる CD は、次の種類です。

音楽用 CD

8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。

▶「本章 11-1 音楽を聴く」

フォト CD

CD-ROM

使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのもので使用できます。

CD エクストラ

CD-R

CD-RW

書き込みできる CD は次の種類です。

CD-RW

CD-R (書き込みは 1 回限り)

### 使用できる DVD

\* CD-RW / DVD-ROM モデルのみ

読み込みできる DVD は、次の種類です。

DVD-ROM

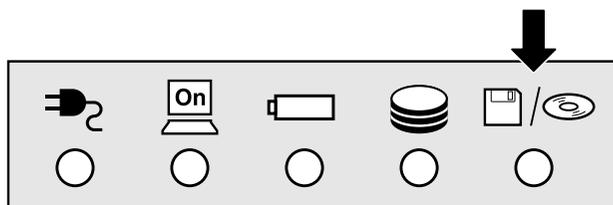
DVD-Video

### CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置に関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置が動作しているときは、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。パソコン本体の電源が入っていない場合、メディア切替スイッチで CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置の電源を入ると、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。このとき、Power  LED は点灯しません。

 メディア切替スイッチ

▶「本章 11 メディア切替スイッチ / オーディオプレイボタン」

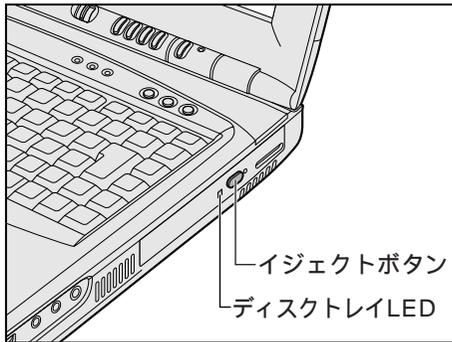


- DVD-Video 再生時は、AC アダプタを接続した状態でご使用になることをおすすめします。また、使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちするケースがあります。

## 2. CD / DVDのセットと取り出し

CD / DVDは、電源が入っているときにセット / 取り出しができます。

\*イジェクトボタンやディスクトレイLEDの位置は、ご購入のモデルによって異なります。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

電源を入れた直後

リセットした直後

ディスクトレイを閉じた直後

FDD/CD-ROM  /  LED が点灯しているとき

これらの場合には、ディスクトレイLEDの点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。

### CD / DVD のセット

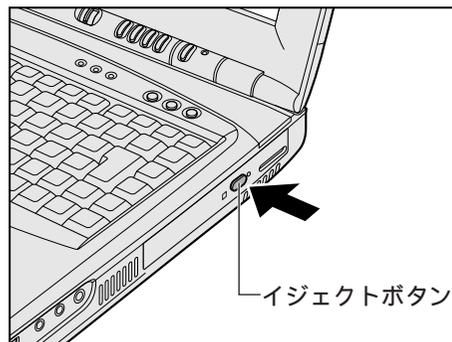
CD / DVD をセットするには、次のように行います。

- 1 パソコン本体の電源を入れる、またはメディア切替スイッチを左側へスライドする

 メディア切替スイッチ

▶ 「本章 11 メディア切替スイッチ / オーディオプレイボタン」

- 2 イジェクトボタンを押す  
イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



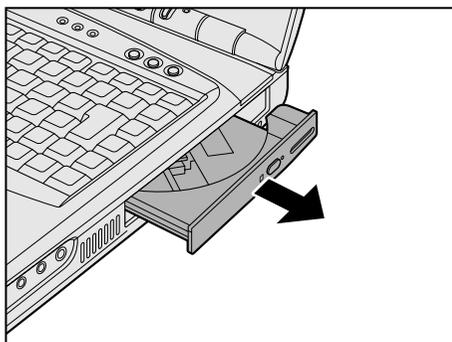
・パソコン本体を携帯するときは、CD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW 装置にCD / DVDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出ししてください。



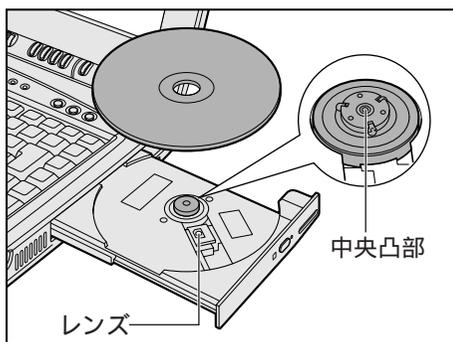
・Windows が起動したとき、FDD / CD-ROM  /  LED が周期的に薄く点灯します。これはCD / DVDの自動挿入を検出しているため、故障ではありません。

・電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

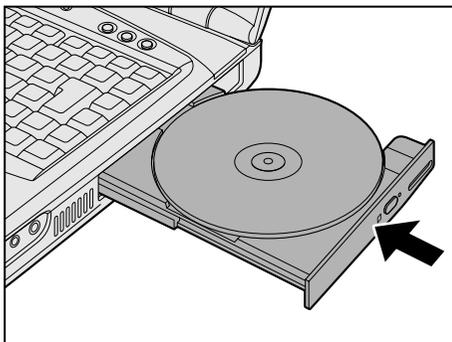
- 3** ディスクトレイを引き出す  
CD / DVD をのせるトレイが  
すべて出るまで、引き出します。



- 4** 文字が書いてある面を上  
にして、CD / DVD の穴  
の部分ディスクトレイ  
の中央凸部分に合わせ、  
上から押さえてセットする  
カチッと音がして、セットさ  
れていることを確認してくだ  
さい。



- 5** 「カチッ」と音がするま  
で、ディスクトレイを押  
し戻す



### CD / DVD の取り出し

- 1** パソコン本体の電源を入れる、またはメディア切替スイッチを左側へスライドする
- 2** イジェクトボタンを押す  
ディスクトレイが少し出てきます。
- 3** ディスクトレイを引き出す  
CD / DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。



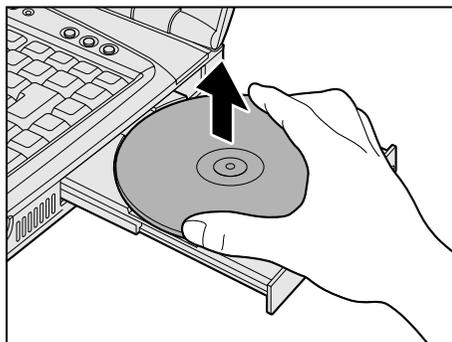
- ・CD / DVD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CD / DVD を正しくディスクトレイにセットしないとCD / DVD を傷つけることがあります。



- ・傷ついたり汚れのひどいメディアは、メディアを挿入してから再生が始まるまで、時間がかかる場合があります。その場合、しばらくすると、再生が始まります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
- ・メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

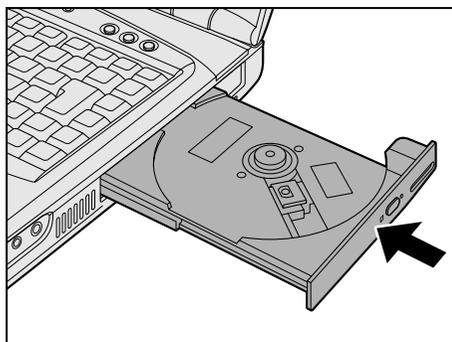
#### 4 CD / DVDの両端をそつと持ち、上に持ち上げて取り出す

ディスクトレイからCD / DVDを取り出します。



CD / DVDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。

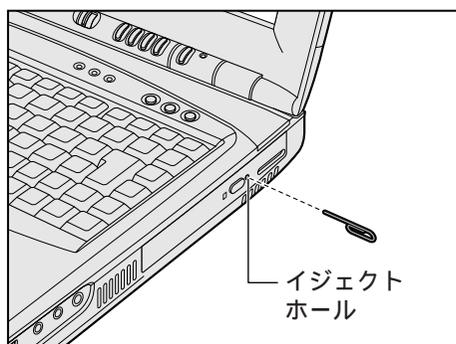
#### 5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



#### ディスクトレイが出てこない場合

電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW 装置のイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押しってください。ディスクトレイが出てきます。

\*イジェクトホールの位置はご購入のモデルによって異なります。



- ・パソコン携帯時は、CD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW 装置に入っているCD / DVDは取り出してください。
- ・電源を入れ、CD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW 装置のインジケータが点滅しなくなったことを確認してから、CD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW 装置のイジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。

### 3. CD-RW / CD-R に書き込む

CD-RW / CD-R にデータを書き込むことができます。

書き込みを行うためのソフトウェアとして、Adaptec社製「DirectCD」「Easy CD Creator」「Take Two」をご用意しています。

CD-RW / CD-R に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。

守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。

書き込みに失敗したCD-Rの損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD-RW / CD-R に保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

#### 書き込む前に

CD-RW / DVD-ROM 装置の場合、CD-RW / CD-R は 4 倍速に対応しているものをご使用ください。

CD-RW 装置の場合、CD-RW は 4 倍速、CD-R は 8 倍速に対応しているものをご使用ください。

次のメーカーの CD-RW / CD-R をご使用になることをおすすめします。

CD-RW : 三菱化学(株)、リコー(株)

CD-R : 太陽誘電(株)、TDK(株)、三井化学(株)、三菱化学(株)、リコー(株)、日立マクセル(株)

上記以外のメーカーの CD-RW / CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。

必ず AC アダプタを接続して電源コンセントに接続してください。バッテリー駆動で使用しながら書き込みを行うと、バッテリーの消耗などにより書き込みに失敗するおそれがあります。

スクリーンセーバなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。

ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。

常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。

LAN を経由しての書き込みは行わないでください。LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスク装置に保存してから書き込みを行なってください。

「DirectCD」「Easy CD Creator」「Take Two」以外の CD-RW / CD-R 書き込み用ソフトウェアをご使用になる場合は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。



省電力機能について ▶ 『活用編 1 章 2- 東芝省電力ユーティリティ』

書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。



- ・ CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW はフォーマットすると再利用できます。



- ・ 「Easy CD Creator」を使用して重要なデータを書き込む場合は、CD レイアウトプロパティで [書き込み後 CD 上のファイルを検証する] を設定してください。

### 書き込みを行うときは

マウスやアキュポイント を動かす、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。

モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。

パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。

次の機器の取り付け / 取りはずしを行わないでください。

PCカード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ、PRT コネクタに接続している機器、i.LINK 対応機器、光デジタル対応機器

メディア切替スイッチを使用して音楽 / 音声の再生を行わないでください。

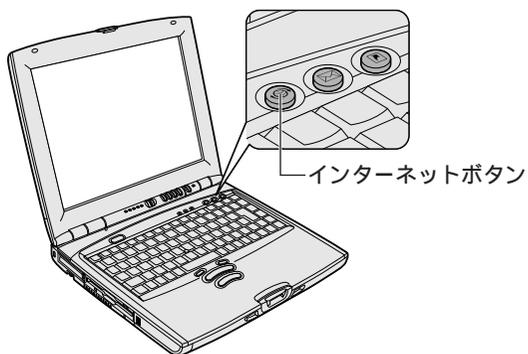
# 10 ワンタッチボタン

## 1. インターネットボタン

ボタンを押すと、システムで設定されている標準のブラウザが起動します。  
プロバイダとの契約やパソコンの設定が完了してからご使用ください。

### 1 インターネットボタン ( ) を押す

パソコン本体の電源が OFF のとき、スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときにボタンを押すと、電源が ON になった後、ブラウザが起動します。

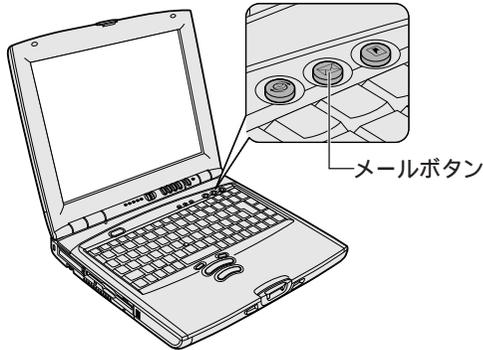


## 2. メールボタン

ボタンを押すと、システムで設定されている標準のメールソフトが起動します。インターネット接続の設定やパソコンの設定が完了してからご使用ください。

### 1 メールボタン (✉) を押す

パソコン本体の電源がOFFのとき、スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときにボタンを押すと、電源がONになった後、メールソフトが起動します。



## メールソフトの設定方法

### 1 デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン (Ⓜ) を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする

[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。

### 2 [プログラム] タブの [電子メール] でメールソフトを選択する

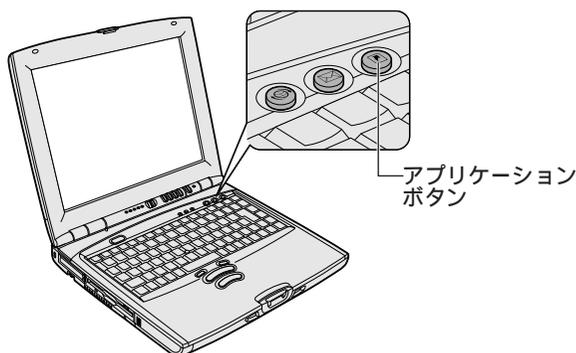
### 3 [OK] ボタンをクリックする

### 3. アプリケーションボタン

ボタンを押すと、あらかじめ設定されているアプリケーションが起動します。よく使うアプリケーションを設定しておくとう便利です。ご購入時は何も設定されていません。

#### 1 アプリケーションボタン ( ) を押す

パソコン本体の電源が OFF のとき、スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときにボタンを押すと、電源が ON になった後、アプリケーションが起動します。



・アプリケーション未設定のまま、ボタンを押すと設定の画面が表示されます。

### アプリケーションの設定方法

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] をクリックする

2 [東芝サービス] アイコン (  ) をダブルクリックする

3 次のいずれかの方法で、アプリケーションを指定する

#### 方法 1

[スタートメニューから選択] ボタンをクリックする

左画面の[フォルダ]で、目的のアプリケーションがあるフォルダをクリックする

右画面に表示されているなかから、目的のアプリケーションをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

[東芝サービス] 画面で [OK] ボタンをクリックする

#### 方法 2

[実行プログラムを指定] ボタンをクリックする

目的のアプリケーションの場所を入力する、または[参照] ボタンから指定する

[OK] ボタンをクリックする

[東芝サービス] 画面で [OK] ボタンをクリックする

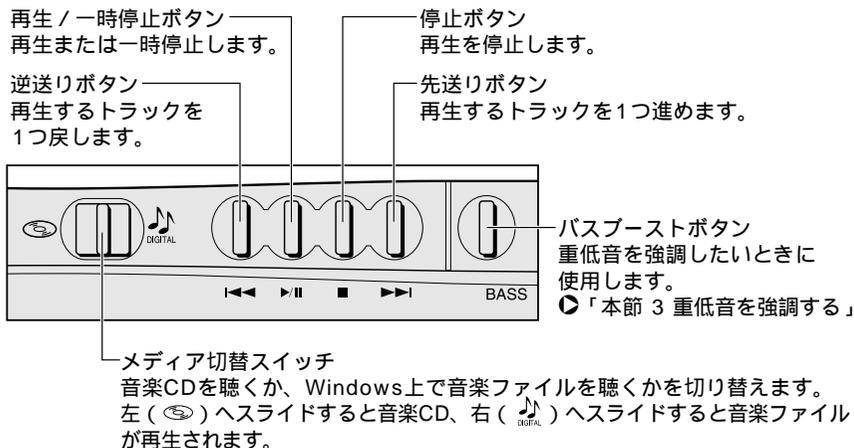


・[コントロールパネル] 画面に[東芝サービス] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

## 1. 音楽を聴く

オーディオプレイボタンを使って、音楽CDや音楽ファイルの操作が簡単にできます。

各ボタンの役割は次のとおりです。



## 音楽CDを聴く

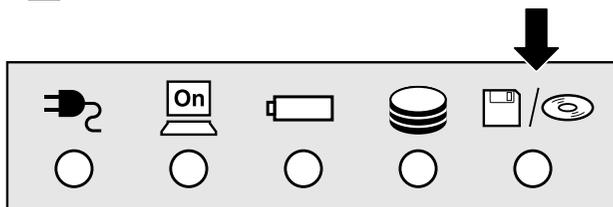
メディア切替スイッチを使うと、パソコン本体の電源を入れていない状態で、ディスプレイを閉じたまま簡単に音楽を聴くことができます。

### 1 メディア切替スイッチを左(🌀)へスライドする

CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置の電源が入ります。

電源が入っているときは、FDD/CD-ROM 📀/🌀 LED が緑点灯します。

Power 🖱️ LED は点灯しません。



電源を入れてから4分以上操作がない場合は、自動的に電源がOFFになり、FDD/CD-ROM 📀/🌀 LED が消灯します。その場合はもう一度同じように電源を入れ直してください。

### 2 音楽CDをセットする

📖 CDのセットのしかた ▶「本章 9-2 CD / DVDのセットと取り出し」

### 3 オーディオプレイボタンを押す

終了する場合は、音楽CDを取り出し、メディア切替スイッチを左(🌀)へスライドします。



- ・パソコン本体の電源が入っているときは、メディア切替スイッチの操作は必要ありません。音楽CDをセットする、またはオーディオプレイボタンを操作すると、「Windows Media Player」が起動し、音楽CDを聴くことができます。
- ・音楽CDの再生中に、パソコン本体に振動・衝撃を与えると、音飛びすることがあります。

## 音楽ファイルを聴く

### ソフトウェアの設定方法

メディア切替スイッチを使って音楽ファイルを聴くには、あらかじめ次の中から使用するソフトウェアを選択してください。

Windows Media Player  
 東芝 LIVE MEDIA PLAYER  
 TOSHIBA Audio Manager

また、各ソフトウェアでプレイリストを作成してください。プレイリストに登録されているファイルが再生されます。

 プレイリストの作成方法 ▶ 『各ソフトウェアのヘルプ』

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [東芝サービス]アイコン (  ) をダブルクリックする
- 3 [オーディオ/ビデオコントロール] で起動するソフトを選択する



- 4 [OK] ボタンをクリックする

### 操作方法

- 1 メディア切替スイッチを右 (  ) ヘスライドする  
 パソコン本体の電源が入ります。  
 Windows が起動した後、設定されているソフトウェアが起動します。  
 タスクバーのアイコンが  になります。
- 2 オーディオプレイボタンを押す



・[コントロールパネル]画面に[東芝サービス]アイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。



・「東芝サービス」で設定しているソフトウェアを起動したときに、オーディオプレイボタンで操作ができます。

## 2. DVD-Video を再生する

\* CD-RW / DVD-ROM モデルのみ

DVD-Videoを再生するときに、メディア切替スイッチを使って簡単に操作できます。

**1** パソコン本体の電源を入れる、またはメディア切替スイッチを左 (  ) へスライドする

**2** DVD-Video をセットする

● 「本章 9-2 CD / DVD のセットと取り出し」

パソコン本体の電源が入ります。

「Mediamatics DVD Player」が起動し、再生が始まります。

**3** オーディオプレイボタンを押す

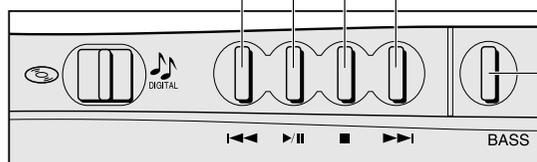
オーディオプレイボタンの各ボタンの役割は次のとおりです。

再生 / 一時停止ボタン  
再生または一時停止します。

逆送りボタン  
再生するチャプタを  
1つ戻します。

停止ボタン  
再生を停止します。

先送りボタン  
再生するチャプタを1つ進めます。



バスブーストボタン  
重低音を強調したいときに  
使用します。

● 「本節 3 重低音を強調する」



・メディア切替スイッチを右へスライドすると、音楽ファイルの再生が始まります。



参照 音楽ファイルの再生

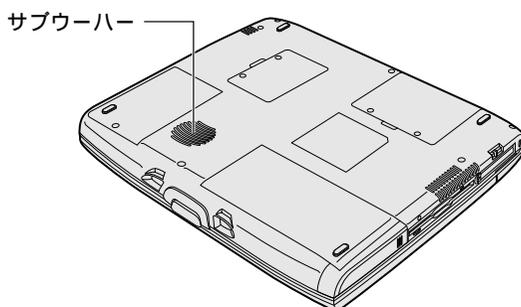
● 「本節 1 音楽を聴く」



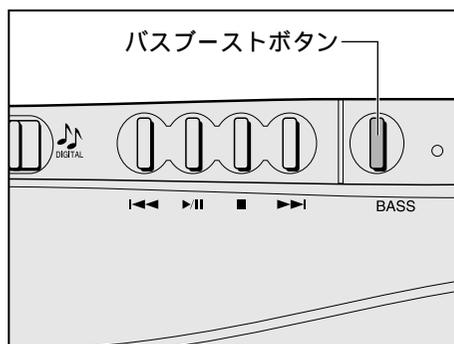
・DVD-Video の操作は、「Mediamatics DVD Player」からも行えます。

### 3. 重低音を強調する

バスブーストボタンを使うと、さらにサブウーハーから重低音を強調させて音楽を楽しめます。



- 1** バスブーストボタンを押す  
サブウーハーから重低音が強調されます。



この状態のとき、タスクバーにあるアイコン (  ) の「BASS」の文字が黄色になります。

また、メディア切替スイッチで音楽ソフトを起動したときは、スイッチによってアイコンが次のようになっています。

 ..... メディア切替スイッチを左にしたとき

 ..... メディア切替スイッチを右にしたとき

バスブーストを終了する場合は、再びバスブーストボタンを押してください。タスクバーのアイコン (  ) の「BASS」の文字も元に戻ります。



- ・重低音が強調されるのはサブウーハーから出力した場合です。

### ⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。  
製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

### パソコン本体

機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。

ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

ディスプレイは静かに閉じてください。

使用できる環境は次のとおりです。

温度 5 ~ 35 、湿度 20 ~ 80%

次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

### 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

電源は必ず切ってください。

電源を切った後も、Disk  LED が点灯中は動かさないでください。

急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。

やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。

外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、フロッピーディスクや CD / DVD がセットされている場合は、取り出してください。

落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。

故障の原因になります。

### 消耗品について

次の部品は消耗品です。

バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック（PA2487U1）と交換してください。

時計用バッテリー（交換は有償です）

アキュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）

消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

### 仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

## 電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。

## キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは交換を依頼してください（有償）。

## 液晶ディスプレイ

### 画面の手入れ

画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

### サイドライト用FL管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

## アキュポイント（ポインティング装置）

アキュポイントは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

### キャップの取り換え

予備として2個のアキュポイントキャップが同梱されています。長期間使用し、すり切れたら取り換えてください。取り換え方法は次のとおりです。

- 1** アキュポイントキャップをしっかりとつまんで垂直に引き上げる
- 2** 新しいアキュポイントキャップを切り込みにあわせてアキュポイントにはめる

## フロッピーディスク装置

市販のクリーニングディスクを使ってフロッピーディスク装置をクリーニングします。1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

## CD-RW / DVD-ROM装置またはCD-RW装置

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。



- ・スペアのアキュポイントキャップをお買い求めになる場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。

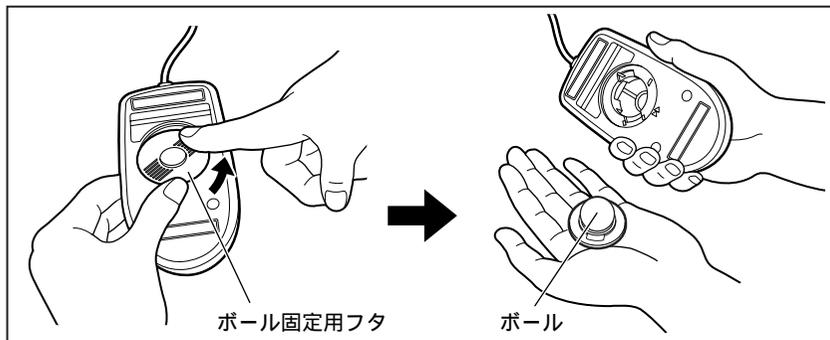
## マウス

マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。

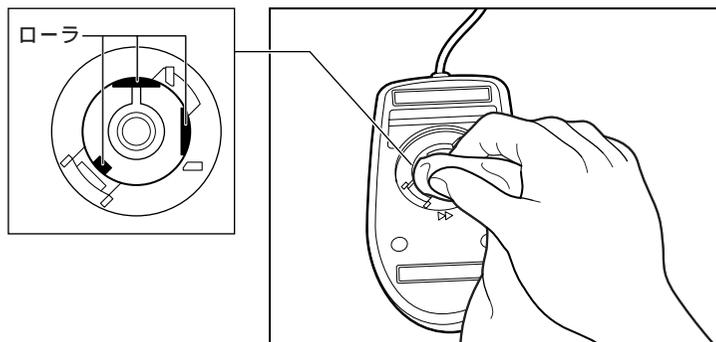
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

パソコン本体の電源を切ってください。

マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、▶▶方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。

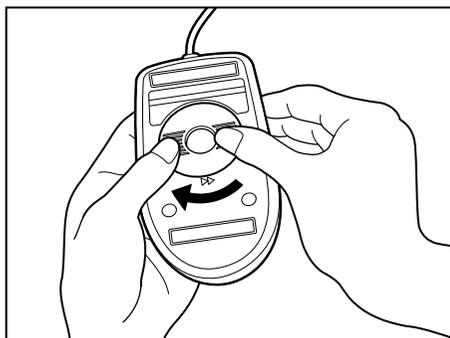


マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

ボール固定用のフタを、▶▶方向と反対方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

## フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。

フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。

汚れると使用できなくなります。

スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。

記録した内容が消えるおそれがあります。

直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。

本やノートなど重いものを上に置かないでください。

使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5 ~ 35	4 ~ 53

ラベルは正しい位置に貼ってください。

貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。

ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。

保管の際は、プラスチックケースに入れてください。

食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。

3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。

他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかつたり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

## CD / DVD

CD / DVDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CD / DVDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVDを読み込むことができなくなります。

CD / DVDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVDの上に重いものを置かないでください。

CD / DVDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。

CD / DVDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。

CD / DVDの表面に文字などを書かないでください。

CD / DVDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

# 8章

## ローマ字入力一覧表

文字入力の際に便利なローマ字とかなの対応表です。

<b>1</b>	ローマ字入力一覧表 .....	216
----------	-----------------	-----

# 1

## ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

ローマ字が2種類以上載っている欄は、最上段がヘボン式のとおりです。その他のつづりや、かなが( )で表されている欄は、ヘボン式ではありませんが、一般的に使用されているものです。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)
	xa la	xi li	xu lu	xe le	xo lo
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
	きゃ kya	(きい) kyi	きゅ kyu	(きえ) kye	きょ kyo
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
	しゃ sha sya	(しい) syi	しゅ shu syu	(しえ) she sye	しょ sho syo
	た	ち	つ	て	と
た	ta	chi ti	tsu tu	te	to
			(っ) <sup>1</sup>		
			xtu ltu		
	ちゃ	(ちい)	ちゅ	(ちえ)	ちょ
	cha tya cya	tyi cyi	chu tyu cyu	che tye cye	cho tyo cyo
	(てや)	(てい)	(てゅ)	(てえ)	(てよ)
	tha	thi	thu	the	tho
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
	にゃ	(にい)	にゅ	(にえ)	にょ
	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
	ひゃ	(ひい)	ひゅ	(ひえ)	ひょ
	hya	hyi	hyu	hye	hyo
	(ふぁ)	(ふい)		(ふえ)	(ふぁ)
	fa	fi		fe	fo
	(ふゃ)	(ふい)	(ふゅ)	(ふえ)	(ふよ)
fya	fyi	fyu	fye	fyo	
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
	みゃ	(みい)	みゅ	(みえ)	みょ
	mya	myi	myu	mye	myo
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
	(ゃ)		(ゅ)		(よ)
	xya lya		xyu lyu		xyo lyo

1 通常は後の子音を2つ  
続けて入力します。  
【例】「いった」 itta

ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
	りゃ	(りい)	りゅ	(りえ)	りょ
	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ	わ	(ゐ) <sup>2</sup>		(ゑ) <sup>2</sup>	を
	wa	wi		we	wo
ん	ん				
	n <sup>3</sup>				
	nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
	ぎゃ	(ぎい)	ぎゅ	(ぎえ)	ぎょ
	gya	gyi	gyu	gye	gyo
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji	zu	ze	zo
		zi			
	じゃ	(じい)	じゅ	(じえ)	じょ
	ja		ju	je	jo
	zya	zyi	zyu	zye	zyo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	ji	zu	de	do
		di	du		
	(ぢゃ)	(ぢい)	(ぢゅ)	(ぢえ)	(ぢょ)
	dya	dyi	dyu	dye	dyo
	(でゃ)	(でい)	(でゅ)	(でえ)	(でょ)
dha	dhi	dhu	dhe	dho	
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
	びゃ	(びい)	びゅ	(びえ)	びょ
	bya	byi	byu	bye	byo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po
	ぴゃ	(ぴい)	ぴゅ	(ぴえ)	ぴょ
	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴ <sup>4</sup>	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	va	vi	vu	ve	vo
	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴユ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	vya	vyi	vyu	vye	vyo

2 キーボードで入力した後、変換してください。

3 nに続けて子音(k、s、t、nなど)が入力されると「ん」になります。

4 「ヴ」にひらがなはありません。ひらがな入力モードで入力したときはカタカナに変換する必要があります。

# さくいん

## 記号

 キーを使ったショートカットキー ..... 177

### A

AC アダプタ ..... 19, 167  
Alt キー ..... 172, 173  
Arrow Mode LED ..... 170

### B

BackSpace キー ..... 173  
Battery LED ..... 169, 185

### C

CapsLock LED ..... 170  
CapsLock 英数キー ..... 172  
CD ..... 160, 195  
CD-RW / CD-R に書き込む ..... 200  
CD-RW / DVD-ROM 装置 ..... 167, 195  
CD-RW / DVD-ROM 装置の取り扱い ..... 211  
CD-RW 装置 ..... 167, 195  
CD-RW 装置の取り扱い ..... 211  
CD のセット ..... 197  
CD の取り扱い ..... 214  
CD の取り出し ..... 198  
CRT ディスプレイ ..... 161  
Ctrl キー ..... 172, 173

### D

DC IN LED ..... 36, 169  
Del キー ..... 173  
Disk LED ..... 169, 179  
DVD ..... 161, 195  
DVD-Video を再生する ..... 207  
DVD のセット ..... 197  
DVD の取り扱い ..... 214  
DVD の取り出し ..... 198

### E

End キー ..... 173  
Enter キー ..... 173  
Esc キー ..... 172  
E メール ..... 114

### F

FDD/CD-ROM LED ..... 169, 191

Fn キー ..... 172  
Fn キーを使った特殊機能キー ..... 176

### H

Home キー ..... 173

### I

IME パッド ..... 72  
Ins キー ..... 173  
Internet Explorer 画面 ..... 94  
Internet Explorer の使い方 ..... 94

### L

LED ..... 20

### M

MS-IME ..... 64

### N

Numeric Mode LED ..... 171

### O

OS ..... 163  
Outlook Express 画面 ..... 122  
Outlook Express の設定 ..... 115  
Outlook Express の使い方 ..... 121  
Outlook Express を起動する ..... 121  
Outlook Express を終了する ..... 146

### P

Pause キー ..... 173  
PgDn キー ..... 173  
PgUp キー ..... 173  
Power LED ..... 36, 169  
Product Key ..... 21

### S

Shift キー ..... 172, 173  
Space キー ..... 172

### T

Tab キー ..... 172

### U

USB コネクタ ..... 31  
USB マウス ..... 31, 167

<b>W</b>		[ お気に入り ] に登録する ..... 96	
Windows セットアップ ..... 21		[ お気に入り ] を整理する ..... 98	
Win キー ..... 172		オペレーティングシステム ..... 163	
WWW ..... 80		音楽CDを聴く ..... 205	
<b>ア</b>		音楽 / 音声の録音レベルを調整する ..... 182	
アイコン ..... 44		音楽ファイルを聴く ..... 206	
アキュポイント ..... 45, 162, 166		オンラインサインアップ ..... 87	
アキュポイント の取り扱い ..... 211		<b>カ</b>	
アクセスポイント ..... 81		書き込み可能状態 ..... 193	
新しいアドレスを登録する ..... 135		書き込み禁止状態 ..... 193	
アドレス ..... 96		カタカナ ひらがなキー ..... 173	
アドレス帳を修正する ..... 136		カタカナを入力する ..... 71	
アドレス帳を使う ..... 134		画面の手入れ ..... 210	
アドレス帳を使って宛先を入力する ..... 137		簡単インターネット ..... 87	
アドレスバー ..... 46		<b>キ</b>	
アプリケーション ..... 163		キーシフトインジケータ ..... 166, 169	
アプリケーションキー ..... 173		キーボード ..... 162, 166, 172	
アプリケーションの設定方法 ..... 204		キーボードの取り扱い ..... 210	
アプリケーションボタン ..... 166, 204		記憶装置 ..... 160	
アロー状態 ..... 170		記号を入力する ..... 71	
<b>イ</b>		休止状態 ..... 40	
以前に表示したホームページを表示する ..... 111		<b>ク</b>	
インストール ..... 163		クイック起動ボタン ..... 44	
インターネット ..... 80		クリック ..... 45	
インターネット接続ウィザード ..... 88		<b>コ</b>	
インターネット接続を終了する ..... 93		ごみ箱 ..... 44, 55	
インターネットに接続する (2回目以降) ..... 92		コントロールボタン ..... 45, 162, 166	
インターネットに接続する (初回) ..... 83		コンピュータウイルス ..... 143	
インターネットボタン ..... 92, 166, 202		<b>サ</b>	
<b>ウ</b>		再起動 ..... 41	
ウィンドウ ..... 46		最小化ボタン ..... 46	
<b>エ</b>		最初に表示されるページを変更する ..... 100	
英数字を入力する ..... 74		最大化ボタン ..... 46	
液晶ディスプレイ ..... 161		サイドライト用FL管 ..... 210	
液晶ディスプレイの取り扱い ..... 210		サウンド機能 ..... 180	
<b>オ</b>		サブウーハー ..... 168, 208	
オーディオプレイボタン ..... 166, 205		<b>シ</b>	
オーバーレイキー ..... 173		システムインジケータ ..... 166, 169	
大文字ロック状態 ..... 170		システムスピーカについて ..... 182	
[ お気に入り ] からホームページを表示する .. 97		重低音を強調する ..... 208	

受信メールを見る .....	127
使用できる CD .....	196
使用できる DVD .....	196
消耗品 .....	210
署名 .....	139
新着メールチェック機能 .....	147
新着メールチェック機能を開始する .....	148
新着メールチェック機能を停止する .....	158
新着メールチェックの スケジュールを設定する .....	149
新着メールを確認する .....	156

## ス

数字ロック状態 .....	171
スクロールバー .....	46
スクロールボタン .....	45, 166
[スタート] ボタン .....	44
スタンバイ機能 .....	39
ステータスバー .....	46
スピーカ .....	166
スピーカの音量を調整する .....	180

## セ

セキュリティロック・スロット .....	166
前候補 変換キー .....	173

## ソ

ソフトウェア .....	163
--------------	-----

## タ

タイトルバー .....	46
ダウンロード .....	104
タスクバー .....	44
ダブルクリック .....	45

## ツ

ツールバー .....	46
通風口 .....	167

## テ

ディザリング .....	178
ディスプレイ .....	166, 178
ディスプレイ開閉ラッチ .....	20, 166
デスクトップ .....	44
電源コード .....	20, 167

電源コードの取り扱い .....	210
電源コネクタ .....	19, 167
電源スイッチ .....	36, 166
電源に関する表示 .....	36
電子メール .....	80, 114
電話回線のタイプを設定する .....	84

## ト

トーン .....	84
同期 .....	106
特殊機能キー .....	177
閉じるボタン .....	46
ドラッグアンドドロップ .....	45

## ニ

日本語入力システム .....	64
日本語入力システムツールバー .....	44
入力装置 .....	162
入力に関する制御キー .....	175
入力モードを決める .....	65

## ネ

ネットニュース .....	81
---------------	----

## ハ

ハードウェア .....	160
ハードディスク装置 .....	160, 179
バスブーストボタン .....	166, 208
パソコンと電話回線を接続する .....	85
パソコン本体の取り扱い .....	209
パソコンを設置する環境 .....	18
パソコンを使うときの姿勢 .....	18
バッテリー充電量を確認する .....	185
バッテリー充電量の減少 .....	186
バッテリーの充電方法 .....	187
バッテリーパック .....	168, 183
バッテリーパックの取りはずし / 取り付け .....	189
バッテリーを節約する .....	188
パネルスイッチ機能 .....	42
パルス .....	84
半 / 全キー .....	172

## ヒ

ビデオ出力ケーブル .....	167
ビデオ出力端子 .....	168
表示装置 .....	161

ひらがなを漢字に変換する .....	70	マウスの取り扱い .....	212
ひらがなを入力する .....	68	マウスを取り付ける .....	31
<b>フ</b>		<b>ミ</b>	
ファイルに名前を付ける .....	52	右クリック .....	45
ファイルをコピーする .....	53	<b>メ</b>	
ファイルを削除する .....	55	メールサーバ .....	114
ファイルをダウンロードする .....	109	メールソフトの設定方法 .....	203
ファイルを作る .....	50	メールチェックの接続環境を設定する .....	150
ファンクションキー .....	172	メール着信ランプ .....	147, 166
フォルダに名前を付ける .....	52	メールで使える文字 .....	139
フォルダをコピーする .....	53	メールに添付されたファイルを開く .....	143
フォルダを削除する .....	55	メールにファイルを添付する .....	141
フォルダを作る .....	47	メールのしくみ .....	114
ブラウザ .....	80	メールの続きを作成する .....	125
フラッシュメモリカード .....	161	メールボタン .....	121, 166, 203
フロッピーディスク .....	160, 191	メールを書くのを一時的にやめる .....	124
フロッピーディスク装置 .....	166, 191	メールをくれた相手をアドレス帳に登録する .....	134
フロッピーディスク装置の取り扱い .....	211	メールを削除する .....	130
フロッピーディスクの種類とその容量 .....	191	メールを作成する .....	123
フロッピーディスクのセット .....	192	メールを受信する .....	126
フロッピーディスクの取り扱い .....	213	メールを整理する .....	132
フロッピーディスクの取り出し .....	192	メールを送信する .....	126
フロッピーディスクの内容を見る .....	192	メールを転送する .....	129
フロッピーディスクのフォーマット .....	193	メールを分類する .....	132
プロバイダ .....	80	メールを返信する .....	128
プロバイダと契約する .....	87	メディア切替スイッチ .....	166, 205
文書を保存する .....	76	メニューバー .....	46
<b>ヘ</b>		メモ帳 .....	62
ヘッドホン出力端子 .....	168	<b>モ</b>	
<b>ホ</b>		文字キー .....	63
ホームページの画像を壁紙に設定する .....	102	文字化け .....	120
ホームページの画像を保存する .....	101	モジュラーケーブル .....	85, 167
ホームページを検索する .....	95	モジュラージャック .....	85, 167
ホームページをダウンロードする .....	104	文字を入力する .....	64
ボリュームコントロール .....	180	元のサイズに戻すボタン .....	46
ボリュームダイヤル .....	167, 180	<b>ヤ</b>	
<b>マ</b>		矢印キー .....	173
マイク入力端子 .....	168	<b>ユ</b>	
マイコンピュータ .....	44	ユーザ登録をする .....	30
マイドキュメント .....	44		
マウス .....	31, 162		
マウスの使い方 .....	32		

ヨ

よく見るページを登録する(お気に入り)..... 96

ラ

ライトプロテクトタブ ..... 193

リ

リセットスイッチ ..... 166

リリース情報 ..... 1

ロ

ローマ字入力一覧表 ..... 216